

日本生理誌・第27巻12号・昭和40年12月1日発行（毎月1日発行）
〔昭和27年5月6日第3種郵便物認可〕

日本

生理学

雑誌

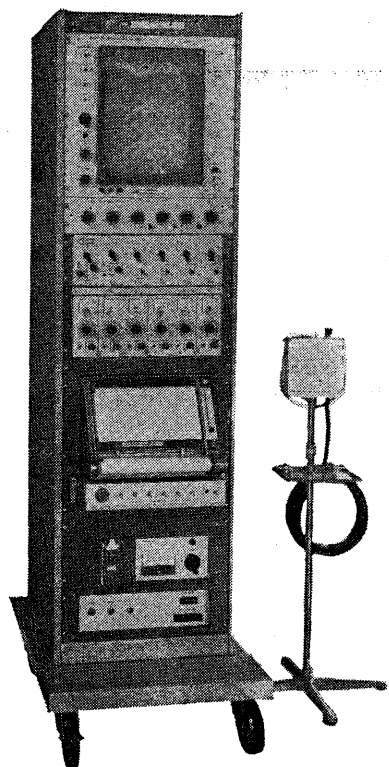
JOURNAL OF THE PHYSIOLOGICAL SOCIETY OF JAPAN

27巻 12号 1965

昭和39年度生理学論文表題集.....	579
〔会報〕 浦本政三郎教授略歴，浦本政三郎先生を偲ぶ.....	巻頭
〔編集後記〕.....	610
〔附〕 日本生理学雑誌投稿規定	
日本生理学雑誌第27巻総目次	

日本生理誌
J. Physiol. Soc. Japan

日本生理学会



基礎医学の研究に

最高水準のエレクトロニクスを!

ポリグラフ

PG-602形

脳心筋血呼吸呼吸気精神呼吸指單位心酸体
電電
波図図圧流速内圧現象線波位音度温

主要製品

脳波計 脳波分析装置 筋電計 ポリグラフ ベッドモニター ハートスコープ フィジオグラフ 医用テレメータ オシログラフ各種



三栄測器株式会社

東京都新宿区柏木1-89(伊藤ビル) Tel (363)8251代

LABORATORY



ANIMALS

実験動物

マウス, ラット

ウサギ, モルモット

ハムスター, その他

CLEA 固型飼料

CA-1 マウス, ラット繁殖用

CE-2 マウス, ラット飼育用

CR-1 ウサギ, モルモット飼育用

犬用 (ビタワン)

ケージ其他器具の御用命に応じます。

北山商店

京都市南区吉祥院西ノ庄向田町43

電話 京都 (37) 6 9 5 3



浦 本 政 三 郎 教 授 略 歴

本 籍 東京都世田谷区成城町878

明治24年5月21日 山形県鶴岡市に生る

明治42年7月 県立熊本中学校を卒業

明治45年7月 第5高等学校卒業

大正5年11月 京都帝国大学医学部卒業

大正5年12月～大正8年3月 京都帝国大学医学部大学
院入学，生理学を専攻

大正8年4月～大正11年3月 京都帝国大学医学部助手
生理学教室勤務

大正10年10月 医学博士の学位を授与される

大正11年4月 東京慈恵会医科大学教授生理学担当

大正12年11月～大正15年12月 理化学研究所飯盛研究室
研究を嘱託される

昭和7年7月～昭和23年7月 農林省蚕糸試験場研究を

嘱託される

昭和14年6月～昭和23年2月 学術研究会議員

昭和16年12月～昭和20年8月 日本諸学振興委員，自然
科学専門委員

昭和16年12月～昭和20年8月 教科書図書調査会委員

昭和17年4月～昭和18年3月 文部省委員

昭和25年3月 第1回医師国家試験委員

昭和26年11月 東京慈恵会医科大学教授を辞す

昭和28年4月～昭和29年3月 熊本大学医学部講師嘱託
医学概論を講義する

昭和29年3月 東京慈恵会医科大学名誉教授

昭和29年4月～昭和36年8月 山形県衛生研究所所長

昭和37年4月～昭和39年3月 国士館大学講師

昭和40年10月8日 逝去

浦本政三郎先生を偲ぶ

慈恵医専が明治36年に認可されてから、専門学校時代は生沼曹六先生が生理学を担当しておられたが、大正10年医学専門学校が大学に昇格したのを機会に生沼先生が岡山医大へ移られ、大正11年3月に浦本生先が京都大学から教授として招聘されました。当時30才の先生は文字通り若々しい教授であり、最初の教室員である内山孝一教授や昨年物故された杉本良一教授を助手として潑刺として教室づくりに専念されたようです。それが軌道に乗りがかったとき関東大震災で一切烏有に帰したのですから正に出鼻を挫かれたわけですが、2ヵ月後には理化学研究所の飯盛里安先生の好意をえて教室員共々飯盛研究室で研究をはじめました。後年転んだら何んでもよいから擱んで立ちあがれとよくいっておられたのはこの頃の決意が生ませた言葉のように思います。

また、昭和の初頭に先生の最初の著書である生物物理学、生理学実習が刊行されたのも理化学研究所時代の勉強の結果だったでしょう。生物物理学には所属として慈恵医大と理研飯盛研究室の名が併記され、生理学実習は先生の恩師石川日出鶴丸先生と飯盛先生に捧げられていますのもこの間の事情を物語っていると思います。

教室再建後最初の大きな研究課題は興奮伝搬の問題でした。研究上のことですから情動的な動きは少なかったかもしれませんが、私には先生の師である石川教授と同期生の加藤元一教授の論争を拱手傍観するのに忍びず、何とか発展的に解決したいという心が先生を駆立てたように思われます。最初の頃の先生の指導業績はこの面の研究に集中されていますが、先生が京都時代に勉強されたことや物理化学の素養が別の面への研究意欲を消さないようでした。私が教室へ入った頃は研究の分野が刺激生理学から条件反射の研究、また運動生理などかなり広い範囲にわたっていました。時折八百屋ですよといわれたこともあります。今から考えると研究の進展はそれぞれ必然性があったようです。学生時代に運動選手であった先生が日本としては最も早くからスポーツ生理学に興味をもたれたのも当然だったでしょう。杉本良一教授を中心としたガス代謝の研究など、後年先生が日本体力医学会の設立に尽力された基盤になったと思います。

戦時中国民体力強化の問題に取り組み、体力研究班や疲労研究班を組織され、また、生理学から一步踏みだして、生活科学会設立に全勢力を傾注されたことも私にとって忘れ得ぬ憶出です。

生活科学会は生活に関する総合的な科学体系を夢みたもので、規模まことに壮大で今日でもそのまま計画されておかしくないと思われ、戦争で中絶されたのが心残りです。

先生は生理学の研究とともに哲学的な思索をこのみ、生理学思想史論や生理学的世界像などいろいろ書かれましたが、人間が万物の尺度であるという言葉をよく引用し、科学は人間能力の延長である。科学の発展は人間そのものの成長を意味するというのが一つの結論のようでした。

また、旅を心から愉しまれ、旅心常住など随筆、紀行文もよく書かれました。

自分で体験しなければ真の知識にはならぬという先生の主張が何事によらず積極的な努力となり、また私にとっては日々の生活でも、科学の実験でも、旅であっても帰するところの一つであったといっておられた信念が些細な事項にも真摯に立ち向かわせていたようです。

教室の毎日は、勤勉の一語につきました。書き物をしても、推敲に推敲を重ねられるのが常でした。

趣味の面でも専門的な努力をされたことが想い出されます。学生時代に当時の名人小梨錦水師につかれてから精進を重ねられ、晋化尺八明暗流の名人になられました。生涯を通じて余暇があれば尺八を愉しんでおられましたが、折あって練習を聞くと、愉しみというより、修練の道の厳しさを感じました。

慈恵医大の名誉教授になってから、山形県の衛生研究所長として活躍されましたが、生れ故郷の土を愛され、浦本科学賞を山形県に残されたのも先生の人柄をあらわしているように思います。私は棺桶の蓋をしめられるとき思い残すことがないようにしたいといわれた言葉通り死に直面されてからの毎日の心の平穏さは忘れることのできない憶い出です。

(名取礼二)

昭和39年度生理学論文表題集

(日本生理学雑誌に掲載の分を含む)

北海道大学医学部第1生理学教室

- 1) 中村治雄 (1964. 1) 腎の脂質代謝について —— 脱コレステロール剤の作用 日腎誌 **6**, 80-81
- 2) 藤森聞一・伊藤真次・永井寅男・宮崎英策・望月政司 (1964. 1) 生理学 南山堂 東京
- 3) 伊藤真次 (1964. 2) ストレスに際する ACTH 分泌機序 日本生理誌 **26**, 110
- 4) 伊藤真次 (1964. 2) 馴化に対する内分泌反応の意義 日本生理誌 **26**, 113-114
- 5) Arimura, A. and Yamaguchi, T. (1964. 2) Serum protein vasopressin binding and its influence on the pressor activity of the hormone. Jap. J. Physiol. **14**, 90-101
- 6) 黒島晨汎 (1964. 2) Vasopressin の甲状腺機能に及ぼす影響について 日本内分泌誌 **39**, 1031-1039
- 7) 石田祐一 (1964. 3) 脳髄抽出物の副腎皮質活動抑制作用 ホルモンと臨床 **12**, 141-144
- 8) Itoh, S., Nishimura, Y., Yamamoto, M. and Takahashi, H. (1964. 4) Adrenocortical response to epinephrine in neurohypophysectomized rats. Jap. J. Physiol. **14**, 177-187
- 9) 中村治雄 (1964. 4) コレステロール飼育時のメバロン酸より肝コレステロールへのとりこみおよび脂質代謝 肝臓 **5**, 243-246
- 10) 中村治雄 (1964. 4) ヘキサニットのコレステロールの生合成に及ぼす作用 診療 **17**, 536-538
- 11) 中村治雄 (1964. 4) 蛋白同化 steroid の脂質の生合成に及ぼす作用 日老医誌 **1**, 63-64
- 12) 伊藤真次 (1964. 5) 下垂体活性ペプチドC抗利尿ホルモン 代謝 **2**, 98-101
- 13) 伊藤真次 (1964. 5) 副腎皮質ホルモンの分泌 日本医師会医学講座 金原出版KK 675-679
- 14) 中村治雄 (1964. 5) 飢餓時のネズミ肝細胞分画の酢酸- $1-^{14}\text{C}$ およびメバロン酸- $2-^{14}\text{C}$ からのコレステロールの生合成に及ぼす作用 Radioisotopes **13**, 221-224
- 15) Arimura, A. Koseki, T. and Itoh, S. (1964. 6) Dual effects of the neurohypophysial hormone on the thyroid activities of mice. Jap. J. Physiol. **14**, 236-246
- 16) 中村治雄 (1964. 6) 蛋白同化ステロイド Methyl-androstenolon のコレステロール代謝とその生合成におよぼす作用 日独医報 **9**, 279-283
- 17) 中村治雄 (1964. 6) ビタミン B_1 誘導体の脂質代謝 日血会誌 **27**, 250
- 18) 中村治雄 (1964. 6) ミトコンドリア抽出物の血清コレステロールとコレステロールの生合成に及ぼす作用 日本生理誌 **26**, 303-305
- 19) 中村治雄 (1964. 7) L-アスパラギン酸各塩のウサギの心および肝の無細胞ホモジネートにおける酸素消費におよぼす作用 医学と生物学 **69**, 33-35
- 20) 中村治雄 (1964. 8) L-アスパラギン酸塩の肝コレステロールの生合成に及ぼす作用 日本生理誌 **26**, 445-448
- 21) 中村治雄 (1964. 8) 利胆剤のコレステロール代謝 生物物理化学 **10**, 163-164
- 22) 有村 章・山口豊治 (1964. 8) 下垂体後葉摘出ネズミにおける血中 ACTH の変動について 日本内分泌誌 **40**, 353
- 23) 有村 章・山口豊治 (1964. 8) 下垂体後葉摘出ネズミにおける vasopressin の CRF 効果の検討 日本内分泌誌 **40**, 353
- 24) 山本 惇・伊藤真次 (1964. 8) 下垂体後葉摘出ネズミの副腎皮質機能 日本内分泌誌 **40**, 377
- 25) 小関利行・有村 章 (1964. 9) マウス甲状腺機能に対する下垂体後葉ホルモンの二相性作用について 日本内分泌誌 **40**, 548-549
- 26) 奥野晃正 (1964. 9) vasopressin の体温低下作用 日本生理誌 **26**, 455-460
- 27) 小関利行 (1964. 10) 下垂体後葉ホルモンのウサギ及びマウス甲状腺機能に対する作用について 日本内分泌誌 **40**, 1027-1037
- 28) 中村治雄 (1964. 10) L-アスパラギン酸 K および Na 塩の腎の排泄に及ぼす作用 日腎誌 **6**, 315-318
- 29) 中村治雄 (1964. 10) CCl_4 中毒時の腎の酢酸- $1-^{14}\text{C}$ およびメバロン酸- $2-^{14}\text{C}$ からのコレステロールへのとりこみに及ぼすアスパラギン酸塩の作用 日腎誌 **6**, 319-324
- 30) 中村治雄 (1964. 11) α -hydroxy-1-cyclohexyl butyric acid の実験的高コレステロール血症および酢酸- ^{14}C メバロン酸- ^{14}C からのコレステロール、脂肪酸、蛋白へのとりこみに及ぼす作用 肝臓 **6**, 48-53
- 31)* Itoh, S. (1963. 5) Le attività endocrine in ambiente caldo. Minerva Medica V. 54-N. 38 35-36
- 32)* 中村治雄 (1963. 1) アスパラギン酸塩の家兎頭部加温時の脳波に及ぼす影響 医学と生物学 **66**, 42-45
- 33)* 中村治雄 (1963. 1) アスパラギン酸塩の腎機能に及ぼす作用 日腎誌 **5**, 99
- 34)* 中村治雄 (1963. 4) コレステロール生合成に及ぼすアスパラギン酸塩の作用 肝臓 **4**, 190-191
- 35)* 中村治雄 (1963. 4) 飢餓時血清蛋白および脂質に及ぼすアスパラギン酸塩の作用 生物物理化学 **9**, 143
- 36)* 中村治雄 (1963. 8) ヒドロキシ-チクロヘキシル酪酸ナトリウムの脱コレステロール作用とコレステロールの生合成におよぼす作用 日血会誌 **26**, 486-487

- 37)* 中村治雄 (1963. 8) イノシトール, ヘキサニコチン酸の血清コレステロールの生合成に及ぼす作用 診療 16, 1201-1206
- 38)* 中村治雄 (1963. 8) コレステロール代謝と肝 第4回日本老人医学会記録 157-158
- 39)* 中村治雄 (1963. 11) 実験的肝障害時の腎の脂質および蛋白の生合成に及ぼすアスパラギン酸塩の影響 肝臓 5, 102
- 40)* 中村治雄 (1963. 4) ミトコンドリアと血清コレステロール低下作用 北海道医誌 38, 140
- 41)* 中村治雄 (1963. 5) Aspartate の酸素の消費, 脂肪及び蛋白の生合成並びに血中 NH_3 に対する作用 アスパラギン酸塩研究会報告集 1, 66
- 42)* 中村治雄 (1963. 9) アスパラギン酸塩のコレステロール生合成に及ぼす作用 アスパラギン酸塩研究会報告集 2, 243-245
- * 印は前年度脱落分

北海道大学医学部第2生理学教室

- 1) 加藤正道・佐藤昭夫・松島少二・森 茂美 (1964. 2) 脊髄損傷後の痙縮の発現機序について 精神神経誌 66, 57-58
- 2) 藤森聞一 (1964. 10) 中枢神経傷害後にみられる痙縮の発現機序について 総合臨床 13, 1880-1894
- 3) 松島少二・島村宗夫 (1964. 9) 脊髄半切急性および慢性ネコにおける運動性諸反射の現われ方 第17回筋電図学会抄録集 28
- 4) 森 茂美・加藤正道・藤森聞一 (1964. 9) 脊髄半切慢性ネコにおける筋の伸展実験について 第17回筋電図学会抄録集 28-28
- 5) Kato, M., Takamura, H. & Fujimori, B. (1964. 2) Studies on effects of pyramid stimulation upon flexor and extensor motoneurons and gamma motoneurons. Jap. J. Physiol. 14, 34-44
- 6) 藤森聞一 (1964. 9) 運動の神経機序 筋電図入門 南山堂 東京 33-73
- 7) 藤森聞一 (1964. 9) 誘発筋電図 筋電図入門 南山堂 東京 147-181
- 8) 藤森聞一 (1964. 9) その他の電氣的運動機能検査法 筋電図入門 南山堂 東京 183-189
- 9) Shimamura, M., Mori, S., Matsushima, S. & Fujimori, B. (1964. 8) On the spino-bulbo-spinal reflex in dogs, monkey and man. Jap. J. Physiol., 14, 411-421
- 10) 島村宗夫・森 茂美・藤森聞一 (1964. 4) 脊髄, 延髄, 脊髄反射に及ぼす錐体路, 錐体外性の影響について 日本生理誌 26, 44
- 11) 島村宗夫 (1964. 9) 脊髄, 延髄, 脊髄反射とその反射の脊髄節性反射に及ぼす影響について 第17回筋電図学会抄録集 26
- 12) Andersen, P., J. C. Eccles, R. F. Schmidt & T. Yokota (1964. 1) Slow potential waves produced in the cuneate nucleus by cutaneous volleys and by cortical stimulation. J. Neurophysiol. 27, 78-91
- 13) Andersen, P., J. C. Eccles, R. F. Schmidt & T. Yokota (1964. 1) Depolarization of presynaptic fibers in the cuneate nucleus. J. Neurophysiol. 27, 92-106
- 14) Lynning, Y., Oshima, T. & Yokota, T. (1964. 5) Site of action of thiamylal sodium on the mono-synaptic spinal reflex pathway in cats. J. Neurophysiol., 27, 408-428
- 15) Victor, J. Wilson, William, H. Talbot & Masamichi Kato (1964. 4) Inhibitory convergence upon Renshaw cells. J. Neurophysiol. 27, 1063-1079
- 16) 藤森聞一・横田敏勝 (1964. 5) 皮膚電気反射 医学者のためのエレクトロニクス (応用篇) 259-282
- 17) 藤森聞一・佐藤昭夫 (1964. 6) 汗腺運動反射とその対比における血管運動反射の研究 自律神経 1, 7-8
- 18) Motokizawa, F. (1963. 10) EEG arousal and DC potential of the cerebral cortex. The XIIth annual meeting of the Japan EEG Society 38-40
- 19) Motokizawa, F. & Fujimori, B. (1963. 10) Arousal effects of afferent discharges from muscle spindles upon EEG in cats. The XIIth annual meeting of the Japan EEG Society 209-210
- 20) 元木沢文昭・加藤正道 (1964. 2) ネコの脳波に対する succinylcholine の覚醒作用 精神神経誌 66, 57-58
- 21) Motokizawa, F. & Fujimori, B. (1964. 8) Arousal effect of afferent discharges from muscle spindle upon EEG in cats. Jap. J. Physiol. 14, 344-353
- 22) 元木沢文昭 (1964. 4) 筋からの求心性インパルスの脳波に対する覚醒作用 日本生理誌 26, 44
- 23) Motokizawa, F. & Fujimori, B. (1964. 5) Fast activities and DC potential changes of the cerebral cortex during EEG arousal response. EEG clin. Neurophysiol. 17, 630-637
- 24) 藤森聞一・元木沢文昭・佐藤進 (1964. 9) 種々の要因の脳波の速波成分と緩電位におよぼす影響 第13回日本脳波学会抄録集 79
- 25) 藤森聞一 (1964. 10) 臨床用標準脳波分析器規格 医用電子と生体工学 2, 85-88

北海道大学獣医学部生理学教室

- 1) 本間慶蔵・木村克弥・原田悦守・関根和男 (1964. 2) 恒室温時に現われる特定部位の皮膚温動揺について (ひと, 家兎, にわとり, 第1報) 日本生理誌 26, 70-71
- 2) 本間慶蔵・木村克弥・原田悦守 (1964. 6) 恒温に際して見られる皮膚温の変動に関する知見 日本生理誌 26, 338

北海道大学理学部動物生理学講座

- 1) 玉重三男 (1964. 2) 昆虫の鳴く機構 日本生理誌 26, 81
- 2) Hisada, M. & S. Y. Botelho (1964. 4) Electrical properties of the membrane of in situ lacrimal

- gland cells in cats. Fed. Proc. **23**, 113
- 3) 山口恒夫 (1964. 6) 蛙単一筋細胞の麻酔機構について 日本生理誌 **26**, 338
 - 4) Okumura, H. (1964. 12) Membrane permeability and response to light in *Paramecium*. J. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. VI, Zool. **15** (No. 3)
 - 5) 奥村 浩 (1964. 11-12) ゴウリムシの光刺激 動物学雑誌 **73**, 355
 - 6) Miyamoto, Y. (1964. 12) Effects of reduction of calcium ions on the electrical properties of an isolated single muscle fibre of the crayfish. J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool. **15** (No. 3)
 - 7) Kakiuchi, Y. (1964. 12) The change in birefringence of the activated crayfish single muscle fibre. J. Fac. Sci., Hokkaido Univ. Ser. VI, Zool. **15** (No. 3)
 - 8) Sato, T. (1964. 12) Antidromic impulses from the dorsal root and peripheral nerve of frog. J. Fac. Sci., Hokkaido Univ. Ser. VI, Zool. **15** (No. 3)
 - 9) 佐藤俊英 (1964. 6) カエルの後根反射について 日本生理誌 **26**, 338
 - 10) 山下雄平 (1964. 2) 変形および電流刺激下におけるゴウリムシの原形質流動 動物学雑誌 **73**, 39-44
 - 11) 山下雄平 (1964. 11-12) 電流作用下のゴウリムシの原形質流動 動物学雑誌 **73**, 355-356
 - 12) 青木 清 (1964. 1) アメリカザリガニの歩脚の神経支配について 動物学雑誌 **73**, 1-6
 - 13) 青木 清 (1964. 11-12) ザリガニの歩脚の感覚毛からの電気的反応 動物学雑誌 **73**, 360-361

札幌医科大学生理学教室第1講座

- 1) Nagai, T., H. Takahashi & M. Takauji (1964. 1) Relaxing Factor System in Muscle. Exp. Med. Surg. **22**, 33-45
- 2) 中原 孝・阿部久雄 (1964. 1) 筋 Microsome の Effective Eluate ならびに EDTA の弛緩活性に対する痙縮剤の影響 札幌医学誌 **25**, 1-4
- 3) 中原 孝・中野郁佑 (1964. 1) 筋弛緩因子系に対する Ca^{2+} の作用機序 札幌医学誌 **25**, 5-7
- 4) 阿部久雄 (1964. 1) 心筋の弛緩因子系に対する Catecholeamine および Persantin の影響 札幌医学誌 **25**, 8-10
- 5) Fujino, K. & S. Fujino (1964. 3) Removal of the inhibitory effect of hypertonic solutions on the contractibility in muscle cells and the excitation-contraction link. Nature **201**, 1331
- 6) 鈴木啓司・山口俊夫 (1964. 5) 種々の Ca 濃度条件下における蛙心室筋および骨格筋の活動性におよぼす ATP の作用 札幌医学誌 **25**, 113
- 7) Takashina, H. & M. Kasuya (1964. 6) Effects of Sonication and Other Agents on the Actions of Muscle Microsomes. Jap. J. Physiol. **14**, 245-255
- 8) Fujino, K. & S. Fujino (1964. 7) Selective inhibition of potassium contracture in presence of

intact twitch. J. Gen. Physiol. **47**, 1079

- 9) Fujino, K. & S. Fujino (1964. 7) Die Beziehung Zwischen Caffein-Kontraktur und Calcium am Froschskelettmuskel. Pflügers Archiv **278**, 478

札幌医科大学第2生理学教室

- 1) 宮崎英策・高橋正樹・藪 英世・鈴木啓司 (1964) 筋の諸性質に対する malonate および 2, 3 の物質の影響 日本生理誌 **26**, 78
- 2) 藪 英世 (1964) 骨格筋呼吸における Potassium ion の促進作用に対する Calcium ion の役割について 札幌医誌 **26**, 169-173
- 3) 藪 英世 (1964) 蔗糖およびグリセロール液短期抽出筋の呼吸能について 札幌医誌 **26**, 174-178
- 4) 藪 英世 (1964) 尿素処理筋の諸性質について 札幌医誌 **26**, 251-257
- 5) 藪 英世 (1964) マロン酸による蟻骨格筋静止時および活動時呼吸の分離現象について 札幌医誌 **26**, 258-265

弘前大学医学部第1生理学教室

- 1) Ozaki, T. (1964) Some Evidences on Minor Tremor XIIth Ann. Meet. Jap. EEG Soc. 113
- 2) 尾崎俊行・藤原克三 (1964) 体表面の微小振動に及ぼす自律神経作用物質の影響について 日本生理誌 **26**, 68
- 3) 大庭健吾・藤原克三 (1964) 家兎血液注射による摘脾犬の白血球数変動 弘前医学 **16**, 92-96

弘前大学医学部第2生理学教室

- 1) 高橋政嗣・中村 勉 (1964. 2) 蟻口蓋線毛上皮の活動電位 第1報 日本生理誌 **26**, 80-81
- 2) 中上克彦・長岡 拓 (1964. 10) 終板電位に及ぼす蜂毒の影響 弘前医学 **16**, 352-359
- 3) 築瀬久光 (1964. 12) 骨格筋の静止電位の研究 第4報 蛙筋の静止電位に及ぼす陽イオン活性剤の影響 (2) 弘前医学 **16**, 573-590
- 4) 築瀬久光 (1964. 12) 骨格筋の静止電位の研究 第5報 蛙腹壁筋の静止電位に及ぼす陽イオン活性剤の影響 弘前医学 **16**, 591-607
- 5) 白倉義則 (1964. 12) 骨格筋の静止電位の研究 第6報 蟻腹壁筋の静止電位に及ぼす一価の金属塩水溶液の影響 弘前医学 **16**, 608-617

岩手医科大学第2生理学教室

- 1) 八木舎四・小島一夫・持木 太・田中登志夫 (1964. 3) 脳における酸素電極の応答について 第5回日本神経学会講演抄録集 28
- 2) 八木舎四・小島一夫・持木 太・田中登志夫 (1964. 2) 酸素電極法でみた冠循環の特性 日本生理誌 **26**, 58
- 3) 八木舎四・小島一夫・持木 太・山口光也・田中登志夫・高橋昌子 (1964. 5) マウスに対する青酸カリの LD_{50} 岩手医誌 **16**, 429
- 4) 小島一夫 (1964. 7) 脳における酸素電極の応答について 岩手医誌 **16**, 124

- 5) 八木舎四・小島一夫・持木 太 (1964. 9) 酸素電極法でみた冠循環の特性 第5回日本脈管学会総会プログラム 39
- 6) 八木舎四・小島一夫・持木 太 (1964. 9) 酸素電極法でみた脳組織酸素分圧と脳脊髄液圧及び脳波の関係 脳と神経 **17**, 201
- 7) 八木舎四・小島一夫・持木 太 (1964. 11) 脳皮質および視床の酸素電極法でみた特徴 岩手医誌 **16**, 434
- 8) 八木舎四・小島一夫・持木 太 (1964. 11) 酸素電極法でみた冠循環の特性 ベルツ賞受賞

東北大学医学部第1生理学教室

- 1) 佐藤精一・和田正男 (1964. 2) Eserine の発汗効果に関する 2, 3 の観察 日本生理誌 **26**, 65-66
- 2) Tsuyoshi Aoki (1964. 6) Cholinesterase activities associated with the sweat glands in the toe pads of the dog. Nature **202**, 1124-1126
- 3) Asakura Y. (1964) Effects of reserpine and polyethylene glycol on the receptors responsible for the sweating axon reflex in the human skin. Arch. int. Pharmacodyn. **149**, 401-414
- 4) Yoshikazu Takahashi (1964) Functional activity of the eccrine sweat glands in the toe-pads of the dog. Tohoku J. exp. Med. **83**, 205-219
- 5) Sakurai, M., W. Montagna (1964. 6) Pharmacological properties of the sweat gland of Lemur Mongoz. J. invest. Dermat. **42**, 411-414
- 6) Sakurai, M., W. Montagna (1964. 11) Experiments in the sweating on the palms of the green monkey. J. invest. Dermat. **43**, 279-285

東北大学医学部第2生理学教室

- 1) 平 則夫・今沢義行 (1964. 2) 単一視神経線維で調べた網膜の光刺激と電気刺激の干涉 日本生理誌 **26**, 82-83
- 2) 小川哲朗 (1964. 2) 視索の電気刺激に対する猫網膜神経節細胞の反応 日本生理誌 **26**, 83
- 3) 田崎京二 (1964. 2) 頭足類網膜の電氣的活動 日本生理誌 **26**, 98
- 4) Hagiwara, S. Naka, K. & S. Chichibu (1964. 3) Membrane properties of barnacle muscle fiber. Science **143**, 1446-1448
- 5) 鈴木寿夫・塚原保夫 (1964. 6) サーミスタによる脳局所血流測定 第3回 ME 大会論文集 58
- 6) Hagiwara, S., Chichibu, S. & Naka, K. (1964. 9) The effects of various ions on resting and spike potentials of barnacle muscle fibers. J. Gen. Physiol. **48**, 163-179
- 7) Suzuki, S. & S. Ochs (1964. 10) Laminar stimulation for direct cortical responses from intact and chronically isolated cortex. EEG clin. Neurophysiol. **17**, 405-413
- 8) 本川弘一・西崎京二 (1964. 11) 視覚研究のための電子装置 医学のあゆみ **51**, 516-518

東北大学医学部応用生理学教室

- 1)* Nagasawa, J. (1963. 11) The Effects of Temperature and Some Drugs on the Ionic Movements in the Smooth Muscle of Guinea-pig Taenia Coli. Tohoku J. exp. Med. **81**, 222-237
 - 2) Suzuki, T., Inomata, H. (1964. 11) The Inhibitory Post-synaptic Potential in Intestinal Smooth Muscle Investigated with Intracellular Microelectrode. Tohoku J. exp. Med. **82**, 48-51
 - 3) Suzuki, T., Nishiyama, A. & Okamura, K. (1964. 12) The Effects of Barium Ion on the Resting and Action Potential of Intestinal Smooth Muscle Cell. Tohoku J. exp. Med., **82**, 87-92
 - 4) Suzuki, T., Okamura, K. & Nagasawa, J. (1964. 11) Mechanical Activities of Uterine Muscle in Sodium- and Chloride-deficient Media. Tohoku J. exp. Med. **82**, 93-103
 - 5) Nagasawa, J. (1964. 12) The Effects of Change in Ionic Milieu and Electrical Stimulation on the Ionic Movements in Smooth Muscle. Tohoku J. exp. Med. **82**, 103-116
 - 6) Nishiyama, A. & Kao, C. Y. (1964. 3-4) Presynaptic actions of saxitoxin at neuromuscular junction. Fed. proc. **23** (No. 2)
 - 7) Nishiyama, A. & Kao, C. Y. (1964. 10) Ovarian hormones and resting potential of rabbit uterine smooth muscle. Amer. J. Physiol. **207**, 793-799
 - 8) 長沢純一郎 (1964. 11) 平滑筋細胞の興奮とイオンの移動 最新医学 **19**, 3033
 - 9) 赤田 琢 (1964. 11) Choleustokinin の作用機転について 最新医学 **19**, 3033-3034
 - 10) 猪又八郎 (1964. 11) 腸管平滑筋細胞の電気刺激に対する反応性について 最新医学 **19**, 3040
 - 11) 鈴木泰三・猪又八郎 (1964) 平滑筋における IPSP 及び EPSP について 日本生理誌 **26**, 561
 - 12) 鈴木泰三・長沢純一郎 (1964. 11) 平滑筋の興奮とイオンの移動 日本生理誌 **26**, 561
 - 13) 鈴木泰三・長沢純一郎・猪又八郎・梅津武美 (1964. 2) 平滑筋における神経 ——筋接合部の機能と形態 日本生理誌 **26**, 79
- * 印は前年度脱落分

福島県立医科大学第1生理学教室

- 1) 石井公正・本田和正 (1964. 2) Carotid Labyrinth の研究 日本生理誌 **26**, 60
 - 2)* Ishii, K., K. Ishii & K. Honda (1963. 12) Blood Pressure and Body Temperature in Restraint Hypothermia. Fukushima J. Med. Sci. **9-10**, 13-18
- * 印は前年度脱落分

群馬大学医学部第1生理学教室

- 1) 松本政雄・渡辺禎二・浅川守胤 (1964. 2) 骨格筋線維の電氣的常数及びその変化に関する研究 日本生理誌 **26** (2), 第41回日本生理学会総会号

- 2) 後藤鹿島 (1964. 3) 猫のパチニー氏小体の二重神経支配 北関東医学 **14**, 221
- 3) Masao Matumoto, Teiji Watanabe (1964) Electric capacity of the excitable membrane on the electrochemical model of excitation. Gunma J. Med. Sci. **13**, 17
- 4) Kashima Goto, R. K. S. Linn, F. Guzman, et al. (1964) Site of action of narcotic and nonnarcotic analgesics determined by bradykinin-evoked visceral pain. Arch. int. Pharmacodyn **123**, 601
- 5) 浅川守胤 (1964. 5) 興奮膜の成生及び消失経過に於ける電気的性質の変化に関する研究 1. 電気容量及び其の変化 日本生理誌 **26**, 267
- 6) 浅川守胤 (1964. 5) 興奮膜の成生及び消失経過に於ける電気的性質の変化に関する研究 2. 抵抗及び分極性の変化 日本生理誌 **26**, 274
- 7) 森川襄治 (1964. 7) 電流刺激による骨格筋線維短縮の種々相 北関東医学 **14**, 289
- 8) 松本政雄 (1964. 12) 神経のモデル (周期性興奮模型) 自然 **34** (12号), 98
- 9) 松本政雄・渡辺禎二 (1964. 11) 働作電位の spike plateau の成因に就いて 日本生理誌 **26**, 559
- に甲状腺刺激ホルモン (TSH) の影響について (第41回日本生理学会総会) 日本生理誌 **26**, 65
- 2) 鈴木光雄 (1964. 6) (宿題シンポジウム 甲状腺ホルモンの生成と代謝) 甲状腺ホルモンの生成——甲状腺におけるヨウ素の有機化反応機構について—— (第37回日本内分泌学会総会) 日本内分泌誌 **20**, 1065-1071
- 3) 山本 清 (1964. 8) Change in thyroxine deiodinase of the frog, *Xenopus laevis* Daudin, during metamorphosis and growth. Gen. Compar. Endocrinol. **4**, 360-369
- 4) 山本 清 (1964. 8) Possible role of ascorbic acid as a physiological depressant of thyroxine degradation in rat liver. Gen. Compar. Endocrinol. **4**, 380-388
- 5) 鈴木光雄・今井勝行・伊藤明夫・大村恒雄・佐藤了 (1964. 10) ラット肝ミクロゾームに対する甲状腺摘除およびトリヨードチロニン投与の影響について (第37回日本生化学会総会) 生化学 **36**, 548
- 6) 鈴木光雄 (1964. 10) 甲状腺ミクロゾームの可溶性酵素によるヨウ素化反応について (第37回日本生化学会総会) 生化学 **36**, 593
- 7) 亀井照子・渡植貞一郎・鈴木光雄・山本 清 (1964. 11) I^{131} -サイロキシンのマウス腎分布の性差 (第12回日本内分泌学会東部々会総会)
- 8) 鈴木光雄・渡植貞一郎・湯浅 茂・石川一郎・山本 清・亀井照子 (1964. 11) 急性寒冷曝露時におけるヒトの内分泌機能の変化について——特に甲状腺機能を中心として—— (第11回北関東医学会総会)
- 9) 鈴木光雄・石川一郎 (1964. 12) 甲状腺ホルモンとその分泌異常 診療 **17**, 1605-1613

群馬大学医学部第2生理学教室

- 1) 高木貞敬 (1964. 2) 勾刺激により嗅上皮に発生する遅電位は Generator potential か? 日本生理誌 **26** (2), 96-97
- 2) Shibuya, T. (1964. 3) Dissociation of olfactory neural response and mucosal potential. Science **143**, 1338-1340
- 3) 東野庄司 (1964. 4) 電圧-電流-時間特性による生体興奮膜の解析 (その1) 生体の科学 **15** (2), 14-22
- 4) 東野庄司 (1964. 6) 電圧-電流-時間特性による生体興奮膜の解析 (その2) 生体の科学 **15** (3), 36-45
- 5) Nakamura, Y., T. Hirao (1964. 6) Spindle-inducement and its correlation with hippocampal EEG. Jap. J. Physiol. **14** (3), 221-235
- 6) Sadayuki, F. Takagi and Yajima, T. (1964. 6) Electrical responses to odours of degenerating olfactory epithelium. Nature **202**, 1220
- 7) 平尾武久 (1964. 9) Alpha 波——集合電位の周期性—— 脳波学会
- 8) Higashino, S. and Sadayuki F. Takagi (1964. 11) The effect of electrotonus on the olfactory epithelium. J. Gen. Physiol. **48** (2), 323-335
- 9) Fujita, H., Oikawa I., Ihara, H. and Sadayuki F. Takagi (1964. 12) Centrifugal regulation of olfactory bulb activity as studied by stimulation of the amygdala and the anterior limb of the anterior commissure. Jap. J. Physiol. **14** (6), 615-629

群馬大学医学部内分泌研究所生理学 (第2研究部)

- 1) 渡植貞一郎・亀井照子・山本 清 (1964. 4) サイロキシン (T^4) 代謝に及ぼす下垂体前葉ホルモン, 特

群馬大学医学部生化学教室

- 1) 山添三郎 (1964. 1) Na^+ , K^+ 促進性 ATPase について 北関東医学 **13**, 335-339
- 2) Nakano, M., S. Tsuchiya, and T. S. Tanowski (1964. 1) Purification of thyroid hormonetransaminase from rat kidney mitochondria. Proc. Soc. Exp. Biol. & Med. **115**, 16-18
- 3) 中野 稔 (1964. 3) 甲状腺ホルモン脱アミノに関する酵素 北関東医学 **14**, 137-144
- 4) Kanoh, T. (1964. 3) Studies on the brain phospholipids: Isolation of phosphatidic acid and fatty acid composition of phospholipids from beef brain cortex. Gunma J. Med. Sci. **13**, 1-12
- 5) Nakamura, I., T. Kanoh and S. Yamazoe (1964. 3) On the stability of beef brain lecithin on silicic acid column. Gunma J. Med. Sci. **13**, 14-16
- 6) Kai, M., M. Saga and S. Yamazoe (1964. 3) Analysis of beef brain lipids by thin layer chromatography. Gunma J. Med. Sci. **13**, 25-32
- 7) Nakano, M., T. S. Danowski (1964. 4) Thyroid-hormone transaminase and oxidase in rat-kidney mitochondria. Biochim. Biophys. Acta **85**, 18-28

- 8) 浅見 裕 (1964. 5) Thyroid hormone transaminase と Tyrosine- α -ketoglutaric-transaminase の差異について 北関東医学 14, 250-253
- 9) 清水正二郎・山添三郎 (1964. 6) Na^+ , K^+ 促進性 ATPase に関する研究 第1報 ダイコクネズミ骨格筋のミクロゾーム分画の ATPase 医学と生物学 68, 298-301
- 10) Uesugi, S., and S. Yamazoe. (1964. 6) Acetylcholinesterase activity during the development of the rainbow trout eggs. Gunma J. Med. Sci. 13, 91-93
- 11) 清水正二郎・山添三郎 (1964. 7) Na^+ , K^+ 促進性 ATPase に関する研究 第2報 ウサギ骨格筋ミクロゾーム分画の ATPase 医学と生物学 69, 1-4
- 12) 林 浩平・中村 勇・甲斐睦興・山添三郎 (1964. 7) 脳イノシトール脂質代謝とイオン輸送の関係——イオン環境変化の脳リン脂質代謝に及ぼす影響について—— 神経研究の進歩 8, 535-539
- 13) 林 浩平 (1964. 8) 脳組織の脂質測定法 I. リン脂質 脳と神経 16, 66-71
- 14) 林 浩平 (1964. 9) 脳の脂質代謝 脳の生化学 (医学書院) 204-233
- 15) 林 浩平・中村 勇・八木原嘉幸・山添三郎 (1964. 9) 脳の蛋白結合イノシタイドとそれへの ^{32}P 組入れ 生化学 36, 590
- 16) 上杉四郎・山添三郎 (1964. 9) ブタ副睾丸精子のナトリウム・カリウム促進性 ATPase 生化学 36, 654
- 17) 林 浩平・八木原嘉幸・中村 勇・山添三郎 (1964. 10) 脳のイノシタイドとそれへの ^{32}P 組入れについて 神経化学 3, 20-23
- 18) Hayashi, K., I. Nakamura and S. Yamazoe (1964. 11) Effect of sodium ions on the incorporation of P^{32} -labeled orthophosphate into phosphatidic acid and inositides in guinea pig brain slices. J. Biochem. 56, 381-391
- 19) Nakano, M. (1964. 12) Comparison of the enzyme oxidizing thyroid hormone with L-amino acid oxidase. Biochim. Biophys. Acta 92, 472-481

新潟大学医学部第1生理学教室

- 1) 新島 旭 (1964. 2) ガマの胃並びに食道の機械的受容器について 日本生理誌 26, 98
- 2) Eyzaguirre, C., Taylor, J. R. & Koyano, H. (1964. 3-4) Presence of acetylcholine and transmitter release from carotid body chemoreceptors. Fed. Proc. 23 (No. 2)

新潟大学医学部生理学第2教室

- 1)* 阿部啓二 (1963. 5) Changes in the Pulmonary Temperature by Mechanical and Thermal Stimulations on the Body Surface in Rabbits. Acta Medica et Biologica 11, 87-97
- 2) 大塚為和 (1964. 1) 腸雑音の性質と考え方 (特に家兎の腸雑音に於ける単位音について) 日消病誌

61 (1号),

- 3) 高橋久仁男・小林庄一 (1964. 9) Contributions to the Physiology of the Ventilatory Movement and Reflex of the Toad. Acta Medica et Biologica 11, 213-221
 - 4) 阿部啓二 (1964. 11) Effect of the Chemical Stimulation on the Nasal Mucosa upon the Pulmonary Temperature in Rabbits. Acta Medica et Biologica 11, 243-255
 - 5) 島田久八郎 (1964. 2) 迷走神経のフィードバック順応刺激による呼吸反射 日本生理誌 26, 69
 - 6) 阿部啓二・小林庄一 (1964. 12) 鼻粘膜化学刺激の肺温に及ぼす影響 呼吸と循環 12, 907-910
- * 印は前年度脱落分

新潟大学医学部脳外科研究施設

- 1) 川崎 匡 (1964) 音刺激に対する猫の小脳ニューロンの反応について 日耳鼻 67, 1-12
- 2) 沢 政一・梶鎮夫・丸山直滋・中村久吾 (1964. 2) 発放電に伴う大脳皮質運動野神経細胞の細胞内電位変化 日本生理誌 26, 50
- 3) 小泉純一郎 (1964) 視性眼振解発時における家兎上丘ニューロンの反応について 日耳鼻 67, 215-227
- 4) 丸山直滋・阿部譲二・川崎 匡・加藤 功・樋口卓 (1964. 3) 音刺激による猫の小脳ニューロンの抑制について 日耳鼻 67, 411
- 5) 沢 政一・梶 鎮夫・薄木幹司・内藤明彦・和泉貞次 (1964. 4) てんかん発作と網様体ニューロン活動 精神神経誌 66, 312-313
- 6) 沢 政一・梶 鎮夫・薄木幹司・中村久吾 (1964. 9) 猫大脳皮質ニューロン活動に及ぼす尾状核刺激の影響 日本脳波学会抄録集 13, 44
- 7) 丸山直滋・中村久吾・川崎 匡・岩井喜典・田中弘 (1964. 9) 生体現象統計解析機の試作 日本脳波学会抄録集 13, 66
- 8) 沢 政一・内藤明彦・和泉貞次 (1964. 9) 中脳網様体の単一ニューロン活動の反応態度 日本脳波学会抄録集 13, 79

千葉大学医学部第1生理学教室

- 1) 三浦光彦 (1964) イヌの頸動脈洞神経発射の研究 日本生理誌 26, 119-145
- 2) 近藤正治 (1964) 伸張反射よりみた人体骨格筋の機能分化について 低周波医学 6, 37-47
- 3) 辰濃治郎 (1964) 大脳運動鎮刺激と脊髄運動ニューロン発射について 日本生理誌 26, 181-193
- 4) 本間三郎 (1964) 単および多シナプス伝達における1つの相違点 日本生理誌 26, 94
- 5) 本間三郎・加濃正明 (1964) 医用電子における生体電位導出電極の問題点 電子工業 6, 543-548
- 6) Homma, S. & Y. Seki (1964) Muscle spindles in phasic and tonic muscle. Tohoku J. exp. Med. 83, 391-397
- 7) 本間三郎・三浦光彦・近藤正治 (1964) 人体運動ネ

ウロンブールの閾下縁に関する研究 千葉医会誌
40, 259-265

- 8) 本間三郎 (1964) 筋紡錘発射伝達に対する促進と抑制 千葉医会誌 40, 303-311
- 9) 小林竜男・石川稔生・本間三郎・浜村道子 (1964) Tetrodotoxin による錐内筋, 錐外筋線維の麻酔 千葉医会誌 40, 312-320
- 10) 小林竜男・石川稔生・本間三郎・浜村道子 (1964) Tetrodotoxin 作用下の伸展反射 千葉医会誌 40, 321-329
- 11) Takano, K. (1964) On intrafusal muscle activity following stimulation of the ventral roots. 千葉医会誌 40, 330-346
- 12) 山中 力 (1964) 人体筋紡錘に対する高頻度振動の効果 千葉医会誌 40, 338-346
- 13) 鈴木 茂 (1964) 心臓管内圧の緊張性, 相性変化にみられる求心性迷走神経発射について 千葉医会誌 40, 368-382
- 14) 道場信孝 (1964) 頸動脈洞壁神経発射のパターンにかんする 2, 3 の観察 千葉医会誌 40, 383-398
- 15) 海保 允 (1964) ネコ胃壁伸展受容器の迷走神経発射 千葉医会誌 40, 399-411
- 16) 加濃正明 (1964) 電気通流によるザリガニ巨大神経線維の膜抵抗変化 千葉医会誌 40, 412-425

千葉大学医学部第2生理学教室

- 1) 福田篤郎・小林 丘・岡田光生 (1964. 11) Development of shock-inducing factor in canine endotoxin shock. *Nature* 204, 585
- 2) 福田篤郎・村田和夫 (1964. 11) Hepatic pyrogen and cortisone-antipyresis in canine endotoxin fever. *Nature* 204, 690
- 3) 福田篤郎・岡田光生・小林 丘 (1964. 12) On the mechanism of protection of endotoxin shock by glucocorticoids. *Jap. J. Physiol.* 14, 560

千葉大学医学部第2内科教室

- 1) 三浦光彦 (1964. 1) イヌの頸動脈洞壁神経発射の研究 日本生理誌 26, 119-145
- 2) 斎藤十六・稲垣義明・宇佐美暢久・中村 仁 (1964. 1) 物理的心臓管力学的分析法 呼吸と循環 12, 15-33
- 3) 三浦光彦・道場信孝・村松 準・本間三郎 (1964. 6) 頸動脈洞壁神経発射のパターンにかんする観察 自律神経 1, 13-14
- 4) 道場信孝 (1964. 9) 頸動脈洞壁神経発射のパターンにかんする 2, 3 の観察 千葉医会誌 40, 383-398
- 5) 野呂忠慈・野口徹男・成瀬 朝 (1964. 10) 静脈脈波の診断的価値の検討 日循会誌 28, 826
- 6) 増田善昭 (1964. 11) 動脈脈波の "Vorwelle" についての臨床的観察 千葉医会誌 40, 482-498
- 7) 村松 準 (1964. 11) 多相性脈波分析による Ballistocardiogram の診断的価値の検討 千葉医会誌 40, 506-535

横浜市立大学医学部生理学第1講座

- 1) 畠山一平・佐川喜一・山本 弘 (1964. 2) 減圧神経を介する血圧調節系の制御論的解析 日本生理誌 26, 60-61
- 2) 畠山一平 (1964. 4) 酵素系の Feedback について 生体の科学 15, 54-65
- 3) 畠山一平 (1964. 6) アナログ計算機による血圧血流関係の解析 第3回 ME 大会論文集 24-26
- 4) 佐川喜一 (1964. 6) 循環中枢に対する化学情報としての Hypoxia 日本生理誌 26, 326
- 5) 佐川喜一 (1964. 10) 血圧調節の制御論的解析 日本生理誌 26, 526

横浜市立大学医学部第2生理学教室

- 1) Kawakami, M., E. Terasawa and J. Kawachi (1964. 6) Studies on the oxytocin sensitive component in the reticular activating system. *Jap. J. Physiol.* 14, 104-121
- 2) 川上正澄 (1964. 2) Stress 緩衝作用と視床下部 日本生理誌 26, 111
- 3) Kawakami, M., and C. H. Sawyer (1964. 6) Conditioned induction of paradoxical sleep in the rabbit. *Experimental Neurology* 9, 470-482
- 4) Kawakami, M., S. Ishida, K. Yoshida, K. Ibuka, E. Terasawa and H. Negoro (1964) The effect of brain lesions upon the spontaneous EEG-afterreaction in rabbit treated with sex hormones. *Gunma Symposia on Endocrinology* 1, 221-241
- 5) 川上正澄・寺沢 瑩・高橋俊安・土橋昭一・根来次雄 (1964. 9) 発情, 排卵, 妊娠, 分娩に伴う脳の電気活動について 日本脳波学会 (第13回) 講演抄録集 p 8
- 6) 川上正澄・根来英雄・石田孜郎・腰野富久 (1964. 9) ストレスの中樞神経系に及ぼす影響 日本脳波学会 (第13回) 講演抄録集 p 45
- 7) 川上正澄・吉田三知・柳瀬昌弘 (1964. 9) Paradoxical sleep と TCA cycle 関連物質について 日本脳波学会 (第13回) 講演抄録集 p 46
- 8) 川上正澄・根来英雄・小野 慈・津屋 旭 (1964. 9) 脳に対する放射線の影響 日本脳波学会 (第13回) 講演抄録集 p 28
- 9)* Kawakami, M., S. Ishida, K. Yoshida, H. Negoro and E. Terasawa (1963. 10) Effect of sexual activities upon EEG afterreaction. The XIIth Annual Meeting of The Japan EEG Society pp. 31-37
- 10)* Kawakami, M., E. Terasawa and H. Negoro (1963. 10) Interaction between reticular activating system and visceral motility. The XIIth Annual Meeting of The Japan EEG Society pp. 78-84
- 11)* Kawakami, M., and H. Negoro (1963. 10) Effect of radiation and some drugs upon paradoxical sleep. The XIIth Annual Meeting of The Japan EEG Society pp. 180-188

- 12) 川上正澄 (1964. 10) Paradoxical sleep (EEG after reaction) 発現機構における体液性因子の重要性 脳と神経 **16**, 828
- 13) 川上正澄 (1964. 10) 発情, 排卵, 妊娠と脳の電気的活動 日本内分泌学誌 **40**, 944
* 印は前年度脱落分

横浜市立大学体育医学教室

- 1) 小川義雄・遊佐清有・高橋政子 (1964. 2) 末梢血行調節装置についての検索 (Ⅲ) 日本生理誌 **26**, 58
- 2) 片尾周造・鈴木辰雄・遊佐清有 (1964. 8) スタート動作に関する研究 (その1) 体育学研究 **9**, 21
- 3) 小川義雄・遊佐清有・高橋政子・鈴木辰雄・片尾周造 (1964. 8) 神奈川県におけるオリンピック候補選手の体力について 体育学研究 **9**, 84
- 4) 小川義雄・遊佐清有・高橋政子 (1964. 6) 体力の民族的差異について 体力科学 **13**, 46
- 5) 小川義雄・遊佐清有・高橋政子・片尾周造 (1964. 6) ステップテストによる循環機能検査の検討 体力科学 **13**, 51
- 6) 小川義雄・遊佐清有・高橋政子・片尾周造 (1964. 6) 種目別にみた運動選手の反応時間について 体力科学 **13**, 70

東京大学医学部第1生理学教室

- 1)* 松田幸次郎 (1962) 心筋細胞の興奮と電解質 昭和37年文部省研究報告集録 (医学及び薬学) **41**
- 2) 入内島十郎 (1964) 哺乳動物心臓の迷走神経支配 生体の科学 **15**, 22-32
- 3) Juro Iriuchijima, & Mamoru Kumada (1964) Activity of single vagal fibers efferent to the heart. Jap. J. Physiol. **14**, 479
- 4) 松田幸次郎・上山章光・星山正夫 (1964) Purkinje線維・心室筋間の興奮伝導 日本生理誌 **26**, 63
- 5) 東 健彦 (1964) 血液の流動的性質 材料 **13**, 291-297
- 6) Juro Iriuchijima, and Hiromaru Ogata (1964) Continuous observations of cardiac output with electromagnetic flowmeter during cardiovascular reflexes. Jap. Heart J. **5**, 49-56
- 7) 松田幸次郎・猪股修二・熊田 衛 (1964) 医学と情報処理装置 総合臨床 **13**, 1127-1131
- 8) 星 猛 (1964) 尿濃縮機構に関する Counter Current 模型と実際の腎髄質内物質の分布 生体の科学 **15**, 257-266
- 9) 松田幸次郎 (1964) 心臓特殊系の電気生理学的研究 昭和38年度文部省研究報告集録 (医学及び薬学) **116**

* 印は前々年度脱落分

東京大学医学部第2生理学教室

- 1) 内蘭耕二 (1964. 6) 自律神経系の電気生理学と形態学 生体の科学 **15** (3号), 102
- 2) 内蘭耕二 (1964. 2) 電気生理学と形態学の境界領域 東京医学誌 **72** (1号), 10

- 3) 内蘭耕二 (1964) 心筋毛細血管の神経支配に就て 脈管学 **4** (1号)
- 4) 内蘭耕二 (1964. 4) On different types of synaptic vesicles in the sympathetic ganglia of amphibia. Jap. J. Physiol. **14**, 210
- 5) 内蘭耕二 (1964. 12) Innervation of the blood capillary in the heart of dog and rabbit. Jap. J. Physiol. **14**, 587
- 6) 伊藤正男 (1964. 1) 神経細胞の電気的活動性の研究 医用電子と生体工学 **2**, 19-26
- 7) 伊藤正男 (1964) ダイテルス核細胞におけるシナプス伝達 日本生理誌 **26**, 95-96
- 8) Eccles, J. C., Eccles, R. M. & Ito, M. (1964) Effects of intracellular potassium and sodium injections on the inhibitory postsynaptic potential. Proc. Roy. Soc. B **160**, 181-196
- 9) Eccles, J. C., Eccles, R. M. & Ito, M. (1964) Effects produced on inhibitory postsynaptic potentials by the coupled injections of cations and anions into motoneurons. Proc. Roy. Soc. B **160**, 197-210
- 10) 伊藤正男 (1964. 10) 抑制性シナプス下膜のイオン透過性 生体の科学 **15**, 224-232
- 11) 伊藤正男 (1964. 10) 神経研究のための電子装置 医学のあゆみ **51**, 298-300
- 12) Ito, M., Hongo, T., Yoshida, M., Okada, Y. & Obata, K. (1964) Intracellularly recorded antidromic responses of Deiters' neurones. Experientia **20**, 295-296
- 13) Ito, M. & Yoshida, M. (1964) The cerebellar-evoked monosynaptic inhibition of Deiters' neurones. Experientia **20**, 515-516
- 14) Ito, M., Yoshida, M. & Obata, K. (1964) Monosynaptic inhibition of the intracerebellar nuclei induced from the cerebellar cortex. Experientia **20**, 575-576
- 15) Ito, M. & Kawai, N. (1964) IPSP-receptive field in the cerebellum for Deiters' neurones. Proc. Jap. Acad. **40**, 762-764
- 16) Ito, M., Obata, K. & Ochi, R. (1964) Initiation of IPSP in Deiters' and fastigial neurones associated with the activity of cerebellar Purkinje cells. Proc. Jap. Acad. **40**, 766-768
- 17) Ito, M., Hongo, T., Yoshida, M., Okada, Y. & Obata, K. (1964. 12) Antidromic and trans-synaptic activation of Deiters' neurones induced from the spinal cord. Jap. J. Physiol. **14**, 638-658
- 18) Ito, M. & Oshima, T. (1964) The electrogenic action of cations on cat spinal motoneurons. Proc. Royal Soc., B **161**, 92-108
- 19) Ito, M. & Oshima, T. (1964) The extrusion of sodium from cat spinal motoneurons. Proc. Roy. Soc., B **161**, 109-131
- 20) Ito, M. & Oshima, T. (1964) Further study on

- active transport of sodium across motoneuronal membrane. Proc. Roy. Soc., B **161**, 132-141
- 21) Nakajima, S. & Kusano, K. (1964) Behavior of delayed (K-) current under controlled voltage in supramedullary neurons of puffer. Biophys. Soc. 7th Ann. Meeting WC 1.
 - 22) Nakamura, Y., Nakajima, S. & Grundfest, H. (1964) Selective block of Na-activation in voltage-clumped squid giant axon and eel electroplaque by tetrodotoxin. Biol. Bull, **127**, 382
 - 23) Nakamura, Y., Nakajima, S. & Grundfest, H. (1964) Eel electroplaques ; Spike electrogenesis without potassium activation. Science **146**, 266
 - 24) Nakajima, S. (1964) Adaptation in stretch receptor neurons of crayfish. Science **146**, 1168
 - 25) 塚原伸晃・外山敬介・小坂健二 (1964) 細胞内誘導法による赤核の電気活動 日本生理誌 **26**, 48-49
 - 26) Tsukahara, N., Toyama, K. & Kosaka, K. (1964) Intracellularly recorded responses of red nucleus neurones during antidromic and orthodromic activation. Experientia **20**, 632-633
 - 27) Tsukahara, N. & Ohye, C. (1964) Polysynaptic activation of extensor motoneurons from Group Ia fibres in the cat spinal cord. Experientia **20**, 628-629
 - 28) Sugi, H. and Kosaka, K. (1964. 10) Summation of Contraction in Single Crayfish Muscle Fibres. Jap. J. Physiol. **14**, 450-467
 - 29) 杉 晴夫・小坂健二 (1964. 11) ザリガニ単一筋線維の収縮について 日本生理誌 **26**, 562
 - 30) 杉 晴夫・大地陸男 (1964. 12) ザリガニ筋線維における収縮の transverse spread について 動物学誌 **73**, 360
 - 31) 附田 恵 (1964. 2) 色の明るさの値について 日本生理誌 **26**, 81-82
 - 32) Wakabayashi, T. & Iwasaki, S. (1964. 8) Successive E. P. P. Pattern and Presynaptic Factors in Neuro-muscular Transmission. Tohoku J. Exp. Med. **83**, 225-236
 - 33) Iwasaki, S. (1964. 9) Effect of DNP on Neuro-muscular Junction of Frog. Tohoku J. Exp. Med. **83**, 309-324
- 東京大学医学部薬理学教室**
- 1)* Kumagai, H. (1963) Central effect of some vaso-active substances as observed by the crosscirculation in the dog. Jap. Heart J. **4**, 462
 - 2) Ebashi, F. and I. Yamanouchi (1964) Calcium accumulation and adenosinetriphosphatase of the relaxing factor. J. Biochem. **55**, 504
 - 3) Ebashi, S. and F. Ebashi (1964) A new protein factor promoting contraction of actomyosin. Nature **203**, 645
 - 4) Ebashi, S. and F. Ebashi (1964) A new protein component participating in the superprecipitation of myosin B. J. Biochem. **55**, 604
 - 5) Endo, M. (1964) Entry of a dye into the sarco-tubular system of muscle. Nature **202**, 1115-1116
 - 6) Endo, M. (1964) The superprecipitation of actomyosin and its ATPase activity in low concentration of ATP. J. Biochem. **55**, 614
 - 7) Ichikawa, R., Y. Enomoto and F. Sakai (1964) Strontium and calcium reabsorption in renal tubules of the newt, *Triturus pyrrhogaster*. Science **144**, 53
 - 8) Kumagai, H., F. Sakai, T. Hukuhara, Y. Saji, S. Nakanishi, T. Sawabe and A. Nakagawa (1964) Site of action of trans- π -oxocamphor in the central nervous system of the cat. Jap. J. Pharmacol. **14**, 229
 - 9) Maruyama, K., Y. Ishikawa and S. Ebashi (1964) Effect of several relaxing agents on the ATPase activity of the trypsin-treated myosin B. J. Biochem. **55**, 581
 - 10) Ohnishi, T. and H. Kawamura (1964) Rolle der kontraktile Proteine und Phosphatide in der Verbindung des Calcium durch Muskelvesikel. J. Biochem. **56**, 106
 - 11) Ohnishi, T. and S. Ebashi (1964) The velocity of calcium binding of isolated sarcoplasmic reticulum. J. Biochem. **55**, 599
 - 12) Otsuka, M., F. Ebashi and S. Imai (1964) Cardiac myosin B and calcium ions. J. Biochem. **55**, 192
 - 13) Sakai, F., T. Hukuhara, Y. Saji, S. Nakanishi, T. Sawabe, A. Nakagawa, M. Tamura and N. Kumadaki (1964) Über die paradoxen Wellen im Elektroencephalogramm der Urethanbetäubten Katze. Arch. int. Pharmacodyn. **152**, 338-345
 - 14) Shirasu, H. (1964) Effect of synthetic estrogens on NAD (P) transhydrogenase of rat placenta. J. Biochem. **55**, 462
 - 15) Ueno, I., Y. Ueno, T. Tatsuno and K. Uruguchi (1964) Mitochondrial respiratory impairment by luteosyrin, a hepatotoxic pigment of *Penicillium islandicum* Sopp. Jap. J. Exp. Med. **34**, 135-152
 - 16) Uéno, Y., I. Uéno, T. Tatsuno et K. Uruguchi (1964) Les effets de la lufoskysine, substance toxique du *Penicillium islandicum* Sopp, sur le gonflement des mitochondries. Jap. J. Exp. Med. **34**, 197-209
 - 17) Yokoi, Y. (1964) Function of vascular counter-current heat exchanger in pyrogen induced fever. Proc. Soc. Exp. Biol. & Med. **115**, 1014
 - 18) Sakai, F. und Y. Enomoto (1964) Über eine Perfusionmethode am einzelnen Nieren-Tubulus und ihre Anwendung für die Analyse der Elektrolyt-Rückresorption in vivo. Arch. int. Pharma-

codyn. 150. 358-364

* 印は前年度脱落分

東京大学医学部吉利内科学教室

- 1) 本田西男 (1964) Mercury Gauge Plethysmograph による Venous Compliance の測定について 医用電子と生体工学 2, 41
- 2) 本田西男 (1964) 低温環境における体温調節機構としての counter current heat exchanger 日本生理誌 26, 71
- 3) 本田西男 (1964) 皮膚温, 熱コンダクタンスと皮膚血流の定量的関係 脈管学 4, 139
- 4) 本田西男 (1964) 皮膚温: 皮膚血流の指標としての意義 呼吸と循環 12, 897
- 5) 吉田 和・前田貞亮・清水倉一・越川昭三 (1964) 滲透圧調節機構の simulation 診断と治療 52, 41
- 6) 安部 英 (1964) Plasminogen Activators, ことに組織 Activator について —Proc. IV Plasmin Symposium— Medical Digest 76, 16
- 7) 安部 英・風間睦美・吉利 和 (1964) 組織および体液中における Plasminogen Activator の理化学的性状について 日本血液学誌 27, 272
- 8) Iriki, M., K.-A. Meurer and R. Thauer (1964) Kältezittern und Wärmeproduction bei innerer Kühlung nach Ausschaltung der Vagi. Pflügers Archiv. ges. Physiol. 279,
- 9) Meurer, K.-A., M. Iriki, Ch. Baumann und R. Thauer (1964) Elektromyogramm und Mechanogramm bei Kühlung im Vertebralkanal. Pflügers Archiv. ges. Physiol. 281, R 61
- 10) Nagasaka, M., and C. Heymans (1964) Theeanti-adrenergic property of nethalide on the isolated guinea pig lung. Arch. Intern. Pharmacodyn. 149, 232
- 11) Nagasaka, M., J. Bouckaert, A. F. de Schaepdryuer and C. Heymans (1964) Adrenergic constriction in isolated guinea-pig lung revealed by nethalide. Arch. Intern. Pharmacodyn. 149, 237

東京大学衛生看護学科生理

- 1) 石河利寛・山川 純・御子柴紀子・伊藤幸子 (1964) 漕艇選手の体力測定 ——日本選手と外国選手の比較 Olympia 21, 42-46
- 2) 石河利寛 (1964) スポーツ医学から見た東京国際スポーツ大会の成果 医学のあゆみ 48, 587
- 3) 石河利寛 (1964) 近代トレーニングと学校体育 体育科教育 1964 (3), 14-26
- 4) 石河利寛 (1964) テレメーターによるスポーツ技術の解析 ——漕艇の場合—— 第3回ME学会大会論文集 1
- 5) 石河利寛・山川 純・御子柴紀子・伊藤幸子 (1964) テレメタリングによる漕艇動作の分析 日本生理誌 26, 73
- 6) 石河利寛・山川 純 (1964) 日独陸上競技選手の体力 民族衛生 29, 107-116

- 7) 石河利寛 (1964) (分担執筆) スポーツのキネシオロジー スポーツ医学 杏林書院
- 8) 石河利寛 (1964) 医学的にみた体力 新体育 34 (6), 10-15
- 9) 石河利寛 (1964) スポーツ医学からみたオリンピック大会の成績 医学のあゆみ 51, 414
- 10) 石河利寛 (1964) 体力テストの国際的標準化 医学のあゆみ 51, 509-510
- 11) 石河利寛・御子柴紀子 (1964) 東京オリンピック選抜ボートクルーの栄養 1964年度スポーツ科学研究委員会報告集
- 12) 石河利寛・御子柴紀子 (1964) 韓国ボートオリンピック候補選手の体力 1964年度スポーツ科学研究委員会報告集

東京大学医学部附属医用電子研究施設

- 1) Oshima, M. (1964. 10) Fading of Color Sensation. Acta chromatica 1-3, 131-137
- 2) 大島正光 (1964) 人間工学入門 雪華社
- 3) 大島正光 (1964) 疲労の研究 (改訂版) 同文書院
- 4) 大島正光 (1964) 医学トランスジューサ 医学のあゆみ 6-9, 208-212
- 5) 大島正光 (1964) 人間工学 医用電子・生体工学 2-3, 9-16

東京大学教育学部体育生理学教室

- 1) 猪飼道夫 (P. V. Karpovich, P. H. Cohan 共著) (1964) Study of Endurance of various muscle groups. Research Quarterly 35, 393-397
- 2) 猪飼道夫・江橋慎四郎・加賀谷潤彦・他 (1964) トレッドミル法による青少年の運動処方に関する研究 (第2報) 体育学研究 8 (No. 3, 4), 61-71
- 3) 金子公有 (1964) 慣性エルゴメーターによる人体・筋パワーの測定 体育学研究 8 (No. 3, 4), 72-82
- 4) 中村淳子 (1964) プレチスモグラフによる作業時の前腕血流量の測定 体育学研究 8 (No. 3, 4), 83-92
- 5) 森下はるみ (1964) 相対発育による成熟の研究 体育学研究 8 (No. 3, 4), 93-97

東京大学医学部栄養学教室

- 1) Minakami, S., K. Kakinuma and H. Yoshikawa (1964. 7) The control of erythrocyte glycolysis by active cation transport. Biophimica et Biophysica Acta 90, 434-436
- 2) Minakami, S., T. Saito, C. Suzuki and H. Yoshikawa (1964. 12) The hydrogen ion concentrations and erythrocyte glycolysis. Biochemical Biophysica Res. Comm. 17, 748-751
- 3) Asakura, T., Y. Kawai, Y. Yoneyama and H. Yoshikawa (1964. 4) Use of borohydride in determination of oxygen dissociation curves of hemoglobin. Anal. Biochem. 7, 393-400
- 4) 浅倉稔生 (1964. 1) ヘムとグロビンの結合について (1) グロビンの性質および各種ヘム誘導体とグロビンの結合について 生化学 36, 35-43

- 5) 浅倉稔生(1964.3)ヘムとグロビンの結合について (Ⅱ) 化学修飾グロビンとヘム誘導体の結合 生化学 36, 140-146

慶応義塾大学医学部生理学教室

- 1) Tsuneo Tomita (1963.4) Microelectrode study of electrical activity in the retina. Abstract of the Proceedings. The 16th General Assembly of the Japan Medical Congress. 68-69
- 2) Tsuneo Tomita (1964.6) Mechanisms subserving color coding in the vertebrate retina. Abstracts II, CIII. 1, TOPAB International Biophysics Meeting Paris-Orsay 105-110
- 3) Utako Okamoto and Yumiko Takada (1964.6) KCl-extracted plasminogen activator in kidney of rabbits. Keio J. Med. 13 (2), 107-113
- 4) Yumiko Takada, Akikazu Takada and Utako Okamoto (1964.6) A new method of determination of epsilon aminocaproic acid and aminomethyl cyclohexane carboxylic acid. Keio J. Med. 13 (2), 115-121
- 5) Utako Okamoto and Yumiko Takada (1964.9) Prolonged hyperplasminemia with mitomycin C in rabbits. Reversible disappearance of tissue activator in parenchyma of kidney. Keio J. Med. 13 (3), 165-172
- 6) Okamoto, S., S. Sato, H. Hatano and U. Okamoto (1964) Some aspects of fibrinolytic system in animal experiments and about 3,000 clinical cases; some studies on the application of a new potent antifibrinolytic substance. IX Congress International Society of Hematology 265-270
- 7) 高垣玄吉郎(1964.1)脳グルタミン酸代謝の最近の知見 慶応医学 41, 7-19
- 8) 唐橋善雄(1964.1)胆汁の髄液投与による間代性痙攣について 条件反射 43集, 1890-1894
- 9) 上村彰一(1964.1)Thiamine hydrochloride の運動神経端板作用と髄液投与による痙攣について 条件反射 43集, 1895-1901
- 10) 林 謙・唐橋善雄・柳下雄輔・高田明和(1964.1) Actinidia polygama 抽出物の猫の偽情緒反射について 条件反射 43集, 1902-1904
- 11) 岡本歌子・古市由美子(1964.1)制癌物質による血液および組織プラスミン系の活性化とその防止について 日本生理誌 26, 28
- 12) 富田恒男・金子章道(1964)細胞内ペンシル型微小電極 その製法と応用 日本ME学会誌 2, 105-110
- 13) 田中 茂(1964.2)パラチオン, ディールドリンおよびモノフルオロ酢酸誘導体の犬脳髄直接投与による痙攣について 条件反射 44集, 1919-1922
- 14) 荒冷政雄(1964.2)Vitamin B 類の知能指数および学業成績におよぼす影響 条件反射 44集, 1923-1928
- 15) 唐橋善雄・柳下雄輔(1964.2)ビタミン B₁ の呼吸筋に対する作用 条件反射 44集, 1929-1932
- 16) 唐橋善雄・柳下雄輔(1964.2)ストレプトマイシンおよびカナマイシンのガマの神経端板ブロック作用について 条件反射 44集, 1943-1944
- 17) 富田雅次・林 謙(1964.2)ω-アミノ酸およびその誘導体の化学的生化学的ならびに生理学的研究 条件反射 44集, 1945-1952
- 18) 唐橋善雄・高田明和・高田由美子・柳下雄輔・星野博(1964.2)Limbic system の運動系に対する抑制物質について 日本生理誌 26, 44
- 19) 加藤元一・伊藤秀三郎・坂田三弥(1964.2)各種動物の迷走および交感神経中に包含される Cholinergic 並に Adrenergic fibre の分離について 日本生理誌 26, 69
- 20) 富田恒男・豊田順一・伊藤寛志・金子章道(1946.2)鯉網膜の視細胞層より得られる緩電位について 日本生理誌 26, 84
- 21) 中浜 博・西岡伸子・大塚俊郎(1964.2)視床単一神経細胞の電気活動パターン 日本生理誌 26, 102-103
- 22) 唐橋善雄(1964.3)皮質運動領刺戟による痙攣と電気ショック痙攣との比較 慶応医学 41, 105-115
- 23) 高田明和・高田由美子(1964.3)γ-oryzanol の脊椎動物に対する生理作用 慶応医学 41, 151-154
- 24) 岡本歌子・高田由美子・高田明和(1964.3)イブシロンアミノカブロン酸の微量定量法 Medical Digest 73
- 25) 植村慶一・高垣玄吉郎(1964.4)無細胞系の代謝研究法 脳と神経 16, 346-351
- 26) 高田由美子・高田明和・岡本歌子(1964.5)イブシロンアミノカブロン酸及びアミノメチルチクロヘキサンカルボン酸のカラムクロマトグラフィーによる新定量法 日本生理誌 26, 281-285
- 27) 富田恒男(1964)網膜S電位(S Potential) 医学のあゆみ 49, 5
- 28) 岡本歌子・高田由美子(1964.6)Mytomycin C 投与によるウサギ腎組織における plasminogen activator の消失に関する研究 日本生理誌 26, 297-302
- 29) 高垣玄吉郎(1964.7)アスパラギン酸と脳組織へのカリウムのとり込み 神経研究の進歩 8, 611-614
- 30) 林 謙(1964.8)Blood-brain-barrier と中枢神経作用薬剤の問題 総合臨床 13, 1372-1376
- 31) 林 謙・柳下雄輔(1964.9)ω-hydroxy 脂肪酸の痙攣抑制作用について 条件反射 特集, 20-22
- 32) 唐橋善雄(1964.9)カルノシンおよびホモカルノシンの ECT 痙攣抑制作用 条件反射 特集, 23-26
- 33) 高田明和・高田由美子(1964.9)人脳ホモカルノシンの研究 条件反射 特集, 63-66
- 34) 高垣玄吉郎(1964.9)個体発生と脳の生化学 30-52, 血液-脳関門と脳の代謝 53-70, 脳の糖質代謝 85-114, ホモジェネート・切片 698-705 脳の生化学 医学書院
- 35) 林 謙(1964.9)からだの法則を探る (人間の生

理学 講談社 現代新書 18

- 36) 金子章道・富田恒男 (1964) 微小電極法 医学のあゆみ **49**, 10
- 37) 岡本歌子・高田由美子 (1964. 10) Plasminogen activator について 第4回プラスミン研究会報告集 21-22 Medical Digest 特集号
- 38) 高垣玄吉郎 (1964. 11) 脳組織のアミノ酸定量法 1. Berl-Waelsch のカラムクロマトグラフィーの方法 2. グルタミン酸などの酵素の定量法 脳組織のアミノ酸定量法 (微量拡散法) 脳と神経 **16** (11), 960-964
- 39) 岡本歌子・高田由美子 (1964. 11) プラスミノゲンの組織アクチベーターの性質とその変動 慶応医学 **6**, 539-540
- 40) 中浜 博 (1964. 11) 視床の生理学 神経研究の進歩 **8**, 749-770
- 41) 大塚俊郎 (1964. 12) 実験的てんかん犬作製に対する DNA または RNA の役割 条件反射 **49**集, 2123-2129
- 42) 岡本歌子 (1964. 12) 線維素溶解現象の測定法——プラスミン系の測定法—— 臨床検査 **8**, 966-971

東京慈恵会医科大学第1生理学教室

- 1) 五十島長太郎 (1964. 2) 平滑筋の収縮に対するアセチルコリン及びアドレナリンの作用機序について 慈恵医大誌 **78**, 477
- 2) 小野三嗣 (1964. 3) 重量拳における体力測定の意義 重量拳選手調査報告 (第9報) 体力科学 **13**, 19
- 3) 小野三嗣・荻野光男・本間達二 (1964. 3) 背筋力を示標とした等尺性 Training の効果について 体力科学 **13**, 30
- 4) 小野三嗣・荻野光男・本間達二 (1964. 3) 能動握力と受動握力について 体力科学 **13**, 35
- 5) 名取礼二・五十島長太郎 (1964. 4) 筋性質-原線維形の収縮における低分子イオンの役割 日本生理誌 **26**, 74
- 6) 小野三嗣 (1964. 4) 実効筋力発生の機転について 日本生理誌 **26**, 74
- 7) 酒井敏夫 (1964. 4) 筋収縮-弛緩に対する温度の影響 日本生理誌 **26**, 75
- 8) 名取礼二 (1964. 5) 筋肉の粘弾性について 材料 **13**, 298
- 9) 名取礼二 (1964. 4) 筋原線維の構造と収縮の機序 生体の科学 **15**, 119
- 10) 小野三嗣・荻野光男 (1964. 6) 最近の学童の動態発育の研究 (2) 体力科学 **13**, 41
- 11) 小野三嗣 (1964. 6) 筋のトレーニングに関する研究 (2) 体力科学 **13**, 65
- 12) 小野三嗣・荻野光男 (1964. 6) 頭髪脱毛及び頭垢の消長に関する研究 (3) 頭囲緊縛の影響について 日本生理誌 **26**, 313
- 13) 小野三嗣 (1964. 6) 頭囲緊縛及び帽子装用の頭髪脱毛及び頭垢の季節変動に与える影響について 日本温泉気候物理医学誌 **28**, 93
- 14) 小野三嗣 (1964. 9) 重量拳のための Conditioning に

ついて (重量拳選手調査報告第11報) 体力科学 **13**, 142

- 15) Ono, M. (1964. 10) Study on effect of muscle training. The International Congress of Sport Science 147
- 16) 酒井敏夫・ほか (1964. 11) 生体比重からみた鍛練者非鍛練者の体力科学的分析 Educat. Sci. J. of Yokohama National Univ.
- 17) 小野三嗣・大和 真・尾谷良行・坪田修三 (1964. 12) 重量拳オリンピック候補選手軀幹筋の整形外科的筋電図学的研究 (調査報告第12報) 体力科学 **13**, 225
- 18) 小野三嗣・大和 真・尾谷良行・坪田修三 (1964. 12) 試合期に入った重量拳選手の体力の消長と挙上点数について (調査報告第13報) 体力科学 **13**, 234

東京慈恵会医科大学第2生理学教室

- 1) 杉本良一・他11名 (1964. 12) 力士の糖尿病発現頻度に関する調査成績 体力科学 **12** (4), 160-165
- 2) Yoshimura, F., M. Abe, & Y. Sugiura (1964. 6) Occurrence of a kind of castration cell in the anterior lobe of pituitary in rats with the long-term administration of glucagon. Endocrinologia Japonica, **11** (2), 96-100
- 3) 杉本良一 (1964. 7) 登山と疲労 労働衛生 **5** (7), 440-443
- 4) 杉本良一 (1964. 12) 基礎代謝の臨床生理学的研究 慈恵医大誌 **79** (3), 286-299
- 5) 佐々木篤 (1964. 12) Glucagon と Insulin の相互作用について 慈恵医大誌 **79** (3), 271-281
- 6) 江部悌三 (1964. 12) 低圧ストレス時のアスコルビン酸代謝に関する研究 慈恵医大誌 **79** (3), 257-267
- 7) 土井 豊 (1964. 12) 低圧・低酸素耐性と組織の酸化酵素系について 慈恵医大誌 **79** (3), 247-256
- 8) 南 光彦 (1964. 12) 酸素吸入の運動回復過程に及ぼす影響 体力科学 **13** (4), 215-218
- 9) 浅川裕公 (1964. 12) 体育ダンスのエネルギー代謝に関する研究 体力科学 **13** (4), 210-214
- 10) 関 哲司 (1964. 12) 柔道における「絞め」の生理学的研究 体力科学 **13** (4), 219-224
- 11) 西山浩太郎 (1964. 12) 剔出臓器切片の Ketone 体代謝に関する研究 慈恵医大誌 **79** (3), 268-270
- 12) 鈴木 佐 (1964. 12) ブドウ糖の静注及び経口投与による血糖曲線の数学的検討 慈恵医大誌 **79** (3), 282-285
- 13) 中原圭相 (1964. 12) Warming up の生理学的研究 (その1) Warming up による中枢神経系の興奮水準の変動について 体力科学 **13** (4), 189-197
- 14) 飯塚由之 (1964. 12) Warming up の生理学的研究 (その2) Warming up の運動代謝に及ぼす影響について 体力科学 **13** (4), 198-201
- 15) 竹村長生 (1964. 12) Warming up の生理学的研究 (その3) 運動時の血中乳酸ならびに焦性ブドウ酸の消長に及ぼす Warming up の影響について 体力科学 **13** (4), 202-204

- 16) 日比敬行 (1964. 12) Warming up の生理学的研究 (その4) 体温の変動と運動時の酸素消費量に及ぼす Warming up の影響 体力科学 **13** (4), 205-209
 - 17) 阿久津邦男 (1964. 12) 水泳のエネルギー代謝に関する研究 (その1) 水泳のスピードと酸素需要量の関係 体力科学 **13** (4), 173-179
 - 18) 阿久津邦男 (1964. 12) 水泳のエネルギー代謝に関する研究 (その2) 水泳のスピードと効率の関係 体力科学 **13** (4), 180-188
 - 19)* 井川幸雄・中島富子 (1963. 1) 基礎代謝測定法 臨床検査 **7** (1), 11-17
 - 20) 小川新吉・他9名 (1964. 11) アスパラギン酸塩の長距離疾走選手のスaminaに及ぼす効果について 新薬と臨床 **13** (11), 27-34
 - 21) 井川幸雄・小原 侃 (1965. 3) ブドウ糖酸化酵素——カタラーゼ系利用による血糖測定法 臨床病理 **13** (3), 197-200
- * 印は前年度脱落分

東京医科歯科大学医学部第1生理学教室

- 1) 勝木保次・亀田和夫・小倉幸一 (1964. 2) パルス相関計による unit discharge の解析 日本生理誌 **26**, 116
- 2) 渡辺 武 (1964. 2) 内耳基底膜の振動様式 日本生理誌 **26**, 54
- 3) 野本昌弘 (1964. 2) 第1次聴ニューロンの抑制現象 日本生理誌 **26**, 53
- 4) 堀田利夫 (1964. 2) 視床に於ける異種感覚情報の統合 日本生理誌 **26**, 106
- 5) 野本昌弘 (1964. 4) 猿の第1次聴ニューロンの応答様式について 日本生理誌 **26**, 211-230
- 6) 勝木保次・田中康夫・三好 保 (1964. 4) 有毛細胞部への薬物投与による蝸牛電気現象の変化 日本内耳生化学懇話会 (国内における内耳生化学の現状) 26-27
- 7) 勝木保次 (1964. 5) 聴覚系における情報の処理 電気通信学誌 **47**, 705-712
- 8) 菅野義信 (1964. 7) 細胞内核膜の電気的性質 科学 **34** (No. 7), 369-373
- 9) 勝木保次・菅野義信 (1964. 7) 神経生理学の最尖端 日米科学協力神経生理学セミナー 医学のあゆみ **50** (No. 4), 163-167
- 10) Masahiro Nomoto, Nobuo Suga & Yasuji Katsuki (1964. 9) Discharge pattern and inhibition of primary auditory nerve fibers in the monkey. J. Neurophysiol. **27**, 768-787
- 11) Toshio Hotta, Kazuo Kameda (1964. 9) Effect of Midbrain Stimulation on a Visual Response. Experimental Neurology **9**, 127-136
- 12) 勝木保次・柳沢慧二・田中康夫 (1964. 9) 有毛細胞部への薬物投与による蝸牛電気現象の変化 (第2報) Audiology (Japan) **7**, 187-188
- 13) 勝木保次 (1964. 9) 聴覚 生物物理 **4**, 114-121
- 14) 野本昌弘 (1964. 10) 聴覚系のフィードバック 日本生理誌 **26**, 525

- 15) 菅野義信 (1964. 10) 微小電極法 メディカルカルチュア **6** (No. 5), 816-821
- 16) 菅野義信 (1964. 11) 細胞内核膜の電気的性質 2-3 について 日本生理誌 **26**, 526

東京医科歯科大学医学部第2生理学教室

- 1) 渡辺 昭・小原昭作 (1964. 2) シャコ心臓神経節の歩調とり電位 日本生理誌 **26**, 61
- 2) 渡辺 昭 (1964. 2) 神経細胞間での slow potential の拡がりについて 日本生理誌 **26**, 93
- 3) 渡辺 昭 (1964. 6) 物理化学的な膜理論について 生体の科学 **15**, 125-135

東京医科歯科大学歯学部生理学教室

- 1) 市岡正道 (1964. 3) 生理学よりみた歯痛 口腔病誌 **31** (1), 80-82
- 2) 清水秀一 (1964. 4) 味刺激 (食塩) に対する白鼠顎下腺単一細胞の電気的応答 日本生理誌 **26**, 55
- 3) Spreng, M. u. Ichioka, M. (1964. 4) Langsame Rindenpotentiale bei Schmerzreizung am Menschen. Pflügers Archiv. **279**, 121-132
- 4) Ito, M., Hongo, T., Yoshida, M., Okada, M. and Obata, K. (1964. 5) Intracellularly recorded antidromic responses of Deiters' neurones. Experientia. **20**, 295-296
- 5) 堀内 博 (1964. 6) 銀線電極による猫歯髄神経活動電位の記録について 口腔病誌 **31** (2), 109
- 6) 市岡正道 (1964. 7) 生理学からみた痛覚の問題点 日本口腔科学誌 **13** (3), 221-226
- 7) Shimizu, T. (1964. 8) Tooth Pre-pain Sensation Elicited by Electrical Stimulation. J. Dent. Res. **43**, 467-475
- 8) 本郷利憲・堀内 博 (1964. 9) 三叉神経知覚核の機能について 口腔病誌 **31** (3), 161
- 9) 市岡正道・堀内 博・清水賢二・大郷利治 (1964. 11) ネコ孤束核の電気的応答 文部省研究報告集録 (医学及び薬学) 昭和39年度 173
- 10) Ito, M., Hongo, T., Okada, M. and Obata, K. (1964. 12) Antidromic and transsynaptic activation of Deiters' neurones induced from the spinal cord. Jap. J. Physiol. **14**, 638-658
- 11) Shimizu, H. (1964. 12) Afferent impulses in the glossopharyngeal nerve of the toad. Bull. Tokyo Med. Dent. Univ. **11**, 485-495
- 12) 堀内 博 (1964. 12) 可搬型 Digital Computer CAT 400 の紹介 口腔病誌 **31** (4), 309

東京医科歯科大学島本内科教室

- 1) 佐野忠弘 (1964. 1) アドレナリンの桎球減少の作用にかんする研究 (第1報) 日本内科誌 **52**, 57-67
- 2) Takio Shimamoto (1964) An Immediate Reaction of Blood V Vessels to Atherogenic Substances. 2nd Europ. Con. f. Microcirculation Bibl. anat. **4**, 698-707
- 3) 島本多喜雄・山崎博男・藤田 勉・須永俊明・石

- 岡田夫・柳下 満・佐野忠弘・小田倉力・平本義一・久保田昌良・山下硯也・巨田康祐 (1964. 2) 「浮腫性動脈反応」の本態に関する研究 (続報) 日本生理誌 **26** (2), 57
- 4) Shimamoto, T., T. Fujita, T. Sunaga, A. Kubota, M. Yagishita, T. Sano, K. Ota and H. Yamazaki (1964. 5) On Mechanism involved in Angina Pectoris. Third Asian-Pacific Congress of Cardiology (Abstracts) 118
- 5) Shimamoto, T., T. Fujita, A. Kubota, N. Isogane, H. Yamazaki and F. Numano (1964. 5) Prevention of Exoerimental Atherosclerosis. Third Asian-Pacific Congress of Cardiology (Abstracts) 150
- 6) 島本多喜雄 (1964. 7) 浮腫性動脈反応 医学のあゆみ **50** (1), 1-7
- 7) 島本多喜雄・藤田 勉・倉井 亮・石田忠夫・竹内邦夫 (1964. 8) 血栓予防に関する研究 (続報) 新型抗血栓物質 Y₄₆ と抗凝固剤 Phenindion の血栓予防作用の比較 日本循環器誌 **28** (8), 655
- 8) 平本義一 (1964. 11) 家兎心筋の微細構造と Adrenaline 負荷時にみられるその変化について 日本循環器誌 **28** (11), 913-924
- 9) 島本多喜雄 (1964. 11) 抗キニン剤 B₂₃ の作用とその背景 —— Leaking Vessel および体内炎症物質の静脈攣縮作用の発見による血管透過性に関する研究の進歩 医学のあゆみ **51** (8), 443-452

東京医科歯科大学心臓血管病研究所佐野研究室

- 1) 佐野豊美・山岸俊一 (1964. 2) 刺激伝導系の生理的病態的機能機序及びその対策 昭和38年度文部省研究報告集録 (医学及び薬学) 122
- 2) 佐野豊美 (1964. 3) 新臨床心電図学 (第3版) 医学書院
- 3) 佐野豊美・鈴木文男・広木忠行・南 定雄 (1964. 6) 新たに試作せる空間速度心電計 第3回 ME 大会論文集 38
- 4) 佐野豊美・鈴木文男・広木忠行 (1964. 6) 固有用心電図, 固有ベクトル心電図導出のための電子計算機による情報処理 第3回 ME 大会論文集 78
- 5) Sano, T., Takigawa, S. and Tsuchihashi, H. (1964. 7) U vector loop in patients with right ventricular hypertrophy, right bundle branch block and myocardial infarction. Jap. Heart J. **14**, 347-358
- 6) 佐野豊美・鈴木文男・広木忠行・南 定雄 (1964. 8) 空間速度心電図の研究 (第1報) ——その臨床的意義と試作した自動描記装置について—— 日本循環器誌 **28**, 649
- 7) 佐野豊美・山岸俊一 (1964. 8) 洞結節の興奮伝播に関する研究 日本循環器誌 **28**, 649
- 8) 佐野豊美・鈴木文男・広木忠行 (1964. 9) 諸種病態における空間速度心電図 日本内科誌 **53**, 678-679
- 9) 滝川峰之 (1964. 9) ベクトルU環に関する研究 第1報 お茶の水医学誌 **12**, 39-41
- 10) 佐野豊美・鈴木文男・南 定雄 (1964. 10) 新たに試作した空間速度心電計 日本 ME 学誌 **2**, 277-

286

- 11) 佐野豊美 (1964. 10) ベクトル新電図と臨床 於・臨床予防医学研究会 日本医事新報 2111号 3-9
- 12) 佐野豊美・鈴木文男・広木忠行 (1964. 10) 空間速度心電図の研究 (第2報) ——正常例の空間速度心電図—— 日本循環器誌 **28**, 818
- 13) 山岸俊一・佐野豊美 (1964. 11) 洞結節興奮の伝播様式 日本生理誌 **26**, 560-561
- 14) 佐野豊美・広木忠行 (1964. 11) 心筋梗塞の空間速度心電図及び periinfarction block のベクトル心電図 日本臨床 **22**, 188-190
- 15) Sano, T. Suzuki, F. Takigawa, S. (1964. 12) The genesis of the step or notch on the upstroke of the action potential obtained from the atrioventricular node. Jap. J. Physiol. **14**, 659-668

日本医科大学第1生理学教室

- 1) 戸塚武彦・千田和子・山下博彦 (1964. 2) 高濃度 Veratrine 溶液内に於ける骨格筋の自働性 日本生理誌 **26**, 77
- 2) 吉野芳夫・熊木敏郎・山下博邦・若林恒郎 (1964. 2) 鉄過剰投与モルモットの血漿にみられる造血抑制作用について 日本医大誌 **30**, 57
- 3) 戸塚武彦・加藤 漸・本山十三生 (1964. 4) 四季を通じてヒゲの成長について 日本生理誌 **26**, 194-196
- 4) 山下博邦 (1964. 6) 高濃度 Veratrine 溶液内に於ける骨格筋の自働性に就いて 日本生理誌 **26**, 318-325
- 5) 戸塚武彦・本山十三生・杉谷正東・遠藤昭伸 (1964) 中間代謝物質の心筋への作用 昭和39年度文部省研究報告集録 (医学及び薬学) 120

日本医科大学第2生理学教室

- 1) 高橋 恵・林 秀生・堀内噎子 (1964. 4) ザリガニの神経節に対する直流通電の効果 日本生理誌 **26**, (No. 2)
- 2) Fujita Yasuichiro (1964) Intracellular records from hippocampal pyramidal cells in rabbit during theta rhythm activity. J. Neurophysiol. **27**, 1011

日本医科大学木村内科学教室

- 1) 佐竹清人 (1964. 1) 血液凝固 臨床酵素学 93
- 2) Kimura, E. et al. (1964. 5) Electrocardiographic Interpretation Machine Simplifiedly Constructed in Binary Logic System. Jap. Heart Jan. **5** (No. 3), 212-223
- 3) 木村栄一・外 (1964. 11) 狭心症の発生機序ならびに冠拡張薬の作用機序に関するわれわれの見解 内科 **14** (No. 5), 1023-1031

東京医科大学第1生理学教室

(現在・第2生理学教室)

- 1) 大畑 進 (1964) 赤外線の実験発生学における応用「赤外吸収スペクトル」による鶏卵の卵黄膜, 発育過程にある神経胚, 中枢神経系および末梢神経

の解析について Jap. J. 49-53 p. BRAIN PHY-SIOL./Spe. Ed. 条件反射特集 5th

東京医科大学第2生理学教室

(現在・第1生理学教室)

- 1) 若林 勲・佐藤脩子・大住敏子・館野慶次 (1964. 2) 刺激パターンの自由に変えられる A. R. S. 装置の試作 日本生理誌 **26** (2), 37
- 2) 若林 勲・佐藤脩子・大住敏子・館野慶次 (1964. 2) 刺激パターンの自由に変えられる A. R. S. 装置の実験供覧 日本生理誌 **26** (2), 116
- 3) 若林 勲・佐藤脩子 (1964. 9) 反復刺激における神経の閾変動に関する考察 日本生理誌 **26** (9), 482
- 4) Tsutomu Wakabayashi and Shizuko Iwasaki (1964) Successive E. P. P. Pattern and Presynaptic Factors in Neuro-muscular Transmission. Tohoku J. exp. Med., **83**, 225-236

昭和大学医学部第1生理学教室

- 1) 大下徹雄・森 有永・松永 昂・清水弘一・原 孝金子卯時雨・菱田不美・大石和彦 (1964) 脊髄反射に対するストリキニンとアセチルコリンの拮抗作用について 昭和医学誌 **23** (11. 12), 6-9
- 2) 今川 武 (1964) 骨格筋の不応期に関する研究 昭和医学誌 **23** (11. 12), 10-21
- 3) 井上清恒・菱田不美 (1964) 尿管の活動電位について 日本生理誌 **26**, 80
- 4) 今川 武 (1964) 骨格筋の不応期における興奮伝導について 昭和医学誌 **24** (5. 6), 44
- 5) 菱田不美 (1964) Na^+ 欠乏環境中における平滑筋の活動電位 動雑 **73** (8), 223-232
- 6) 菱田不美 (1964) 細胞内電極法による尿管活動電位の研究 第2報 日本生理誌 **26**, 399-441
- 7) 井上清恒・菱田不美 (1964) 平滑筋の活動電位について 動雑 **73** (11. 12), 357

昭和大学医学部第2生理学教室

- 1) 市河三太 (1964. 2) ネコ脊髄の自発的放電について 日本生理誌 **26**, 41
- 2) Gasteiger, E. L. and S. Ichikawa (1964) The relation of the spinal electrogram of the cat to intrinsic and extrinsic factors. Bol. Inst. Estud. Med. Biol. Mexico. **22**, 223-234

東邦大学医学部第1生理学教室

- 1) 朝比奈一男 (1964) ドーピング 医学のあゆみ **51**, (5号)
- 2) 朝比奈一男 (1964. 12) 国際スポーツ科学会議ルボルタージュ (ドーピングの特別委員会) 体育科教育 (12月号)
- 3) 朝比奈一男 (1964. 10) スポーツと栄養・薬物 遺伝 (10月号)
- 4) Asahina, K. et al. (1964. 10) Meiji Life Foundation of Health and Welfare. Sports Medicine in Japan

(10月)

- 5) 朝比奈一男 (1964. 8) ハードトレーニングとオーバートレーニングの間 教育と医学 (8月号)
- 6) 中川功哉 (1964. 10) 高地トレーニング 現代医学 (10月号)
- 7) 朝比奈一男・中川功哉・他 (1964. 4) 高地トレーニングと脱馴化防止実験に関する研究報告 日本体育協会スポーツ科学研究委員会報告書
- 8) 朝比奈一男・中川功哉・他 (1964. 4) 低酸素トレーニングに関する研究報告 日本体育協会スポーツ科学研究委員会報告書
- 9) Asahina, K., et al. (1964) Phenomenological study of paradoxical phase and reverse paradoxical phase of sleep. Jap. J. Physiol. **14**, 365-372
- 10) Asahina, K., et al. (1964) Skin temperature and skin electric resistance in different electroencephalographical sleep stages. 第12回日本脳波学会抄録集

東邦大学医学部第2生理学教室

- 1) 塚田裕三 (1964. 1) Glutamic dehydrogenase 臨床酵素学 (朝倉書店) 401-411
- 2) 塚田裕三 (1964. 1) 行動変化と脳内アミノ酸代謝 脳と神経 **16** (1号), 20-28
- 3) 永田 豊・M. G. ララビー (1964. 2) 白鼠頸部交感神経節の RNA の代謝回転と電気刺激の効果 日本生理誌 **26** (2号), 39
- 4) 平野修助・野口鉄也・塚田裕三 (1964. 2) フェニールアラニン代謝異常と行動変化 日本生理誌 **26** (2号), 89
- 5) Tsukada, Y., Uemura, K., Hirano, S. & Nagata, Y. (1964) Distribution of Amino Acids in the Brain in Different Species. "Comparative Neurochemistry" ed. by D. Richter, Pergamon Press, New York P. 179-183
- 6) 塚田裕三 (1964. 6) 肝脳相関 肝臓 (医学書院) 831-841
- 7) 塚田裕三 (1964. 7) 脳組織の電解質測定法 脳と神経 **16** (7号), 611-614
- 8) 植村慶一・塚田裕三・飯田慈子 (1964. 7) 大脳皮質の核酸の研究 神経研究の進歩 **8** (3号), 623-627
- 9) 塚田裕三・松谷天星丸 (1964. 7) 脳細胞顆粒成分のリン脂質の研究 神経研究の進歩 **8** (3号), 540-547
- 10) 塚田裕三 (1964. 9) 実験的フェニールケトン尿症の生化学的研究 脳と神経 **16** (9号), 747-751
- 11) 塚田裕三 (1964. 9) 神経化学のあゆみ 脳の生化学 (医学書院) 1-5
- 12) 塚田裕三・植村慶一 (1964. 9) 脳の化学的組成 脳の生化学 医学書院 9-25
- 13) 塚田裕三 (1964. 9) 脳組織のアミノ酸 脳の生化学 医学書院 115-152
- 14) 植村慶一・飯田慈子 (1964. 9) 脳組織の核酸 脳の生化学 医学書院 171-178
- 15) 平野修助 (1964. 9) ビタミンと神経機能 脳の生化学

学 医学書院 373-380

- 16) 永田 豊 (1964. 9) 神経節の生化学 脳の生化学 医学書院 417-427
- 17) 塚田裕三 (1964. 9) 脳組織の急速凍結固定法 脳の生化学 医学書院 693-698
- 18) 塚田裕三・平野修助 (1964. 9) Microtechnique 脳の生化学 医学書院 725-729
- 19) 塚田裕三 (1964. 12) 脳の新陳代謝 日本医師会誌 **52** (11号), 1077-1088

順天堂大学医学部第1生理学教室

- 1) 竹内 昭・竹内宣子 (1964) ザリガニ骨格筋における L-グルタミン酸及び GABA の作用 日本生理誌 **26**, 53
- 2) Takeuchi, A. & Takeuchi, N. (1964) The effect on crayfish muscle of iontophoretically applied glutamate. *J. Physiol.* **170**, 296
- 3) Takeuchi, A. & Takeuchi, N. (1964) Iontophoretic application of gammaaminobutyric acid on crayfish muscle. *Nature* **203**, 1074

順天堂大学医学部第2生理学教室

- 1) 樫田良精・真島英信・他 (1964. 1) 図表原稿の書き方 臨床検査 **8**, 52-63
- 2) 真島英信・鷺尾 宏・中山雪麿 (1964. 2) 骨格筋の興奮収縮連関について 日本生理誌 **26**, 75-76
- 3) 真島英信 (1964. 4) 子宮筋の生理 分娩と麻酔 **10**, 53-54
- 4) 真島英信 (1964. 4) 興奮収縮連関 (Excitation-contraction coupling) 医学のあゆみ **49**, 193-194
- 5) 真島英信 (1964. 5) 力学的現象の記録法——骨格筋の収縮を中心として——大島良雄編・医学者のためのエレクトロニクス 南江堂 1-30
- 6) Mashima, H. & Matsumura, M. (1964. 8) The effect of temperature on the mechanical properties and action potential of isolated frog ventricle. *Jap. J. Physiol.* **14**, 422-438
- 7) 松村幹郎 (1964. 9) 心筋線維の機械的性質に及ぼす温度の影響 日本生理誌 **26**, 479
- 8) 真島英信 (1964. 9) (第2章) 骨格筋の一般生理 時実利彦編 筋電図入門 南山堂 264
- 9) Mashima, H. & Washio, H. (1964. 10) The effect of zinc on the electrical properties of membrane and the twitch tension in frog muscle fibres. *Jap. J. Physiol.* **14**, 538-550
- 10) 真島英信 (1964. 10) 筋収縮におけるフィードバック機構 日本生理誌 **26**, 524
- 11) Mashima, H. & Yoshida, T. (1964. 11) Contraction and excess relaxation of the taenia coli of the guineapig. *Bull. Yamaguchi Med. School.* **10**, 20-21
- 12) 真島英信・鷺尾 宏 (1964. 12) 種々のイオン環境における骨格筋の興奮収縮連関について 動物学誌 **73**, 359

順天堂大学体育学部運動生理学教室

- 1)* 喜多 弘・青木純一郎・三宅章介 (1963. 12) 生理学的に見た長距離走のトレーニング効果 順天堂大学体育学部紀要 **6**, 1-8
- 2)* 青木純一郎・喜多 弘・三宅章介 (1963. 12) STEP TEST による持久性評価に関する生理学的研究 順天堂大学体育学部紀要 **6**, 9-16
- 3) 池田和夫 (1964. 2) FIBRILLAR MUSCLE の機能とその神経支配 1. クマバチの間接翅筋 日本生理誌 **26**, 78
- 4) Kazuo Ikeda, C. A. G. Wiersma (1964. 6) Autogenic rhythmicity in the abdominal ganglia of the crayfish: The control of swimmeret movements. *Comp. Biochem. Physiol.* **12**, 107-115
- 5) C. A. G. Wiersma, Kazuo Ikeda (1964. 8) Interneurons commanding swimmeret movements in the crayfish, *Procambarus clarki* (Girard). *Comp. Biochem. Physiol.* **12**, 509-525
- 6) 喜多 弘・青木純一郎・三宅章介 (1964. 8) 長距離走の生理学的研究 体育学研究 **9**, 118
- 7) 青木純一郎・喜多 弘・三宅章介 (1964. 8) 持久性に関する運動生理学的研究——持久性評価の指標について 体育学研究 **9**, 90
- 8) 三宅章介・喜多 弘・青木純一郎 (1964. 8) 最大酸素摂取量と疾走能力との関係について 体育学研究 **9**, 119

* 印は38年度脱落分

東京女子医科大学第1生理学教室

- 1) 草地良作 (1964) 尿酸素分圧と腎内酸素の動態について 東女医大誌 **34**, 191
- 2) 草地良作 (1964) 酸素吸入による組織内酸素分圧変化の生理的意義 東女医大誌 **34**, 212
- 3) 竹内敏子 (1964) 聴診法の基礎に関するポリグラフ的研究 第2報 動脈音図と指節容積脈波に関する研究 東女医大誌 **34**, 216
- 4) 沢井明子 (1964) 実験的 atherosclerosis におけるウサギ大動脈の酸素代謝について 東女医大誌 **34**, 387
- 5) 沢井明子 (1964) Cholesterol 飼育ウサギ腎の酸素消費について 東女医大誌 **34**, 444
- 6) 沢井明子 (1964) Cholesterol 飼育ウサギ大動脈, 腎の比重について 東女医大誌 **34**, 449
- 7) 山崎香栄子 (1964) 腎疾患における小児尿の酸素分圧と腎機能との関係 (第1報) 小児尿の酸素分圧と尿中 Na および K 濃度との関係 東女医大誌 **34**, 459
- 8) 山崎香栄子 (1964) 腎疾患における小児尿の酸素分圧と腎機能との関係 (第2報) 尿酸素分圧と osmolar clearance との関係 東女医大誌 **34**, 470
- 9) 山崎香栄子 (1964) 小児尿の浸透圧と比重との関係について 東女医大誌 **34**, 533
- 10) 山崎香栄子 (1964) 尿酸素分圧と腎疾患との関係について 東女医大誌 **34**, 542

- 11) 箕島 高(1964)人工血液について 東女医大誌 **34**, 698

東京女子医科大学第2生理学教室

- 1)* Tosaka, T., T. Hojo & I. Tanaka (1963) Some observations on the membrane potential of the uterine smooth muscle fiber of pregnant mouse. The Bulletin Yamaguchi Med. School. **10** (3), xxiii
 2) 田中一郎・佐々木優(1964.2)心固有筋のSyncytial networkとその電気的特性 日本生理誌 **26** (2), 62
 3) 渡辺宏助(1964.2)脊椎動物 ERG における視細胞の役割 日本生理誌 **26** (2), 100
 4) 田中一郎・佐々木優・萩野孝徳(1964.5)ペンシル型微小電極によるマウス心室筋膜抵抗の測定 日本生理誌 **26** (5), 295
 5) 保倉 進・植木キク子(1964.5)日本産カブトガニの複眼の数量的研究 東女医大誌 **34** (5), 225-231
 6) 植木キク子・菊地鑑二(1964.6)カブトガニ網膜のチオニン染色に影響する要因分析の試み 東女医大誌 **34** (6), 300
 7) 渡辺宏助(1964.8)錐体および桿体電位と ERG の分析 東女医大誌 **34** (8), 425
 8) 渡辺宏助(1964.10)S 電位序説 ——その特異性と問題点 生体の科学 **15** (5), 234-244

* 印は前年度脱落分

東京歯科大学生理学教室

- 1) 坂田三弥・合志式隆・高岡松雄(1964.1)Receptive field 内の2点刺激による mechanoreceptors の応答 医学と生物学 **68**, 28-32
 2) 坂田三弥・横山則穂・前田耕道(1964.1)下顎骨膜内における神経分布とその応答について 医学と生物学 **68**, 33-37
 3) 伊藤秀三郎・坂田三弥(1964.1)迷走および交感神経(ガマ心臓)の電気刺激に対する応答について 日本生理誌 **26**, 31
 4) 坂田三弥・横山則穂・前田耕道(1964.2)下顎骨膜内の mechanoreceptor の特性 医学と生物学 **68**, 65-69
 5) 加藤元一・伊藤秀三郎・坂田三弥(1964.2)各種動物の迷走および交感神経中に含まれるCholinergicならびに Adrenergic fiber の分離について 日本生理誌 **26**, 69
 6) 野村浩道・坂田三弥・伊藤秀三郎(1964.4)歯の電気抵抗測定法について 歯科学報 **64**, 425-426
 7) 森下敬一・葛西四朗・早川貞夫・谷本義文(1964.4)Dilantin による実験的歯齦肥厚に関する研究 歯科学報 **64**, 427-428
 8) 森下敬一・葛西四朗・早川貞夫・谷本義文(1964.4)口腔内疾患と唾液無機成分, pH との関連性について 歯科学報 **64**, 426-427
 9) 野村浩道・坂田三弥・伊藤秀三郎(1964.4)歯の電気伝導能についての一・二の知見 歯科学報 **64**, 433-437

- 10) 野村浩道(1964.6)タツナミガイ心筋のカリウム収縮について 日本生理誌 **26**, 339
 11) 坂田三弥・鈴木 寿・横山則穂(1964.6)ネコの下顎における hair receptor の機械的刺激に対する応答 医学と生物学 **68**, 274-280
 12) 伊藤秀三郎(1964.9)自律神経緊張状態の唾液分泌曲線の推定法 歯科基礎医学誌 **6**, 10
 13) 野村浩道・坂田三弥(1964.9)蛙舌の化学受容器の応答に見られる1価イオンと2価イオンの拮抗作用について 歯科基礎医学誌 **6**, 26
 14) 伊藤秀三郎(1964.9)量的にみた唾液と歯科臨床とのつながりについて 歯科学報 **64**, 749-750
 15) 坂田三弥(1964.9)神経線維の receptive field 内2点刺激時における応答について 歯科学報 **64**, 791-792
 16) 坂田三弥・鈴木 寿・合志式隆・伊藤秀三郎(1964.10)mechanoreceptor (ガマ皮膚)の繰返し刺激に対する応答について 日本生理誌 **26**, 513
 17) 浅井邦二・伊藤秀三郎(1964.11)聴力障害児における視知覚特性について 日本生理誌 **26**, 559
 18) 横山則穂(1964.11)Single nerve fiber analysisによる迷走および交感神経中に含まれる抑制および促進線維の混存実証について 慶応医学 **41**, 467-483
 19) 葛西四朗・谷本義文(1964.11)Dilantin 短期投与時における白ねずみ歯齦組織にみられる初期変化 歯科学報 **64**, 912-921
 20) 坂田三弥・伊藤秀三郎・前田耕道・池上英雄・横山則穂(1964.11)骨膜(ネコ下顎骨)における感覚神経の分布とその応答について 日本生理誌 **26**, 568
 21) 葛西四朗・坂田三弥(1964.12)Dilantin 投与白ねずみの歯齦組織肥満細胞の変動について 歯科学報 **64**, 986-987
 22) 谷本義文(1964.12)口腔内疾患と唾液成分について(その1) 歯科学報 **64**, 987
 23) 野村浩道(1964.12)タツナミガイ心筋の興奮収縮連関についての一・二の知見 動物学誌 **73**, 360
 24) 伊藤秀三郎・田原 権・爪田 巖(1964.12)強風の生体を与える影響について 歯科学報 **64**, 987

東京教育大学スポーツ研究施設 運動生理学研究室

- 1)* 小川新吉・勝田 茂・春山国広・井川幸雄・小松文英(1963)Ornithine-aspartate の耐疲労性について 診療 **16** (6), 106-110
 2)* 本間義雄・小川新吉・勝田 茂・春山国広・小林芳雄(1963)日本民謡のエネルギー消費量に関する研究 体育学研究 **7** (3), 124-127
 3) 小川新吉・勝田 茂・青木純一郎・奥田 博(1964)Step-Test に関する研究 ——発育期の少年に対する適性負荷量に關しての考察—— 東京教育大学体育学部スポーツ研究所報 **3**, 1-10
 4) 小川新吉(1964)山男の体力測定 医学のあゆみ **50**

(13), 583-585

- 5) Ogawa, S., S. Igawa and S. Katsuta (1964) Effects of ornithine-aspartate on physical endurance. International Congress of sport sciences, Tokyo 131
- 6) Ogawa, S., S. Katsuta, N. Hanyu and T. Matsumoto (1964) The connection among respiratory pattern, trembling of the muzzle and shooting rate of speed in the case of rifle shooters miss target. International Congress of Sport Sciences, Tokyo 326
- 7) 小川新吉・勝田 茂・他8名 (1964) アスパラギン酸塩の長距離疾走選手のスタミナに及ぼす効果について 新薬と臨床 **13** (11), 27-34
- 8) 小川新吉・勝田 茂・松本太刀雄・羽生典正 (1964) ライフル射撃選手の失点時における呼吸パターンと銃口の動き及び射撃テンポとの関係について 日本体育協会スポーツ科学研究委員会報告
* 印は前年度脱落分

早稲田大学教育学部体育生理

- 1) 伊藤秀三郎・前田耕道・森田友喜 (1964. 12) 歯科臨床に使用される局所麻酔薬に添加されたepirenamineの家兎心搏数に対する影響について 学術研究 (早大教育学部) 第13号, 9

労働科学研究所

- 1) 沼尻幸吉 (1964. 4) 疲労回復に関する研究 労働科学 **40** (4), 153-161
- 2) 阿久津綾子・外 (1964. 5) 至適温度の季節変動に関する研究 (3報) 労働科学 **40** (5), 209-218
- 3) 沼尻幸吉 (1964. 6) 運搬作業のエネルギー代謝について 労働科学 **40** (6), 243-251
- 4) Morioka, M. (1964. 6) Some physiological Responses to the Static Muscular Exercise. Reports of the Institute for Science of Labour No. 63, 6-24
- 5) 三浦豊彦 (1964. 7) 軽作業者の冷房の至適温度について 労働科学 **40** (7), 291-294
- 6) 三浦豊彦・外 (1964. 7) 外気温を考慮した夏季の冷房の至適温度に関する実験的研究 (4報) 労働科学 **40** (7), 295-324
- 7) 阿久津綾子・外 (1964. 7) 至適温度の季節変動に関する研究 (4報) 労働科学 **40** (7), 325-333
- 8) 鈴木伊豆美・外 (1964. 11) 高熱作業における高度発汗が電解質および 17-Hydroxycorticosteroids 代謝におよぼす影響について 労働科学 **40** (11), 532-546
- 9) 鈴木伊豆美・外 (1964. 12) 長期夜勤継続に関する生化学的研究 (1報) 労働科学 **40** (12), 587-593

航空医学実験隊

- 1) 池上晴夫・古谷 守・高瀬 巖・橋本備介 (1964. 3) 酸素中毒に関する研究 第1報 2時間の純酸素吸入が人体に及ぼす影響 航空医学実験隊報告 **4** (1),

1-6

- 2) 池上晴夫・藤原 弘 (1964. 3) 急性低酸素症の自覚症状の統計的考察 航空医学実験隊報告 **4** (1), 7-13
- 3) 藤本忠男・渡辺隆夫・池上晴夫・山崎由久 (1964. 3) 低圧室飛行の医学的監視について 航空医学実験隊報告 **4** (1), 29-37
- 4) 池上晴夫・緒方昭二 (1964. 6) 心搏数よりみた T-34パイロットの飛行中の精神緊張に関する研究 航空医学実験隊報告 **5** (1), 32-39
- 5) 池上晴夫・緒方昭二 (1964. 6) T-34 練習機の各種アクロバットにおける G と心搏数に関する研究 航空医学実験隊報告 **5** (1), 40-45
- 6) 池上晴夫 (1964. 6) 純酸素吸入, 低圧負荷, および加圧呼吸が最大止息時間に及ぼす影響 航空宇宙医学心理学 **1** (2), 61-66
- 7) 池上晴夫・高瀬 巖 (1964. 6) 運動負荷時の T波に関する考察 18回日本体力医学会総会総覧 92
- 8)* 池上晴夫・高瀬 巖 (1963. 11) 低圧負荷時の脳波に関する研究 航空宇宙医学心理学 **1** (2), 101
- 9) 池上晴夫 (1964. 9) hypoxic hypoxia の脳波に関する研究 13回日本脳波学会講演抄録集 59
- 10)* 池上晴夫・古谷 守・高瀬 巖・橋本備介 (1963. 11) 低酸素負荷によって誘発された異常脳波の1例 防衛衛生 **11** (3), 1964
- 11) 池上晴夫・高瀬 巖 (1964. 12) 低酸素時の脳波に関する研究 航空宇宙医学心理学 **2** (1), 1-9
- 12) 池上晴夫・高瀬 巖 (1964. 6) 短時間の酸素吸入が生体に及ぼす影響 航空宇宙医学心理学 **2** (1), 49
- 13) 斎藤一郎・岩根正昭・小野幹雄・宮島英雄 (1964. 3) 遠心加速度負荷中の脈搏数の変化について 航空医学実験隊報告 **4** (1), 38-42
- 14) 斎藤一郎・岩根正昭・石崎 満・小野幹雄・宮島英雄 (1964. 3) 加速度負荷と心肺血流動態 航空医学実験隊報告 **4** (1), 43-49
- 15) 斎藤一郎・藤原 弘・岩根正昭 (1964. 6) 遠心力負荷による体温降下について (第1報) 航空宇宙医学心理学 **2** (1), 44
- 16)* 斎藤一郎・岩根正昭・石崎 満 (1963. 11) G 負荷中の心臓造影 防衛衛生 **11** (3), 1964
- 17) 斎藤一郎・岩根正昭 (1964. 11) コリオリ加速度と動揺病の関係について 第16回日本前庭研究会講演抄録集 39-40
- 18) 斎藤一郎・小野幹雄 (1964. 3) カルジオタコメーターについて 航空医学実験隊報告 **4** (1), 14-16
- 19)* 藤原 弘 (1963. 11) ハムスター・モルモットの半数致死高度について 航空宇宙医学心理学 **1** (2), 1964
- 20)* 藤原 弘 (1963. 11) 低圧負荷時における 2・3 の実験動物の生態観察 航空宇宙医学心理学 **1** (2), 1964
- 21) 藤原 弘 (1964. 3) 高空耐性に関する研究 第2報 マウスの半数致死高度について 航空医学実験隊報告 **4** (1), 1964

- 22) 藤原 弘 (1964. 6) 高空耐性に関する研究 第3報 2・3の実験動物の直線の低圧負荷時における生態学的観察 航空医学実験隊報告 **5** (1), 1964
 - 23) 藤原 弘 (1964. 4) 実験動物の航空比較生理に関する研究 (第1報) マウスの高空忍限度と瞬間減圧耐性について 第57回日本獣医学会講演抄録集 1964
 - 24) 藤原 弘 (1964. 11) 実験動物の航空比較生理に関する研究 (第2報) 成犬の高空忍限度について 第58回日本獣医学会講演抄録集 1964
 - 25)* 飯塚道彦・川越トメ子 (1963. 6) 各種薬剤の疲労防止及び回復効果 第1報 自覚的疲労症状調査用紙による成績 航空医学実験隊報告 **5** (1), 58-68
 - 26) 飯塚道彦・秋山明子・藤原 弘 (1964. 9) パイロットの疲労と操縦能力 航空宇宙医学心理学 **2** (1), 48
 - 27) 飯塚道彦・秋山明子 (1964. 9) 低温の生体機能に及ぼす影響 (第1報) 第3回生気象学会講演抄録集 30
 - 28) 横堀 栄 (1964. 3) 全日本ホッケー選手の冬期合宿時における体力の推移について 体力科学 **11** (3), 109-117
 - 29) 横堀 栄 (1964. 3) 全日本ホッケー選手の体力測定成績 体力科学 **11** (3), 123-129
 - 30) 横堀 栄・中西光雄・寄金義紀 (1964. 6) ホッケー東京オリンピック候補選手のインターバルトレーニングのテレメーターによる解析 第18回日本体力医学会総会抄録集 60
 - 31) Sakae Yokobori (1964. 10) Analysis of the interval training of hockey athletes by telemetering. 第15回国際スポーツ科学会議抄録集 257
- * 印は前年度脱落分

国立がんセンター

- 1)* Masaru Kuru (1963) Reticulo-spinal tracts and their significance in reflex micturition. *Neurologia, medico-chirurgica* **5**, 18-20
 - 2) Masaru Kuru (1964) The role of the brain stem in the central nervous control of micturition. *Helvetica Chirurgica Acta* **31**, 429-433
 - 3) Masaru Kuru & Hiroshi Yamamoto (1964) Fiber connections of the pontine detrusor nucleus (Barrington). *J. of Comp. Neurol.* **123**, 161-185
- * 印は前年度脱落分

金沢大学医学部第1生理学教室

- 1)* Honda, Y. and F. Kreuzer (1963) Effect of Na HCO₃ administration on carbon dioxide-ventilation response curve at altitude 4559 m (Mt. Rosa). *Acta Physiol. Pharmacol. Neerlandica* **12**, 337
- 2)* 上野宏郁 (1963. 12) 強度の Hypercapnia における呼吸と血液酸塩基平衡 十全医会誌 **69**, 371
- 3) 蓮村成子 (1964. 2) Thiocyanate space 量測定時の SCN の血漿蛋白との結合及び赤血球内移行について (抄録) 日本生理誌 **26**, 87

- 4) 上野 武 (1964. 3) 低体温時の呼吸について (I) 呼吸と血液酸塩基平衡 日本生理誌 **26**, 146
 - 5) 上野 武 (1964. 3) 低体温時の呼吸について (II) CO₂ に対する呼吸調節系の感受性 日本生理誌 **26**, 156
 - 6) 斎藤幸一郎 (1964. 5) 酸塩基平衡について 1, 呼吸と循環 **12**, 365
 - 7) 斎藤幸一郎 (1964. 6) 酸塩基平衡について 2, 呼吸と循環 **12**, 423
- * 印は前年度脱落分

金沢大学医学部第2生理学教室

- 1) Oomura, Y., K. Kimura, M. Iki, and M. Kuniyoshi (1964) Reciprocal activities of the ventromedial and lateral hypothalamic areas of cats. *Science* **143**, 484-485
- 2) 大山 浩 (1964) Spontaneous potassium response. 生体の科学 **15**, 215-223
- 3) 大村 裕・国吉 真 (1964) 摂食の中樞機構 生体の科学 **15**, 168-190
- 4) 大村 裕・大山 浩・前野 魏 (1964) カラーオシロスコープの実験供覧 日本生理誌 **26**, 117

名古屋大学医学部第1生理学教室

- 1) 鈴木正康 (1964) GSR に関する研究 日本生理誌 **26**, 8-15
- 2) 高木健太郎 (1964) 司会者の言葉 臨床病理 **12**, 5-6
- 3) Nakayama, T. and T. Hori (1964) Response of medullary respiratory neurons to stimulation of the vagus. *Jap. J. Physiol.* **14**, 147-153
- 4) 高木健太郎・小川徳雄・寺田栄一・小林 守 (1964) 人体発汗における 2, 3 の問題 日本生理誌 **26**, 114
- 5) Takagi, K., and T. Nagasaka (1964) Blood volume changes of various kinds of vessels in the human skin recorded by the reflection photoelectric plethysmograph. *Jap. J. Physiol.* **14**, 256-264
- 6) 高木健太郎 (1964) 研究の根拠としての Hem Homeostasis 生体の科学 **15**, 153
- 7) Kumazawa, K., M. Kobayashi, and K. Takagi (1964) A plethysmographic study of the human skin under various environmental conditions. *Jap. J. Physiol.* **14**, 354-364
- 8) 高木健太郎 (1964) 情報の正確性と全体性 医学のあゆみ **5**, 284-287
- 9) Hsieh, A. C. L., T. Nagasaka and L. D. Carlson (1964) Digital blood flow and distensibility during immersion in cold water. *Proc. Soc. Exptl. Biol. & Med.* **117**, 105-107
- 10) Hsieh, A. C. L., T. Nagasaka and L. D. Carlson (1964) The effects of immersion of the hand in cold water on digital blood flow. *AAL-TDR* **63**, 35
- 11) Jefferson, N. C., T. Ogawa, et al. (1964) Prolonge

trophic effects of vagal innervation on diaphragm. *Am. J. Physiol.* **204**, 815-817

- 12) 高木健太郎 (1964) 災害コントロールセンターの構想 医学のあゆみ **49**, 450-452
- 13) 中山昭雄・堀 哲郎 (1964) 脳幹刺激による呼吸の促進と抑制 脳と神経 **16**, 662-669
- 14) 高木健太郎 (1964) フィードバック機構 *Medicina* **1**, 124-128
- 15) 高木健太郎・山本宗平・小坂光男 (1964) 皮膚圧迫の寒冷ふるえに対する抑制効果の分析 第2報 求心性脊髄内走行路について 日本生理誌 **26**, 483-484
- 16) 中山昭雄・堀 哲郎 (1964) 脳幹刺激による延髄呼吸放電の促進と抑制 日本生理誌 **26**, 484
- 17) 小川徳雄・寺田栄一 (1964) 腎代償性肥大の機序について 2. 腎神経の意義 日本生理誌 **26**, 511
- 18) 田沢正敏・権田憲吉 (1964) 胃粘膜のプレテスマグラフ 日本生理誌 **26**, 512
- 19) 熊沢孝朗・小池憲二・他3名 (1964) くり返し音刺激に対する睡眠ポリグラフ 日本生理誌 **26**, 512

名古屋大学環境医学研究所

- 1) Mitarai, G., Watanabe, I. & Niimi, K. (1964. 2) Effect of insulin on carp-retina glia potentials. *J. J. Ophthalm.* **8**, 30-35
- 2) 御手洗玄洋 (1964. 4) 網膜光受容機序に於ける Glia の意義 日本生理誌 **26**, 99-100
- 3) 御手洗玄洋・渡辺郁緒・新美勝彦 (1964. 4) 網膜のグリア電位に対する無機イオンの影響 日本生理誌 **26**, 83
- 4) 安藤 滋 (1964. 6) 生体用簡易テレメーター・システム *ME 学誌* **2** (No. 2), 124-127
- 5) 本林富士郎・杉本助男 (1964. 6) 宇宙飛行と感覚刺激欠乏状態 航空宇宙医学心理学誌 **1** (No. 2), 82-85
- 6) 御手洗玄洋・新美勝彦・渡辺郁緒 (1964. 10) 網膜グリア電位に対するセロトニンの影響 日本眼科誌 **68**, 145-151
- 7) 御手洗玄洋 (1964. 12) S 電位 —— その Origin と色光感曲線 生体の科学 **15**, 38-46
- 8) Mitarai, G. (1964. 12) Further identification of the site of origin and some properties of S-potentials in the carp retina. *Ann. Rep. Res. Inst. Environment. Med.* **12**, 1-8
- 9) 本林富士郎・杉本助男・横瀬善正・伊東三四 (1964. 12) 体位の傾きの認知に関する研究 航空宇宙医学心理学誌 **2** (No. 1), 24-31
- 10) 本林富士郎・安藤 滋・桑原 豊 (1964. 12) 遠心力負荷時の脳波及び脳誘発波 環研年報 **16**, 1-5
- 11) 御手洗玄洋・安藤 滋 (1964. 12) 家兎 ERG に対する遠心力負荷の影響 環研年報 **16**, 5-9
- 12) 本林富士郎・横瀬善正・杉本助男・伊藤三四 (1964. 12) 閉鎖環境実験室における体位傾斜の認知に関する問題 (Ⅱ) 環研年報 **16**, 9-13
- 13) 杉本助男・藤岡 清・御手洗玄洋 (1964. 12) Con-

ditioning と Habituation の脳皮質誘発波上の比較 環研年報 **16**, 13-16

名古屋市立大学医学部第1生理学教室

- 1) 新田初雄・猪飼公郎・梶江 勇・丹羽滋郎・杉野律朗 (1964. 2) 人・犬・猫における手掌・足蹠発汗の電解質濃度について (抄録) 日本生理誌 **26** (第2号), 66
- 2) Ikai, K., Sugie, I., and Nitta, H. (1964) Influence of the Menstrual Cycle and Pregnancy, or of the Administration of Progesterone on the Sebum Excretion. *Nagoya Med. J.* **10** (No. 2), 85
- 3) Niwa, S. and Sugino, R. (1964) Experimental Studies on Antiinflammatory Action of Pronase-P. *Nagoya Med. J.* **10** (No. 3-4)

名古屋市立大学医学部第2生理学教室

- 1) Ohara, K. (1964) Differential method for recording the rate of water evaporation in a small skin area. *Jap. J. Physiol.* **14**, 468-478
- 2) Ohara, K. and I. Mizuno (1964) Identification of locality of the diffusion barrier in the skin. *Nagoya Med. J.* **10**, 11-17
- 3) 大原孝吉・水野郁枝 (1964) 自律系反射 (血管運動及び腺分泌) の誘発反射における時相についての研究 名市大医誌 **15**, 698
- 4) Hotta, K., S. Kojima, (1964) Interaction between Muscle Protein and Zn-ion. *J. Biochem.* **55**, 486
- 5) Hotta, K. (1964) Studies on Structure and Enzymatic activity of Myosin. *Biochem.* **3**, 1431
- 6) Hotta, K. (1964) Enzymatic activity and the Structure of Myosin. Abstract VIII 6th Int. Cong. of Biochem. 654
- 7) 堀田 健・小島しのぶ・寺井 章 (1964) ミオシンの構造と酵素活性 生化学 **36**, 77
- 8) 佐藤雅一・堀田 健 (1964) 筋拘縮の研究 生理学雑誌 **25**, 49

信州大学医学部第2生理学教室

- 1) 宮川 清・村田 章・竹内 亨・宇治一登 (1964. 2) 脳幹の定位的切断が血圧動揺並びに脳波の周期性変動に及ぼす影響について 日本生理誌 **26** (2号), 43
- 2) 宮川 清・村田 章・宇治一登・竹内 亨 (1964. 10) 血圧動揺と腎機能 日本生理誌 **26** (10号), 511
- 3) 宮川 清・村田 章・竹内 亨・宇治一登 (1964. 11) 血圧振動における feedback 因子としての酸素不足ならびに酸素欠乏 日本生理誌 **26** (11号), 563

信州大学医学部順応医学研究施設

- 1) Ueda, G. (1964. 8) Some Rheological Measurements in Resting Muscles of the Frog. *Jap. J. of Physiol.* **14**, 373-385
- 2) 上田五雨・森 甫・中島政行 (1964. 9) 血球計算の問題点 医学のあゆみ **50** (15), 455-459
- 3) 上田五雨・河本典子 (1964. 10) 筋のレオロジーに

について 日本生理誌 **26** (10), 508

- 4)* Ueda, G. (1963. 10) The Effect of Direct Current on the Snail's Heart. Acta Sch. Med. Gifu **11** (4), 209-212

- 5)* Ueda, G. (1963. 11) Seasonal Variations of the Nail Growth. Acta Sch. Med. Gifu **11** (5), 253-256

* 印は前年度脱落分

岐阜大学医学部第2生理学教室

- 1)* Tamura, Y., Matsuoka, S. and Horino, O. (1963. 12) Remaining protein of the cow serum treated with perchloric acid. Acta Schol. Med. Gifu **11**, 354

- 2) Matsuoka, S. (1964. 1) Effects of radiation on the growth of Euglena cells. Bulletin of the Inst. for Chem. Research, Kyoto Univ. **42**, 1

- 3) 田村喜弘・長沢 弘 (1964. 6) 自転車労作計における負荷強度と酸素消費の関係について 体力科学 **13**, 62

- 4) 田村喜弘・杉江 律 (1964. 6) 姿勢の相違による足趾圧分布の変化 体力科学 **13**, 67

- 5) 田村喜弘・江田昭英・鶴見介登・沢崎 茂 (1964. 6) アンモニア作用に及ぼす種々アスパラギン酸塩の影響 体力科学 **13**, 75

* 印は前年度脱落分

奈良県立医科大学第2生理学教室

- 1)* 小栗颯二 (1963. 12) サイクロプロペイン排出曲線による生体脂肪量の決定に関する研究 I. 低分圧サイクロプロペインのオリーブ油に対する溶解度 奈良医学誌 **14**, 197-201

- 2) 富田 晋・榎 泰義・中馬一郎 (1964. 1) 加圧限外濃過による希薄蛋白質溶液の濃縮 科学 **34**, 48-49

- 3) 中馬一郎・他6名 (1964. 3) 新局所麻酔剤 "L 67" によるメトヘモグロビン形成 奈良医学誌 **15**, 59-71

- 4) 榎 泰義・富田 晋・中馬一郎 (1964. 2) ダイコクネズミのヘモグロビンの不均質性について 日本生理誌 **26**, 86

- 5) 榎 泰義・富田 晋・中馬一郎 (1964. 11) 異種ヘモグロビン間 hybrid 形成に及ぼす酸素化、脱酸素化の影響 日本生理誌 **26**, 566

- 6) Enoki, Y. & Tyuma, (1964. 6) Further studies on hemoglobin-oxygen equilibrium. Jap. J. Physiol. **14**, 280-291

- 7) 森川三郎 (1964. 8) イエウサギの胎仔ヘモグロビンに関する研究 日本生理誌 **26**, 422-34

- 8) 中馬一郎 (1964. 8) メトヘモグロビンとメトヘモグロビン血症 麻酔 **13**, 613-21

- 9) Tyuma, I., Enoki, Y. & Morikawa, S. (1964. 12) Studies on the fetal hemoglobin of rabbits. Jap. J. Physiol. **14**, 573-586

- 10)** 中馬一郎・岩坪源洋・山野俊雄・久保秀雄 (記)

(1964. 7) 生物物理化学 ——基礎と演習—— 共立出版 東京

* 印前年度脱落分

** 印単行本

和歌山県立医科大学第1生理学教室

- 1) 上西正章・川口 成・高坂広子・川口美代子・長井音次 (1964. 11) コハク酸々化機構について 日本生理誌 **26**, 564

- 2) 上西正章 (1964. 3) 琥珀酸呼吸と Adenylate Kinase 和歌山医学 **15**, 93

- 3) 長井音次・川口 成・上西正章・高坂広子・辻本毅 (1964. 4) コハク酸々化より見た肝ミトコンドリアの呼吸調節機構に就いて 日本生理誌 **26**, 91

和歌山県立医科大学第2生理学教室

- 1)* 辻 繁勝・松下 宏 (1963) マウス白血病におけるトランスアミナーゼ (GOT, GPT) の動向について Proc. Symp. Chem. Physiol. & Pathol. **3**, 220

- 2) 上岡利春・松下 宏 (1964) 遺伝性肥満高血糖マウスの糖出納及び脂肪酸動員について 日本体質学誌 **28**, 89

- 3) 松下 宏・上岡利春・二沢省二・辻 繁勝・座間世起子・河端啓子 (1964) 遺伝性肥満高血糖マウスによる糖、脂質代謝とその関連ホルモンの研究 日本生理誌 **26**, 64

- 4) 松下 宏・上岡利春・谷 英二・土田 忠 (1964) 遺伝性糖尿病マウスによる糖、脂質代謝の研究 (第3報) New Zealand 肥満マウスの糖出納および脂肪酸動員について 糖尿病 **7**, 205

- 5) 二沢省二・松下 宏 (1964) 遺伝性肥満高血糖マウスによる糖、脂質代謝の研究 (第4報) New Zealand 肥満マウスに対する糖尿病治療剤投与の影響について 糖尿病 **7**, 206

- 6) 松下 宏・上岡利春 (1964) 遺伝性肥満高血糖マウスの脂肪酸動員に及ぼす各種ホルモンの影響について 日本内分泌誌 **40**, 447

- 7) 辻 繁勝・谷 英二・上西淳伺・松下 宏 (1964) 遺伝性筋萎縮症のトランスアミナーゼ活性異常について 和歌山医学 **15**, 310

- 8) 辻 繁勝・谷 英二・大岡達也・松下 宏 (1964) マウス白血病における血清および胸腺細胞中のトランスアミナーゼ活性について 生化学 **36**, 683

- 9) 上岡利春・小倉一格・上西淳伺・松下 宏 (1964) 遺伝性肥満高血糖マウスの脂肪代謝に及ぼすホルモンの影響 生化学 **36**, 586

- 10) 辻 繁勝・松下 宏 (1964) 純系マウスに見出された新しい脱毛突然変異体の遺伝 日本遺伝誌 **39**, 38

* 印前年度脱落分

京都大学医学部第1生理学教室

- 1) 荒木辰之助・松裏修四 (1964. 1) 蕞脊髄ニューロン

の IPSP に対する細胞内イオン注入の効果について 日本生理誌 **26**, 32-33

- 2) 荒木辰之助・深見 安・吉田邦啓(1964.2) 脊髄神経細胞の活性と Ca イオン 日本生理誌 **26**, 40-41
- 3) 佐々木和夫(1964.7) 興奮膜の電気生理学 化学の領域 増刊(生体膜と膜透過) **61**, 81-104
- 4) 田中 任(1964.12) 脊髄屈筋反射に及ぼす上位脳中枢の影響 日本生理誌 **26**, 577-585

京都大学医学部生理学教室第2講座

- 1) Inouye, A., Y. Shinagawa, S. Masumura, S. Hori, Irimajiri A., and S. Yahara (1964) Purification and electronmicroscope observations of ribosomes from beef brain cortex. J. Electronmicroscopy **13**, 113-118
- 2) Shinagawa, Y. (1964) A biophysical approach to the natural membranes I. Acta Scholae Med. Univ. Kyoto **39**, 1-12
- 3) Shinagawa, Y. (1964) A biophysical approach to the natural membranes II. Acta Scholae Med. Univ. Kyoto **39**, 64-70
- 4) 井上 章・品川嘉也・品川泰子(1964) イプロナイアジッドの電子構造 科学 **34**, 96
- 5) 井上 章・品川嘉也・品川泰子・大木新平(1964) アドレナリンの散腫作用と電子状態 科学 **34**, 452-453
- 6) 品川嘉也(1964) 生体膜の構造と機能 化学の領域 増刊61号 生体膜と膜透過 136-161
- 7) 品川嘉也・品川泰子・矢原庄司(1964) フォルモールカルニウムの pH 電子顕微鏡学会誌 **13**, 110
- 8) 品川嘉也・品川泰子・矢原庄司(1964) アルデヒドの固定作用に関する分子論的研究 日本生理誌 **26**, 435-438
- 9) 品川嘉也・入交昭彦・岡本純子(1964) 蛙皮の微細構造 生体の科学 **15**, 206-214
- 10) 品川嘉也(1964) 記憶の物質的基礎(抄) 生物物理 **4**, 190-192
- 11) 井上 章・品川泰子(1964) カテコールのカテコールアミン増強作用と電子状態(抄) 生物物理 **4**, 171-172
- 12) 井上 章・品川嘉也・堀 清記・入交昭彦・榎村純生・伊達慶宗(1964) 脳リボゾームの精製について 神経研究の進歩 **8**, 206-214
- 13) 井上 章・片岡喜由・品川純子・光村民子・榎村純生・今泉正臣・反町 勝・矢原庄二(1964.7) 脳アミン酸化酵素活性に関する二, 三の生化学的性質 神経研究の進歩 **8**, 572-575
- 14) 片岡喜由(1964.9) 脳の生化学(塚田裕三編集・医学書院) 706-719
- 15) Inouye, A., Y. Shinagawa, S. Masumura and Y. Date (1964) Electronmicroscope observations on the structure of ribosomes from calf liver. J. Electronmicroscopy **12**, 192-198

京都市立医科大学第1生理学教室

- 1) 平川千里(1964.1) フラスモに於ける細胞内 pH の研究 日本生理誌 **26** (No. 1), 30
- 2) 吉村寿人・今井雄介・森 勝敬(1964.1) 腎尿細管の電位に関する研究 日本生理誌 **26** (No. 1), 30-31
- 3) 吉村寿人・平川千里(1964.1) 電解質の生体膜透過性 日本臨床 **22** (No. 1), 58-65
- 4) 吉村寿人・森本武利(1964) ガラス電極による生体液 Na⁺ 濃度測定 日本臨床 **22** (No. 1), 135-141
- 5) 吉村寿人・井上太郎・三好正人・山本 豊(1964.2) 唾液塩分組成調節の機構 日本生理誌 **26** (No. 2), 67
- 6) 吉村寿人(1964.2) 気候馴化と体液調節 日本生理誌 **26** (No. 2), 114-115
- 7) Senri Hirakawa and Hisato Yoshimura (1964.2) Measurements of the intracellular Ph in a single cell of Nitella flexilis by means of micro-glass Ph electrodes. Jap. J. Physiol. **14** (No. 1), 45-55
- 8) 堀川蘭子(1964.4) 血清アミノ酸測定による蛋白の栄養効果に関する研究 Proc. of symp. on chem. physiol and pathology. **3**, 154-160
- 9) 吉村寿人・森本武利(1964.6) ガラス電極による Na⁺ 測定 総合臨床 **13** (No. 6), 1070-1073
- 10) 桑田 努(1964.7) 幼犬の酸塩基平衡調節機構に関する研究 日本生理誌 **26** (No. 7), 356-377
- 11) 吉村寿人・桑田 努・豊木 実・箭田正輝(1964.7) Acidosis に際する腎機能の酵素的適応 日本生理誌 **26** (No. 7), 378-385
- 12) 吉村寿人・豊木 実・桑田 努・藤本富次郎(1964.7) Acidosis に対する犬腎臓の適応機能 日本生理誌 **26** (No. 7), 386-397
- 13) 吉村寿人(1964.7) 体温の生理 消費科学 **4** (5号), 1-4
- 14) 森島正彦(1964.8) 季候馴化に対する Aldosterone の意義 日本生理誌 **26** (No. 8), 403-421
- 15) 吉村寿人・今井雄介・山本 豊(1964.10) 唾液腺腺底部の細胞膜のイオン輸送の機転と分泌電位 日本生理誌 **26** (No. 10), 519
- 16) 吉村寿人・森本武利(1964.10) 循環血 pH のテレメタリング 日本生理誌 **26** (No. 10), 519
- 17) 藤本 守・吉村寿人(1964.10) 生理面からみた尿細管機能 1. 尿の濃縮と稀釈 最新医学 **19** (10号), 2624-2637
- 18) 藤本 守(1964.11) 生理面からみた尿細管機能 2. 腎尿細管の能動輸送 最新医学 **19** (11号), 2886-2899
- 19) 吉村寿人・藤本 守・森 勝敬(1964.11) 腎尿細管電位について 日本生理誌 **26** (No. 11), 566-567
- 20) 森本武利・蜂須賀弘久・吉村寿人(1964.11) 肺循環域に於ける chemoreceptor について 日本生理誌 **26** (No. 11), 567
- 21) 吉村寿人・藤本 守(1964.12) 生理面からみた尿

細管機能 3. 酸性尿とアンモニア生成 最新医学
19 (12号), 3115-3136

- 22) 藤田尚男・町野満夫・中上和義・今井雄介・山本豊 (1964. 12) 犬の顎下腺の電子顕微鏡的研究 1. 静止時及び副交感線維短時間刺激時の終末部の微細構造 解剖学誌 39 (5. 6号), 269-293
- 23) Akihiko Uchiyama, Takatoshi Morimoto, and Hisato Yoshimura (1964. 12) Continuous recording of blood Ph and its radiotelemetry. Jap. J. Physiol. 14 (6), 630-637

京都府立医科大学第2生理学教室

- 1)* Kitasato, H. (1963. 10) On the firing level of neurons in the cerebral cortex of rabbit under the barbiturate anesthesia. Proc. XIIth Ann. Meet. Jap. EEG Soc. 57-58
 - 2) 真銅恒一 (1964. 1) 血液カタラーゼ反応に及ぼすヘキサミンの影響 京府医大誌 73, 1-17
 - 3) 真銅恒一 (1964. 1) ニワトリの赤血球の組織呼吸に及ぼす Hexosamine と Glucose の影響 京府医大誌 73, 18-20
 - 4) 内田 孝 (1964. 2) 兎運動-体感覚領神経細胞の活動に対する諸誘発電位の影響 日本生理誌 26, 49
 - 5) 岩瀬善彦 (1964. 2) 家兎嗅球の induced wave の抑制について 日本生理誌 26, 106-107
 - 6) 岩瀬善彦・北里 宏 (1964. 10) 麻酔時の脳神経細胞について 日本生理誌 26, 524
 - 7) 岩瀬善彦・田原直広・真銅恒一 (1964. 9) 嗅物質の継時刺激による嗅球の induced wave の抑制について 日本生理誌 26, 474-477
 - 8) 岩瀬善彦・田原直広・真銅恒一 (1964. 10) ウサギ嗅球の induced wave に対する外側嗅索の刺激効果について 日本生理誌 26, 503-506
- *印は前年度脱落分

京都府立医科大学同位元素研究室

- 1) 今村 昭・竹田 仁 (1964. 4) 蛙皮に於けるNa⁺輸送と陽イオン親和性物質 日本生理誌 26 (2号), 37

京都学芸大学健康学教室

- 1) 山岡誠一 (1964. 6) ガス代謝からみた競走と競泳の比較 (スポーツのエネルギー代謝に関する研究第11報) 体育学研究 8 (2号), 14-20
- 2) 山岡誠一・蜂須賀弘久・細野吉治・森脇泰子・能勢令子 (1964. 1) ラットに対する負荷運動の値と発育に関する研究 京都学芸大学紀要 B: No. 23, 57-65

大阪大学医学部第2生理学教室

- 1) 石原 務・吉井直三郎 (1964. 2) 非行少年と異常脳波型について (3) 14 及び 60/s 陽性棘非行少年の特徴 臨床脳波 6 (1号), 40-50
- 2) 吉井直三郎・下河内稔・宮本健作・伊藤宗之 (1964. 2) 操作的条件行動の際の脳内興奮分布について 日本生理誌 26 (2号), 50-51

- 3) Yoshii, N., K. Hano & Y. Suzuki (1964. 2) Effect of certain substances isolated from 'matatabi' on the EEG of cat. Folia 17 (No. 4), 335-350
- 4) 林 泰正 (1964. 5) 脳幹網様賦活系内の干渉作用 (その1) 誘発電位について 日本生理誌 26 (5号), 239-252
- 5) 林 泰正 (1964. 5) 脳幹網様賦活系内の干渉作用 (その2) 自発放電及び誘発放電について 日本生理誌 26 (5号), 253-266
- 6) Yoshii, N., T. Ishiware and K. Tani (1964. 6) Juvenile delinquents and their abnormal EEG's (2) Continuous theta waves. Folia 18 (No. 2), 161-167
- 7) 伊藤宗之 (1964. 9) スイッチ切り行動の脳波的研究 日本生理誌 26 (9号), 461-473
- 8) 吉井直三郎 (1964. 9) 脳幹刺激から見た表面脳波 第13回日本脳波学会総会講演抄録集 6
- 9) 吉井直三郎・岡田一男 (1964. 9) 条件付け操作による興奮性の変化について 第13回日本脳波学会総会講演抄録集 87-88
- 10) 堀 泰雄・吉井直三郎 (1964. 9) 視床内側核単位ニウロン活動の条件付け 第13回日本脳波学会総会講演抄録集 88
- 11) 吉井直三郎・山口雄三・豊原 功 (1964. 10) 脳内電気刺激の組合せによる条件付けの脳波的研究 (第1報) 日本生理誌 26 (10号), 522-523
- 12) 吉井直三郎・鈴木幸子 (1964. 10) 14 & 6 c/s 陽性刺の実験的研究 日本生理誌 26 (10号), 523-524
- 13) 林 泰正 (1964. 11) 海馬同期波の変動について 日本生理誌 26 (11号), 570

大阪大学歯学部口腔生理学教室

- 1) Kawamura, Y., & Majima, T. (1964. 1) Temporomandibular joint's sensory mechanisms controlling activities of the jaw muscles. J. Dent. Res. 43, 150
- 2) Kawamura, Y. (1964. 1) Recent concepts of the physiology of mastication. Advances in Oral Biology. 1, 77-109
- 3) 船越正也・河村洋二郎 (1964. 1) 唾液腺よりの求心性神経活動に関する研究 日本生理誌 26, 16-26
- 4) 河村洋二郎・船越正也・真島利雄 (1964. 2) 三叉神経運動核活動に対する顎関節部よりの制御 日本生理誌 26, 46
- 5) 河村洋二郎・船越正也・足立 明・岡本純一 (1964. 5) 食品味覚検定に対する神経生理学の応用 1. ビールの味の生理学的分析 日本生理誌 26, 286-291
- 6) Kawamura, Y., & Kubota, R. (1964. 5) Maxillary nerve discharge induced by cavity preparation. J. Dent. Res. 43, 460
- 7) 足立 明・船越正也・笠原泰夫・河村洋二郎 (1964. 6) 食品味覚検定に対する神経生理学の応用 2. 炭酸水の味の生理学的分析 日本生理誌 26, 306-312
- 8) 長沢 亨 (1964. 6) 顎筋活動と呼吸運動との関係に

- ついて 阪大歯学誌 **9**, 70
- 9) 西山 亨 (1964. 6) 歯牙感覚の延髄投射 阪大歯学誌 **9**, 70
 - 10) 真島利雄 (1964. 6) 顎関節知覚の三叉神経運動核活動に対する影響 阪大歯学誌 **9**, 71
 - 11) 河村洋二郎・船越正也・足立 明・岡本純一 (1964. 6) 食品味覚検定に対する神経生理学の応用 阪大歯学誌 **9**, 71
 - 12) 船越正也・西山 亨・釜田彰夫 (1964. 6) 味覚刺激と唾液分泌に関する研究 阪大歯学誌 **9**, 75
 - 13) 河村洋二郎・釜田彰夫 (1964. 6) 各種アスパラギン酸塩の中樞神経系に対する作用に関する研究 阪大歯学誌 **9**, 75-76
 - 14) 足立 明 (1964. 7) 化学調味料添加の味覚効果に関する神経生理学的研究 日本生理誌 **26**, 347-355
 - 15) Kawamura, Y. & Nishiyama, T. (1964. 9) Bulbar and spinal projection of nerve impulses from the teeth of the cat. J. Dent. Res. **43**, 940
 - 16) Kawamura, Y. & Majima, T. (1964. 9) The role of sensory information from the temporomandibular joint in jaw movement. J. Dent. Res. **43**, 812
 - 17) 船越正也 (1964. 9) 味覚刺激と唾液分泌 歯基礎誌 **6**, 23
 - 18) 窪田隆一 (1964. 9) 第2象牙質の機能に関する生理学的研究 歯基礎誌 **6**, 16-17
 - 19) 真島利雄 (1964. 9) 顎関節部知覚神経支配の形態学的並びに神経生理学的研究 歯基礎誌 **6**, 31-40
 - 20) 河村洋二郎・船越正也・西山 亨・真島利雄・釜田彰夫 (1964. 10) 味質と反射性唾液分泌量の関係 日本生理誌 **26**, 495-502
 - 21) 河村洋二郎 (1964. 10) ビールの味, ウイスキーの味, —イヌ・ネコ・ラットを使つての検定 科学読売 **16**, 74-76
 - 22) Kawamura, Y. & Funakoshi, M. (1964. 10) A study on baro-receptive fibres from the submandibular gland of dog. Jap. J. Physiol. **14**, 528-537
 - 23) 船越正也・河村洋二郎 (1964. 10) 顎下腺知覚線維の機能に関する研究 日本生理誌 **26**, 521
 - 24) 河村洋二郎・船越正也・足立 明・岡本純一 (1964. 10) 食品味覚検定に対する神経生理学の応用 日本生理誌 **26**, 521-522
 - 25) 釜田彰夫・河村洋二郎 (1964. 11) 各種アスパラギン酸塩の中樞神経系に対する作用に関する研究 日本生理誌 **26**, 569
 - 26) 西山 亨・河村洋二郎 (1964. 11) 歯牙感覚の三叉神経知覚核投射 日本生理誌 **26**, 569
 - 27) 河村洋二郎・笠原泰夫 (1964. 11) 食行動記録装置についての一考案 日本生理誌 **26**, 537-542
 - 28) 西山 亨 (1964. 11) 歯牙感覚の三叉神経知覚核投射 日本生理誌 **26**, 543-557
 - 29) 窪田隆一 (1964. 12) 歯牙切削により生ずる生体反応に関する研究 阪大歯学誌 **9**, 105-113
 - 30) 河村洋二郎・船越正也・足立 明・笠原泰夫 (1964. 12) 炭酸の味について 阪大歯学誌 **9**, 129

- 31) 窪田隆一 (1964. 12) 裏装効果の生理学的判定に関する研究 阪大歯学誌 **9**, 129
- 32) 浜田 徹・真島利雄 (1964. 12) 傷害刺激に対する歯周組織の反応 阪大歯学誌 **9**, 130-131
- 33) 河村洋二郎・笠原泰夫 (1964. 12) 食行動記録装置について 阪大歯学誌 **9**, 131

大阪大学医学部高次神経研究施設生理

- 1) Ohsaki, K. and K. Iwama (1964) Splanchnic-to-vagal reflex in cats. Tohoku J. exp. Med., **83**, 353-364

大阪大学医学部第3解剖学教室

- 1)* 嶋津 孝 (1963. 7) 肝臓におけるトリプトファン代謝と視床下部自律中枢の役割 神経研究の進歩 **7**, 907-910
- 2)* 嶋津 孝 (1963. 9) 二、三の肝臓酵素の誘導形成に及ぼすメチルコラントレンの作用機序 生化学 **35**, 620-621
- 3)* 高楠 彰・湖崎武敬・伴 忠康 (1963. 12) 視床下部刺激による胎盤の変化, ならびにコーチゾン投与による胎盤の変化について 先天異常 **3**, 82
- 4)* Shimazu, T. (1963) Mechanism of 20-methylcholanthrene on the induction of certain hepatic enzymes. Proc. Symp. Chem. Physiol. Pathol. **3**, 147-153
- 5) 伴 忠康・堺 章・城 勝哉 (1961. 2) 中隔・視床前野 視床下部系 (SPH 系) について 日本生理誌 **26** (2), 52
- 6) Shimazu, T. (1964. 2) Role of the hypothalamus in the induction of tryptophan pyrrolase activity in rabbit liver. J. Biochem. **55**, 163-171
- 7) 伴 忠康・堺 章・城 勝哉 (1964. 3) 内側前脳束と視床上交叉について 脳と神経 **16**, 207
- 8) Kozaki, T., A. Takakusu & T. Ban (1964. 3) On the changes of placenta by cortisone administration in rabbits. Med. J. Osaka Univ. **14**, 323-337
- 9) Matano, S., K. Zyo & T. Ban (1964. 3) Experimental studies on the medial longitudinal fasciculus in the rabbit. I. Fibers originating in the vestibular nuclei. Med. J. Osaka Univ. **14**, 339-370
- 10) Takakusu, A., T. Kozaki & T. Ban (1964. 3) Experimental studies on the changes of placenta and uterine vessels induced by electrical stimulation of the hypothalamus in pregnant rabbits. Med. J. Osaka Univ. **14**, 371-379
- 11) 俣野彰三・大木庸男・城 勝哉・伴 忠康 (1964. 4) 内側縦束について 解剖誌 **39** (2), 101
- 12) Ban, T. (1964. 6) The hypothalamus, especially on its fiber connections, and the septopreoptico-hypothalamic system. Med. J. Osaka Univ. **15**, 1-83
- 13) 嶋津 孝 (1964. 7) 肝臓酵素の活性調節と視床下部神経研究の進歩 **8**, 592-595
- 14) 伴 忠康 (1964. 8) 医学への日本の寄与 自律系 医

学のあゆみ 50 (9), 357

- 15) 伴 忠康 (1964. 9) 自律中枢と前庭神経核について 耳鼻咽喉科 36, 785-795
- 16) 伴 忠康 (1964. 9) 神経分泌 脳の生化学 医学書院 557-584
- 17) 伴 忠康 (1964. 10) 動物実験からみた視床下部情動機構の整理 脳と神経 16, 824-827
- 18) 嶋津 孝 (1964. 10) 担癌動物の内分泌調節 蛋白質・核酸・酵素 9, 1169-1180
- 19) 嶋津 孝・藤本孝知・伴 忠康 (1964. 11) 肝臓における代謝と視床下部との関係 自律神経 1 (1), 1
- 20) 嶋津 孝 (1964. 12) 脳神経系による代謝調節 現代の生化学 (下) 化学同人社 239-260
- 21) Shimazu, T. (1964. 12) Regulation of tryptophan pyrrolase activity in mammalian liver. Proc. Tanabe Amino Acid Res. Foundation Symp. on Tryptophan Metabolism. 1, 262-275

* 印は前年度脱落分

大阪市立大学医学部第1生理学教室

- 1) Furukawa, T., Fukami, Y. & Asada, Y. (1964. 8) Effects of strychnine and procaine on collateral inhibition of the Mauthner cell of goldfish. Jap. J. Physiol. 14, 386-399
- 2) 古河太郎・朝田芳男・鶴丸泰男 (1964. 2) Mauthner細胞に於ける電気的シナプス 日本生理誌 26, 52
- 3) 浅沼 広 (1964. 2) 体性感覚領に於ける Contrast 形成の1つの機構 日本生理誌 26, 103
- 4) 古河太郎・朝田芳男・鶴丸泰男 (1964. 8) Mauthner細胞の樹状突起の性質 日本生理誌 26, 522

大阪市立大学医学部第2生理学教室

- 1) 木村英一・木下喜博・植田 隆・小野時男・木村修平 (1964) 赤血球成熟過程の観察 日本生理誌 26, 85
- 2) 久家 清・谷岡涼子・細谷雄二 (1964) ロドプシンのグリセリン抽出について 日本生理誌 26, 233
- 3) 木下喜博 (1964) 脾臓より分離した白血球の性状について 日本生理誌 26, 515
- 4) 木下喜博・木村英一・越川 恵 (1964) 人骨髓細胞の分離および保存に関する研究 第1報 日血会誌 27, 309
- 5) 木村英一 (1964) 各種血球の分離術式 日本血液学全書 6, 62
- 6) Yoichiro Ito (1964) Improved gradient method for separation of lymphocytes and neutrophils from human peripheral blood. Osaka City Med. J. 10, 33
- 7) 堀 功 (1964) 網膜静止電位におよぼす Azide の作用について 日本生理誌 27, 32
- 8) 堀 功 (1964) 網膜の DC 電位について 日本生理誌 27, 36

大阪医科大学第2生理学教室

- 1)* 奥原昌徳 (1963. 3) 内臓皮膚反射 (マッケンジー

氏原理) 及びその逆理 (皮膚内臓反射) に関する絡様パターン 大阪医大誌 22 (1), 1-13

- 2)* 笹川久吾・万井正人・森本 孝・奥原昌徳 (1963. 6) 筋組織の微細構造に対する放射線及び神経切断の影響について 大阪医大誌 22 (2-3), 150
- 3)* 笹川久吾・奥原昌徳 (1963. 4) 内臓皮膚反射パターンに対する自律並に体制両神経の相関 日本生理誌 25, 86
- 4)* 万井正人・森本 孝 (1963. 10) 急性疲労時に於ける筋作業能力の推移に関する一考案 第17回日本体力医学会総会抄録集 43
- 5)* 笹川久吾・奥原昌徳 (1963. 10) 体制自律両神経刺激療法の子防医学への応用 第17回日本体力医学会総会抄録集 43
- 6)* 奥原昌徳 (1963. 11) 内臓皮膚反射 (マッケンジー氏原理) 及びその逆理 (皮膚内臓反射) に関する絡様パターンに関する研究 (其の2) 脱疽 Gangraena Cutisに対する冷熱交互 (奥原) 療法の治験検討 大阪医大誌 22 (4), 254-262

* 印は前年度脱落分

関西医科大学第1生理学教室

- 1) Kaichi Kotsuka and Hiroe Naito (1964) Comments on Langley's Antidromic Action on an Experimental Basis. Part III. Acta Neuroveg. 25 (4), 564-578
- 2) Kaichi Kotsuka and Hiroe Naito (1964) Comments on Langley's Antidromic Action on an Experimental Basis. Part IV. Acta Neuroveg. 25 (4), 579-588
- 3) 幸塚嘉一・内藤博江・藤本清一 (1964. 1) 蛙下肢筋における "sympatho-sympathetic vasodilator reflex" について 日本生理誌 26 (1), 31
- 4) 幸塚嘉一・内藤博江・藤本清一 (1964. 2) Cholinergic sympathetic fiber について ——スウェーデン学派批判 日本生理誌 26 (2), 68
- 5) Hiroe Naito and Takahiro Asayama (1964. 10) On the Vasomotor Innervation of Eye Blood vessel of Bullfrogs. Acta, ophthalmol. Jap. 68 (11), 1451-1458
- 6) 幸塚嘉一・内藤博江 (1964. 10) Afferent vagal stimulation による active sympathetic vasodilation について 日本生理誌 26 (10), 524
- 7) 幸塚嘉一・内藤博江 (1964. 11) Sympathetic vasomotor nerve の Reflex activation について 日本生理誌 26 (11), 568
- 8) 石川繁子 (1964. 9) クロレラの窒素欠乏培養における生理化学的活性 生化学 36 (9), 690
- 9) 石川繁子 (1964. 11) 生体内脂質の生理学的研究 (その2) 単細胞生活体の脂質について (第3報) 日本生理誌 26 (11), 564-565
- 10) Tashiro, Y., Yphantis, D. A. and Sabatini, D. D. (1964. 4) Dissociation of liver ribosomes. Federation Proceeding 23, 219
- 11) Sabatini, D. D. and Tashiro, Y. (1964. 7) Ribosomal

site of attachment of guinea pig liver ribosomes to microsomal membranes. Sixth International Congress of Biochemistry 84

- 12) 田代 裕 (1964. 2.) 肝細胞リポゾムの構造と機能 日本生理誌 **26**, 90

関西医科大学第2生理学教室

- 1)* Yasuhara, M. (1963) Neuropharmacological Studies on Arousal Reaction and Recruiting Response. The XIIth Annual Meeting of the Japan EEG Society 40
- 2)* 安原基弘 (1963. 12) 角膜知覚と脳波 —— まぶしさを中心として 関西医大誌 **15**, 250-251
- 3) 安原基弘・那須千鶴子・吉原マコト・半田ふみ子・正野道子 (1964. 2) 視床の機能に関する神経薬理学的研究 —— recruiting response と促進, 抑制の問題について 日本生理誌 **26**, 45
- 4) 浜野 光・安原基弘・那須千鶴子・磯吉健治・吉原マコト (1964. 3) Contact Lens 装用の瞬目反射 —— その筋電図学的考察 眼紀 **15**, 17-22
- 5) 安原基弘 (1964. 10) 視床における機能の分化 —— 特に recruiting response を中心として 関西医大誌 **16**, 151-159
- 6) 安原基弘・那須千鶴子・吉原マコト・南 佳洋・半田ふみ子・正野道子 (1964. 10) Recruiting response の神経薬理学的研究 日本生理誌 **26**, 514
- 7) 安原基弘・南 佳洋・坂口起造・吉原マコト・半田ふみ子・正野道子 (1964. 11) Recruiting response と脳幹網様との相関関係について —— その薬物による分析 日本生理誌 **26**, 570
- 8) 安原基弘・前田東作・木村俊子・太田寿夫・浜田廉夫・大饗治子 (1964. 11) 肝性昏睡の脳波筋電図学的研究 (第1報) 視床と脳幹網様体との相関関係を中心とした基礎的研究 日内会誌 **53**, 1061
- * 印は前年度脱落分

大阪歯科大学生理学教室

- 1) 吉田 洋 (1964. 6) Sulfaphenazol の唾液中への排泄について (補遺) 歯科医学 **27** (3), 89-94
- 2) 吉田 洋 (1964. 6) スルファミン剤の唾液中への排泄に対する p-Dipropyl sulfamyl benzoic acid (Probenecid) の影響について 歯科医学 **27** (3), 95-105
- 3) 吉田 洋 (1964. 6) スルファミン剤の唾液中への排泄を左右する要因について 歯科医学 **27** (3), 106-115
- 4) 上羽隆夫 (1964. 6) ラットの唾液腺からの有機色素の排泄について 歯科医学 **27** (3), 116-125
- 5) 上羽隆夫 (1964. 6) 有機色素の唾液腺からの排泄におよぼす色素の物理的・化学的性状の影響について 歯科医学 **27** (3), 126-137
- 6) 上羽隆夫 (1964. 8) ラットの顎下腺および舌下腺における有機色素の排泄像の組織化学的観察について 歯科医学 **27** (4), 145-153

神戸大学医学部第1生理学教室

- 1)* Kinjo, K., T. Hirata and S. Okamoto (1963. 12) Studies on the fibrinolysis in tumor bearing mice. I. Fibrinolytic system, ascites retention and intraperitoneal hemorrhage in tumor bearing mice : Suppressing effect of epsilon aminocaproic acid. Kobe J. Med. Sci. **9**, 151-160
- 2)* Kinjo, K., H. Mihara and Y. Funahara (1963. 12) Studies on the fibrinolysis in tumor bearing mice. II. Appearance of fibrinolytic enzyme in ascites after tumor cells inoculation. Kobe J. Med. Sci. **9**, 161-167
- 3)* Oshiba, S., H. Mihara, S. Hata and S. Okamoto (1963. 12) Enzymatic and physiological studies on the proteases heterogenous to the body. I. Substrate specificity, inhibitors, and the physiological fate of asperkinase. Kobe J. Med. Sci. **9**, 139-149
- 4)* Mihara, H. (1963. 12) Action of the new anti-fibrinolytic substance on the streptokinase-activated proteases (plasmins). Kobe J. Med. Sci. **9**, 169-177
- 5) 岡本彰祐・金城清勝・大柴 進・渡部英史・美原恒・船原芳範・吉良貞伸・杉山陽一郎・光辻哲馬・畑 滋二・福本 竜・三浦躬登雄 (1964. 2) 抗線維素溶解酵素物質による組織ならびに体液内のプラスミン系の生理学的研究 日本生理誌 **26**, 88
- 6) 丸尾雅弘 (1964. 4) ウサギ子宮内膜のプラスミン系ならびにそれと類似した蛋白分解酵素系の研究 日本産婦人科学誌 **16**, 223-230
- 7) 大柴 進・美原 恒・畑 滋二 (1964. 4) Fungal origin の protease の酵素学的・生理学的特徴 日本生理誌 **26**, 233
- 8) 大柴 進 (1964. 5) 私はプラスミンをかく考える 第3回プラスミン研究会報告集 **No. 73-C**, 2-4
- 9) 岡本彰祐 (1964. 6) プラスミン *Medicina* **1**, 120
- 10) 岡本彰祐・金城清勝 (1964. 6) 第6講 アレルギーの酵素学 最新医学 **19**, 1603-1610
- 11) 大柴 進・三浦躬登雄・福本 竜 (1964. 6) KSCN による Fibrin の溶解 —— 組織 Activator 測定法の吟味 日本血液学誌 **27**, 393
- 12) 岡本彰祐・杉山陽一郎 (1964. 6) 腎ミトコンドリアにおける線維素溶解系活性化因子の放出の条件 日本血液学誌 **27**, 396
- 13) 大柴 進・畑 滋二 (1964. 10) 胆汁中に発見せられた Specific protease inhibitor —— それによる plasmin 系の分析 日本生理誌 **26**, 517
- 14) 渡部英史・光辻哲馬・杉山陽一郎・岡本彰祐 (1964. 10) 火傷の実験生理学的研究 日本生理誌 **26**, 517
- 15) 船原芳範・美原 恒・金城清勝 (1964. 10) Ehrlich 腹水癌における線容系の研究 臨床血液 **5**, 415
- 16) 岡本彰祐 (1964. 10) プラスミンの本態 第4回プラスミン研究会報告集 **No. 76-I**, 2-6
- * 印は前年度脱落分

神戸大学医学部第2生理学教室

- 1) Takahira, H. and Nacimiento, A. C. (1962) Burst discharges of cerebellar Purkinje cells. *Fed. Proc.*, **21**, 342
- 2) Takahira, H. and Nacimiento, A. C. (1962) Afferent convergence upon a single cerebellar cell in the cat. *Excerpta Medica, International Congress Sciences*. No. 48, 1147
- 3) 高比良英輔 (1964) 小脳プルキンエ細胞バーストの型について *日本生理誌* **26**, 33
- 4) 高比良英輔・大石勝之 (1964) 小脳P-細胞活動を左右する因子 *日本生理誌* **26**, 48
- 5) 高比良英輔 (1964) 小脳活動の特徴とP-細胞パターン *日本生理誌* **26**, 103
- 6) 高比良英輔 (1964) 電極がプルキンエ細胞(小脳)にはいるとき *日本生理誌* **26**, 479-480
- 7) 高比良英輔 (1964) 小脳のD電位および類似の現象 *日本生理誌* **26**, 522
- 8) 足立千鶴子 (1964. 9) 培養神経細胞ならびに膠細胞に対する GABOB, GOBAB の影響 条件反射 GABA, GABOB および関連物質の研究特集号
- 9) 須田 勇 (1964. 9) 血行停止後の脳髄機能の復活条件の検討 *日本脳神経外科学会* 9月号 24
- 10) Suda, Isamu and Amano, Tomonao (1964) An analysis of evoked cerebellar activity. *Arch. ital. Biol.* **102**, 156-182

神戸医科大学産業医学教室

- 1) 美崎教正 (1964) Effect of administration of sexual hormones on the ionic fluxes in frog's sartorius muscle. *The Kobe J. of Med. Sci.* **10** (No. 2), 69-83

岡山大学医学部第1生理学教室

- 1)* 西田 勇・安田浩士・村上哲英・三木福治郎・日野道夫・得本博允 (1963) 角膜から抽出した生物学的活性ポリペプチド cornin に関する研究 *日本生理誌* **25**, 92-93
- 2)* 得本博允 (1963) 縮腫物質 cornin の生体内分布について *日本生理誌* **25**, 213
- 3)* 日野道夫 (1963) cornin の細胞分裂に及ぼす影響 *日本生理誌* **25**, 213
- 4) 西田 勇・安田浩士・村上哲英・三木福治郎・金尾浩志 (1964) 生物学的活性ポリペプチド cornin に関する研究 *日本生理誌* **26**, 90
- 5) 西田 勇・村上哲英・金尾浩志 (1964) 生物学的活性ポリペプチド cornin に関する研究 ——cornin の細胞分裂に及ぼす影響 (2) *日本生理誌* **26**, 345
- 6) 西田 勇・村上哲英・金尾浩志 (1964) 生物学的活性ポリペプチド cornin に関する研究 ——cornin の細胞分裂に及ぼす影響 (3) *日本生理誌* **26**, 345
- 7) 三木福治郎 (1964) 生物学的活性ポリペプチド cornin に関する研究 Ehrlich 腹水癌細胞に対する研究 *日本生理誌* **26**, 345-346
- 8) 西田 勇・村上哲英・金尾浩志 (1964) 生物学的活

性 polypeptide "cornin" の細胞分裂に及ぼす影響
細胞化学シンポジウム **14**, 57-70

* 印は前年度脱落分

岡山大学医学部第2生理学教室

- 1) 福原 武・福田博之 (1964. 2) モルモット剔出小腸の運動 (抄) *日本生理誌* **26**, 79
- 2) Hukuhara, T., R. Nanba and H. Fukuda (1964. 2) The problem whether the intramural ganglion cells play any role in the ureteral motility. *Jap. J. Physiol.* **14**, 188-196
- 3) Hukuhara, T., R. Nanba and H. Fukuda (1964. 2) The effects of the stimulation of extraureteral nerves on the ureteral motility of the dog. *Jap. J. Physiol.* **14**, 197-209
- 4) 福原 武・難波良司・福田博之 (1964. 6) 尿管の内容物輸送と運動との関係について (抄) *日本生理誌* **26**, 341-342
- 5) 福原 武・難波良司・福田博之 (1964. 6) 尿管における支配神経刺激の運動におよぼす効果について (抄) *日本生理誌* **26**, 342
- 6) 仙波春樹 (1964. 6) 粘膜内反射の胃内容排出におよぼす影響 (抄) *日本生理誌* **26**, 342-343
- 7) 椎名 宏 (1964. 6) 2, 3 の薬物の腸運動におよぼす影響 (抄) *日本生理誌* **26**, 343

広島大学医学部第1生理学教室

- 1) 小林 淳・入沢 宏 (1964) Effect of sodium deficiency on the action potential of the smooth muscle of ureter. *Am. J. Physiol.* **206**, 205-210
- 2) 入沢 宏・西丸直子 (1964) Site of slow conduction at the bulbo-ventricular junction in frog heart. *Proc. Jap. Acad.* **40** (No. 3), 241-244
- 3) 入沢 宏・小林 淳 (1964) On the spontaneous activities of oyster myocardium caused by several inorganic ions in sucrose solution. *Jap. J. Physiol.* **14**, 165-176
- 4) 入沢 宏 (1964) 遅い興奮伝導を示す 2, 3 の組織医学のあゆみ **50** (第8号), 309-313
- 5) 小林 淳 (1964) Conduction velocity in various regions of the ureter. *Tohoku J. exp. Med.* **83**, 220-224

広島大学医学部第2生理学教室

- 1) 銭場武彦・藤井一元・木村進匡 (1964. 2) 高位脳幹に於ける胃運動の促進点及び抑制点について *日本生理誌* **26**, 46, *広島医学* **17**, 420
- 2) 銭場武彦・藤井一元・木村進匡 (1964. 6) 中脳刺激による胃運動の変化について *日本生理誌* **26**, 342, *最新医学* **19** (11), 23
- 3) Semba, T., Fujii, K. & N. Kimura (1964. 7) The vagal inhibitory responses of the stomach to stimulation of the dog's medulla oblongata. *Jap. J. Physiol.* **14**, 319-327
- 4) 銭場武彦・藤井一元・木村進匡 (1964. 8) 高位脳幹の刺激による胃運動の変化について *広島医学* **17**,

839-851

- 5) 銭場武彦・藤井一元・木村進匡 (1964.10) 迷走神経性胃抑制について 広島大医誌 12, 405, 自律神経 1, 2, 広島医学 17, 442
- 6) 銭場武彦・藤井一元 (1964.10) 延髄に於ける血管運動中枢に関する研究 自律神経 1, 16

鳥取大学医学部第1生理学教室

- 1) 山田 守・古谷光江・林 文子 (1964.4) 諸種刺激下のザリガニ中央巨大神経線維膜の変化 日本生理誌 26, 38
- 2) 山田 守 (1964.4) 感覚器としての歯牙の化学物質, 圧, 温度の情報伝達機転について 日本生理誌 26, 97
- 3)* 山田 守・足立 学・岸田和実・三代一成・鈴田邦介・今井 悟 (1963.4) 歯牙の圧, 温度等の感覚受容について 日本生理誌 26, 343
- 4)* 山田 守・倉繁房吉・樋口寿士・桑島昭悦 (1963.10) Tomes 線維の諸種薬品に対する閾値の変化 日本生理誌 26, 343
- 5) 榎野博規 (1964.7) 猫における球形囊斑刺激および直線加速度刺激による大脳皮質反応について (微小電極法の応用による) 日耳鼻誌 67, 953
- 6) Yamada, M., S. Takata, M. Kotani & M. Oka (1964.7) The comeback conduction and the repetitive response of a singleneve fibre evoked by formalin solution. Yonago Acta Medica 8, 33
- 7) Yamada, M., S. Takata, M. Kotani, S. Moriki (1964.7) The variations of the membrane potential of the giant axon by mechanical pressure. Yonago Acta Medica 8, 56
- 8)* Yamada, M., M. Adachi, K. Kishida, et al. (1963.12) Reactions of the tooth to noxious stimulations by chemical reagents, temperature, and pressure variations. J. Dent. Res. 43, 942
- 9) 足立 学 (1964.8) 抵抗歪計による歯牙応力分布の三次元的研究 米子医誌 15, 300
- 10) 岸田和実 (1964.10) 化学的刺激に対するトームス線維の情報伝達様式 米子医誌 15, 392
- 11) 須貝幸弘 (1964.10) 線抵抗線による脛骨の力学的研究 米子医誌 15, 409
- 12) 倉繁房吉 (1964.10) 歯根膜の温度, 化学刺激に対する応答について 米子医誌 15, 425
- 13) 永井睦悌 (1964.10) 骨の動力学的研究 米子医誌 15, 437

* 印は前年度脱落分

鳥取大学医学部第2生理学教室

- 1) 及川俊彦 (1964.2) 大脳皮質視覚領2単位放電の同時観測 日本生理誌 26, 105-106
- 2) 岡田博匡 (1964.2) 右鎖骨下動脈起始部の圧受容器よりの反射 日本生理誌 26, 60
- 3) Okada, H. (1964.4) Reflex responses to stimulation of baroreceptors in the right subclavian artery. Am. J. Physiol. 206, 918-922

- 4) 藤谷嘉子・古志 武 (1964.8) 鯉視束内の線維分布 米子医学誌 15, 293-299
- 5) 藤谷嘉子 (1964.10) 心臓血管神経の活動に対する眼球圧迫の効果 米子医学誌 15, 365-375

山口大学医学部第1生理学教室

- 1)* Niu, H., Yokomura, E. & Ohkawa, H. (1963.9) The electrical and mechanical activities of the isolated guinea-pig ureter in the various ionic environments. Bull. of Yamaguchi Med. Sch. 10 (3), 25
- 2) 丹生治夫・中島 晃・熊本水頼 (1964.2) 子宮筋に対する交感神経作用物質の作用について 日本生理誌 26 (2), 67
- 3) 丹生治夫・大川博道 (1964.2) Na 不足におけるモルモット輸尿管の電気的活動性と機械的活動性について 日本生理誌 26 (2), 80
- 4) 丹生治夫・大川博道 (1964.6) モルモット輸尿管に及ぼす Ca イオンの影響 日本生理誌 26 (6), 341
- 5) 丹生治夫・高木公三郎・伊藤 稔・伊藤一生 (1964.6) ボート選手の循環呼吸機能の発達について 体力科学 13 (2), 61
- 6) 丹生治夫・大川博道 (1964.11) モルモット輸尿管の Ca 不足下における電気的活動性について 最新医学 19 (11), 32
- 7) 丹生治夫・熊本水頼・中島 晃 (1964.11) 子宮筋に対する antiadrenergic agents の作用について 最新医学 19 (11), 17
- 8)* Niu, H., and Nakajima, A. (1962.6) Studies on the origin and the mode of Propagation of the contraction wave in human uterus. Bull. of Yamaguchi Med. Sch. 9 (2), 73-80

* 印は前年度脱落分

山口大学医学部生理学教室第2講座

- 1)* 川端五郎・谷国勝美 (1963.4) 吸引電極法による猫輸尿管の活動電位はについて (抄) 最新医学 18, 911
- 2)* Kawabata-Gorou & Tanikuni-Katsumi (1963.9) Studies on the action potential of cat ureter by suction electrode tehniue. Bull. Yamaguchi Med. Sch., 10, XXV (Proceedings)
- 3) 曾我美 勝 (1964.2) 蛋白質及びポリペプチドの異性化 (Conformational Transition) について (Ⅱ) 血清アルブミンの N-F Transition (抄) 日本生理誌 26, 89
- 4) Sakata-Yozo (1964.3) Resting potential of the muscle cell in toad's stomach. Bull. Yamaguchi Med. Sch., 11 (No. 1)
- 5) 坂田洋三・谷国勝美・藤本勝喜 (1964.6) 発生初期の鶏胚心の活動電位について (抄) 日本生理誌 26, 329
- 6) 曾我美 勝 (1964.6) 蛋白質及びポリペプチドの異性化 (抄) 日本生理誌 26, 345
- 7) Sakata-Yozo & Kawabata-Gorou (1964.6) On the

- Role of Calcium Ion in the Contractility of the Frog's Stomach Muscle. Bull. Yamaguchi Med. Sch. **11** (No. 3), (in press)
- 8) Tanikuni-Katsumi, Tamanai-Itsuro, Fujimoto-Katsuki, & Sakata-Yozo (1964. 9) Intracellular Electrogram of embryonic Chick Heart. Bull. Yamaguchi Med. Sch. **11** (No. 3), (in press)
- 9) Foster, J. F., Sogami-Masaru, et al. (1964. 7) On the Microheterogeneity of the Plasma Albumines. 6. international Congress of Biochemistry, New York
- 10) 玉野井逸朗・川端二郎・他3名 (1964. 11) 生体内における Oxytocin, Vasopressin の分布について (抄) 最新医学 **19** (No. 11),
- * 印は前年度脱落分

徳島大学医学部第2生理学教室

- 1) 橋本澄子 (1964) D-アミノ酸化酵素の SH 基について 四国医学誌 **20**, 17-25
- 2) 安芸謙嗣 (1964) D-アミノ酸化酵素の生理的意義に関する研究 第1報 D-アミノ酸化酵素の細胞内分布について 四国医学誌 **20**, 26-31
- 3) 安芸謙嗣 (1964) D-アミノ酸化酵素の生理的意義に関する研究 第2報 カタラーゼ存在下における D-アミノ酸化酵素系のチトクローム C 還元について 四国医学誌 **20**, 32-37
- 4) 三宅可浩・安芸謙嗣・橋本澄子・山野俊雄 (1964) D-アミノ酸化酵素の結晶化と 2, 3 の性質について 第16回酵素化学シンポジウム予稿集 211-214
- 5) Yamano, T. (1964) An Electron Spin Resonance Study of the Semiquinonoid State of D-Amino Acid Oxidase. Arch Biochem. Biophysics **106**, 360
- 6) Mason, H. S., T. Yamano, et al. (1964) The Structure and Oxidase Function of Liver Microsomes. International Symposium of Oxygenases. Amherst. U. S. A.
- 7) Aki, K., Y. Miyake and T. Yamano (1964) Studies on D-Amino Acid Oxidase V. Effect of Urea on D-Amino Acid Oxidase. Tokushima J. Exp. Med. **11** (3),

徳島大学医学部第1生理学教室

- 1) Takita, S. (1964) Über den Ursprung der Peristaltik im Frühstadium des menschlichen Fetus. Pflügers Archiv **279**, 26-35

徳島大学医学部神経精神医学教室

- 1)* Nakao, H. and M. Yoshida (1963) Effect of amygdaloid after-discharges on switch-off behavior motivated by hypothalamic stimulation in cats. Folia psychiat. Neurol. Jap., **17**, 221-229
- 2) Nakao, H. (1964) The spread of cingulate after-discharges and the performance of switch-off

behavior motivated by hypothalamic stimulation in cats. Folia Psychiat. Neurol. Jap., **18**, 153-160

- 3) 中尾弘之・吉田光雄 (1964) 猫視床下部刺激による食べる反応およびそれに関連した諸反応 脳と神経 **16**, 657-661
- 4) 中尾弘之・吉田光雄・佐々木敏弼・青木 功 (1964) 猫の視床下部刺激によりおこる逃走——恐れ反応について 脳と神経 **16**, 779-783
- * 印は前年度脱落分

九州大学医学部第1生理学教室

- 1) Kuriyama, H. (1964) Effect of electrolytes on the membrane activity of the uterus. "Pharmacology of smooth muscle" Edited by E. Bülbiring, Pergamon Press. 127-141
- 2) Kuriyama, H. (1964) The effect of temperature on neuromuscular transmission in the Vas deferens of the guinea-pig. J. Physiol. **170**, 561-570
- 3) Burnstock, H., Holman, M. and Kuriyama, H. (1964) Facilitation at sympathetic nerve endings in smooth muscle. J. Physiol. **172**, 31-49
- 4) Kuriyama, H. (1964) Effect of calcium and magnesium on neuromuscular transmission in the hypogastric nerve-Vas deferens preparation of the guinea-pig. J. Physiol. **175**, 211-230
- 5) Casteels, R. and Kuriyama, H. (1964) Membrane potential and tonic contents of pregnant and non pregnant rat myometrium. J. Physiol. **172**, 22-23
- 6) Kuriyama, H. and Tomita, T. (1964) Effect of polarizing currents on the membrane activity of single smooth muscle cells. J. Physiol. **173**, 10-11
- 7) Kuriyama, H. and Tomita, T. (1964) Electrical responses of single smooth muscle cells to intracellular stimulation. J. Physiol. **175**, 36-37
- 8) Szaimi, T. and Tomita, T. (1964) Electrical properties of the frog skeletal muscle membrane in Na- and Cl-free solution. Jap. J. Physiol. **14**, 1
- 9) 栗山 熙・富田忠雄 (1964. 9) 単一平滑筋細胞膜の電気的特性 第6回平滑筋学会抄録 21-22
- 10) 橋村三郎・長 琢朗 (1964. 2) ガマの後根電位について 日本生理誌 **26**, 40
- 11) 棚橋陽吉・宮原ハツヨ (1962. 2) 白鼠の発育に及ぼす Mucin の効果に関する実験的研究 (第2報) 日本生理誌 **26**, 63-64
- 12) 大木幸介 (1964) 分子生物学と量子生物学 化学 **19**, 51-58

九州大学医学部第2生理学教室

- 1) Goto, M. and Y. Abe (1964. 4) Effects of External Ions on the Excitation-contraction Coupling of Cardiac Muscle of the Rabbit. Jap. J. Physiol. **14**, 123-134
- 2) Goto, M. and Y. Abe (1964. 4) Effects of 'EDTA'

- on the Membrane Potential and Tension of Ventricular Muscle of the Rabbit. *Jap. J. Physiol.* **14**, 135-146
- 3) Schanne, O., R. Kern, and H. Kawata (1964) Über eine vielseitige Kathoden verstärkerschaltung für elektrophysiologische Untersuchungen. *Zeitschrift für Biologie* **114**, 371-379
 - 4) 後藤昌義 (1964) 筋電図入門 第10章 平滑筋の電気生理 241-264
 - 5) 後藤昌義・村瀬良子・川内康二・原 敬二郎 (1964) 平滑筋における興奮と興奮伝播 最新医学 **19** (11号)
 - 6) 後藤昌義 (1964. 2) シンポジウム「医学とエレクトロニクス」1. 基礎医学におけるエレクトロニクス 福岡医学誌 **55** (1号), 70-72
 - 7) 後藤昌義・村瀬良子・原敬二郎 (1964. 5) 万能引張圧縮試験機による血管の機械的諸特性に関する研究 福岡医学誌 **55** (4号), 281-290
 - 8) 後藤昌義・村瀬良子 (1964. 2) 血管および血管平滑筋の機械的諸特性 (第2報) 渗透圧およびpHの影響 日本生理誌 (第41回日本生理学会総会号) **26** (2号), 56
 - 9) 緒方道彦 (1964. 2) マイクロメカノグラムによるE-C couplingの研究 骨格筋の電気的特性と収縮 日本生理誌 (第41回日本生理学会総会号) **26** (2号), 76
 - 10) 後藤昌義・村瀬良子・原 敬二郎 (1964. 9) 万能引張圧縮試験機による血管の機械的諸特性に関する研究 第6回日本平滑筋学会講演抄録 18
 - 11) 後藤昌義・村瀬良子 (1964. 9) 血管壁の三大要素 collagen, elastin, muscle の張力に及ぼす温度および pH の影響 第6回日本平滑筋学会講演抄録 19
 - 12) 玉井 忠 (1964. 9) 子宮筋の細胞内電位に対する Epinephrine ならびに Norepinephrine の作用 第6回日本平滑筋学会講演抄録 11-12
 - 13) 武田 寛 (1964. 9) 兎生体子宮の興奮伝播 第6回日本平滑筋学会講演抄録 12
- 久留米大学医学部生理学教室**
- 1) 末永一男・後藤賢二・副田博之・山下良禧・鳥越光 (1964) 自動車運転時の速度感 久留米医誌 **27**, 321-325
 - 2) 末永一男・後藤賢二・副田博之・山下良禧・鳥越光 (1964) 映画を利用した速度見越反応テスト 久留米医誌 **27**, 331-334
 - 3) 末永一男・後藤賢二・副田博之・山下良禧・鳥越光 (1964) 映画を利用した速度感の測定 久留米医誌 **27**, 326-330
 - 4) 後藤賢二・山下良禧・鳥越 光・服部好典 (1964) 運転者の循環機能から見た走行速度と負担度との関係について 久留米医誌 **27**, 1031
 - 5) 後藤賢二・山下良禧・鳥越 光 (1964) 長時間運転時の心搏数の推移について 久留米医誌 **27**, 1031
 - 6) 末永一男・後藤賢二 (1964) 周辺視野と速度感の関係について 日本生理誌 **26**, 335
 - 7) 末永一男・後藤賢二・山下良禧 (1964) 「トンネル通過時の視力」——大分県中の谷道路に於て——交通安全研究資料第4集 5
 - 8) 副田博之・西彰五郎・後藤賢二 (1964) Ba による筋自発収縮の機序 日本生理誌 **26**, 77
 - 9) 西彰五郎・副田博之・近沢克巳 (1964) Ba による神経膜過分極の機序 日本生理誌 **26**, 333
 - 10) 西彰五郎・副田博之・服部好典 (1964) 交感神経節に於けるシナプス遅延 久留米医誌 **27**, 816-822
 - 11) 野田憲一 (1964) K⁺ のイオン配分ということ 久留米医誌 **27**, 635-640
 - 12) 副田博之 (1964) 交感神経細胞の電気現象及び節前線維による支配様式 久留米医誌 **27**, 1031
 - 13) 西彰五郎 (1964) 交感神経節 B. C 細胞の特性及びシナプス伝達に於ける遅延について 久留米医誌 **27**, 1032
 - 14) 野田憲一 (1964) カエル骨格筋において K イオンの動きを支配する要因 日本生理誌 **26**, 330
 - 15)* 野田憲一 (1963) Study of the net loss of potassium ions from sartorius muscles under potassium free condition. *Kurume Med. J.* **10**, 254-268
 - 16) 額額教三・君塚英夫・喜多村良三 (1964) Depolarization of frog's skeletal muscle membrane by 2,4-dinitrophenol. *J. Cell. Comp. Physiol.* **63**, 165-176
 - 17) 額額教三・喜多村良三・田中 亮 (1964) Binding of calcium ions to cell membrane isolated from bullfrog skeletal muscle. *Amer. J. Physiol.* **207**, 509-512
 - 18) 君塚英夫・額額教三 (1964) Changes in the membrane permeability of frog's sartorius muscle fibers in Ca-free EDTA solution. *J. gen. Physiol.* **47**, 379-392
 - 19) 君塚英夫・額額教三 (1964) Ion transport through cell membrane. *J. Theoret. Biol.* **6**, 290-305
 - 20) 野田憲一 (1964) Study of the intracellularly free movements of ions in frog sartorius muscle fibers. *Kurume Med. J.* **11**, 65-74
 - 21) Birzis, L., 立花俊郎 (1964) The Action of Stimulant and Deparssant Agents on Local Cerebral Impedance and Circulation. *Psychopharmacol.* **6**, 256-266
 - 22) Birzis, L., 立花俊郎 (1964) Local Cerebral Impedance and Blood flow during Sleep and Arousal. *Exp. Neurol.* **9**, 269-285
 - 23) 西 彰五郎・副田博之 (1964) Hyperpolarization of a neurone membrane by barium. *Nature* **204**, 761-764
- * 印は前年度脱落分
- 長崎大学医学部第1生理学教室**
- 1) Yoshio, H. (1964) Inhibitory effect of pre-optic stimulation on adrenal 17-hydroxycorticosteroid secretion rate in the cat. *Nature* **201**, 1334-1335
 - 2) Suzuki, T., Mitamura, T., Zinnouchi, S. und

- Yamashita, K. (1964) Der Einfluss des Insulins auf die 17-Hydroxycorti-costeroidsekretion der Nebennieren. *Naturwissenschaften* **51** Jg, 219
- 3) Yamashita, K. (1964) Progestational effect of androgenic steroids in the rabbit endometrium. *J. Endocrin.* **30**, 271-272
- 4) Suzuki, T., K. Hirai, H. Yoshio, K-I. Kurouji and T. Hirose (1964) Effect of eserine and atropine on adrenocortical hormone secretion in unanaesthetized dogs. *J. Endocrin.* **31**, 81-82

長崎大学医学部第2生理学教室

- 1) Sato, K. (1964. 1) On the role of thalamic nuclei and reticular formation upon the frequency response activities of the generator of electroencephalogram and myotonogram. Part II. Nagasaki University School of Medicine, Nagasaki
- 2) 佐藤謙助 (1964. 4) 脳の集合電位活動の制御論的解析について 医用電子と生体工学 **2**, 111-120
- 3) Kawamura, T., Sato, K. & Goto, M. (1964. 6) On the cutaneo-respiratory reflex in rabbit. *Jap. J. Physiol.* **14**, 270-279
- 4) 寺本成美 (1964. 6) ネコ大脳および視床の電気的活動性について 日本生理誌 **26**, 334
- 5) 三村圭一 (1964. 6) ヒトの脳波反応の時間的経過について 日本生理誌 **26**, 334-335
- 6) Sato, K., Teramoto, S., Honda, N., Kitajima, K., Hirota, N., Tagawa, Y. Tomonaga, K. & Kitajima, H. (1964. 8) On the EEG response activities in the neocortex and thalamic nuclei of cat in relation to the intensity of the stimulation. XIIth Ann. Meet. Jap. EEG Soc. 80-82
- 7) Sata, H. (1964. 8) On the average time- and frequency patterns of normal adult EEG. XIIth Ann. Meet. Jap. EEG Soc. 90-92
- 8) 北島和夫 (1964. 11) 周期閃光刺激の強さの脳波活動に対する影響 脳神経 **16**, 923-933

熊本大学医学部第2生理学教室

- 1) Ozeki, M. (1964) Effect of calcium and sodium ions on potassium induced contracture and twitch tension development of the retractor pharynx muscle of a snail. *Jap. J. Physiol.* **14**, 155
- 2) Ozeki, M. & Sato, M. (1964) Initiation of impulses at the non-myelinated nerve terminal in Pacinian corpuscles. *J. Physiol.* **170**, 167
- 3) Hashimoto, Y. (1964) Movements of Na and K in sartorius muscles of toads during immersion in K-free Ringer. *Kumamoto Med. J.* **17**, 101
- 4) Kusumoto, R. (1964) Electrolyte content and movement in toad sartorius muscles, with special emphasis on their relation to muscle weight. *Kumamoto Med. J.* **17**, 109
- 5) Ishiko, N. & Amatsu, M. (1964) Effects of stretch of the tongue on taste responses in glossopharyn-

geal and chorda tympani nerves of cat. *Kumamoto Med. J.* **17**, 5

- 6) Nagaki, J., Yamashita, S. & Sato, M. (1964) Neural response of cat to taste stimuli of varying temperatures. *Jap. J. Physiol.* **14**, 67
- 7) Yamashita, S. (1964) Chemoreceptor response in frog, as modified by temperature change. *Jap. J. Physiol.* **14**, 488
- 8) Yamashita, S., Yamada, K. & Sato, M. (1964) The effect of temperature on neural taste response of cats. *Jap. J. Physiol.* **14**, 505
- 9) 石河延貞・山田和広 (1964. 4) 舌咽神経の味応答 日本生理誌 **26**, 55
- 10) 佐藤昌康・赤池紀生・山下 智 (1964. 11) 核酸関連物質の呈味作用に関する電気生理学的研究 グルタミン酸ソーダとの相乗作用並びに温度効果について アミノ酸, 核酸集談会シンポジウム講演要旨 **6**

熊本大学体質医学研究所生理学研究部

- 1) 村上 恵 (1964. 2) サーモエレメントを応用した脳局所冷却ならびに加温時の体温調節反応 日本生理誌 **26**, 71
- 2) 緒方維弘 (1964. 2) 気候馴化の神経性因子について 日本生理誌 **26**, 113
- 3) 緒方維弘・村上 恵 (1964. 2) サーモエレメントを応用した脳局所冷却および加温装置 日本生理誌 **26**, 117
- 4) 緒方維弘 (1964. 2) 小児の体温について 小児保健研究 **22**, 22-27
- 5) 緒方維弘 (1964. 3) スポーツと体温調節ならびに発汗を中心とする水分代謝 スポーツ医学 (体育の科学社) 393-414
- 6) Sasaki, Takashi (1964. 4) Effect of rapid transposition around the earth on diurnal variation in body temperature. *Proceed. Society Exper. Biolog. & Med.* **115**, 1129-1131
- 7) 緒方維弘 (1964. 5) 体質測定法 体力測定と健康診断 (南江堂) 305-326
- 8) Sasaki, Takashi & Ogata, Korehiro (1964. 10) Summer slump in Japanese Marathon runners with remarks to basal metabolism and food composition. *Abst. of International Congress of Sport Sciences C.* 77
- 9) Carlson, L. D., N. Honda, T. Sasaki and W. V. Judy (1964) A human calorimeter. *Proc. Soc. Exp. Biol. Med.* **117**, 327-331
- 10) Sasaki, T. and L. D. Carlson (1964) Seasonal changes in metabolic response to temperature change. *Proc. Soc. Exper. Biol. Med.* **117**, 332-333
- 11) Sasaki, T. and L. D. Carlson (1964) Effect of a step change in temperature on skin temperature and blood flow. *Proc. Soc. Exp. Biol. Med.* **117**, 334-338

鹿兒島大学医学部第1生理学教室

- 1) 徳満 豊 (1964. 1) Xylose 及び Ribose の組織呼吸にたいする役割 鹿大医誌 15, 514
- 2) 河田真雄 (1964. 2) 胸腺抽出物に関する研究 (第IX報) 日本生理誌 26, 64
- 3) 松本保久・徳満 豊・西村茂人 (1964. 2) 糖代謝と組織呼吸 日本生理誌 26, 90
- 4) 徳満 豊 (1964. 6) 心筋の代謝に関する研究 日本生理誌 26, 326
- 5) 河田真雄 (1964. 6) 胸腺抽出物の犬に対する作用 日本生理誌 26, 331

- 6) 徳満 豊・関 志比子・上野博紹 (1964. 10) Arabinose の組織呼吸にたいする役割 鹿大医誌 16, 295
- 7) 徳満 豊・岩重和夫・斎藤七子 (1964. 12) Lyxose の組織呼吸にたいする役割 鹿大医誌 16, 595

鹿兒島大学医学部第2生理学教室

- 1) Matasaburo Iki (1964. 8) Firing Responses of Neurons in the Hypothalamic Feeding Center on Variable Electrical and Chemical Stimulations. Acta Medica Universitatis Kagoshimaensis 6 (No. 2)

〔編集後記〕

初めに、浦本政三郎教授の御長逝に対し、謹んで哀悼の意を表します。生理学の分野における、また、生理学を土台として他の学問や政治の領域における、50年に垂とする同教授の御活躍も、もはや再び期待出来ないと思うと寂寥の感を禁じ得ません。一種の風格をもっておられた方であっただけに一層その感を深く致します。御遺影とネクロロークをかかげ、同教授の在りし日々を偲びつつ御冥福を祈り度いと存じます。

—×—×—

。新しく編集委員会が結成され、新装第27巻を送り出して早くも1年を経過し、本号をもって目出度く第27巻が完結したことになります。思えばこの1年間、編集委員一同と学会事務関係者の努力にもかかわらず、目を見張らせるような刷新や改善を行なうことができず、会員各位の御期待に副うことができなかったのではないかとひそかにおそれています。しかし、これは偏にわれわれ当事者に意あって力足らざりしためであると御諒察頂き、次巻以降には一層の御声援を賜りますようお願い申し上げます。

。本号を御覧になれば直ぐお気付きになるように、従来は論文表題集を数号に分載していましたが、本巻から最終号全部を表題集に提供することに致しました。このやり方は大変便利だと思いますので、その意味で本号を大いに御利用頂き度いと存じます。ところで表題集は、未提出の分を除いてもこんなに大きなものになりました。これ

は喜ぶべきことでありましようが、同時にまた考うべきことでもありましよう。何となれば、研究も質より量だという考え方には恐らく誰でも賛成しないでありましようし、研究では量より質を重んずべきであり、さらに質も量もというのが理想であることは何人も認めるところであらうと考えられるからであります。生理学の振興ということが問題となるとき、質の向上にも意を払わらるべきであると思われまします。

。かねがねお約束しておきながら長らくとまらなかった投稿規定がやっとまとまりましたので御覧下さい。これは投稿規定とはなっておりますが、編集方針をも含んでおります。日本薬理学雑誌、日本生化学会誌、動物学雑誌の編集規定や投稿規定を参照しつつ作成したのですが、不完全なものであることは充分承知しております。忌憚ない御教示を切望致しますが、ここしばらくの間はこの規定に則つて編集したいと思いますので、今後投稿なさる方はこの規定に準拠されるようお願い致します。それはそれとして、このような規定をつくるのが如何にむづかしいことかということをしみじみ感じました。と同時に、規定をつくりつつ感じたことですが日本語に負わされた宿命的なハンディキャップにはつくづく情なく思ったことでした。なお、単位記号の書き方は急激には改変しがたいと判断されましたので、まず畠山教授に単位記号の表記法について解説して頂き、会員各位の御意見を徴しつつ、逐次新しい表記法を使用して行こうと考えております。御協力頂き度くお願い申し上げます。(市岡正道)

日 本 生 理 学 雜 誌 投 稿 規 定

1) 日本生理学雑誌は日本生理学会の機関誌で毎月1回発行され、会員による原著、綜説、抄録(総会、地方部会の抄録、Jap. J. Physiol. の抜抄等)、短報(速報、技術、提案、要望、ニュース等)、会報其他を掲載する。ただし編集委員会において必要と認めた場合は、会員以外に投稿を依頼することがある。

2) 投稿された原稿の採否は編集委員会の決定による。掲載された原稿は、予め要望のない限り返還しない。校正は当分の間編集委員会で行なう。

3) 原稿の本文は平仮名まじり新仮名づかいの横書きとする。ただし本文中の固有名詞、外国語、化学物質名、薬品名等は原語とし、外来語(全く日常語化したもの、ほとんど日本化したと見て良い外国語)、動植物日本名等は片仮名で書く。[例] oscilloscope, pace-maker, induction-shock, ATPase, Ringer 液, BaCl₂; スベクトル, ガーゼ, ガラス, テンジクネズミ, ヒキガエル, ピンセット, シヤーレ, パルス, スパイク, コンデンサ, コイル等。

文章の頭にかくローマ字は大文字、その他は小文字でかく。数詞はアラビア数字を用いる。[例] 第1図, 100 m, 300~500万, 3人 [例外] 三つの, 数百の, 二三の(数百, 数千等の使い方はなるべくさける)。

単位記号は当分の間従来の慣用による。又学術用語はなるべく各学会制定のものを用いる。

4) 原著は頁数を制限しないが出来るだけ簡明なことが望ましい。原著掲載の費用は当分の間一篇につき刷り上り2頁(400字原稿紙8枚)までは本会において負担をするが、それ以上の頁と図版、別刷ならびに特別に費用を要するもの(良質紙使用、複雑な表、複雑な数式等)は著者負担とする。連載された継続論文は一篇とみなして扱うことがある。

綜説は編集委員会の依頼によるもので、400字原稿紙40枚以内(刷り上り10頁以内)とし別に定める薄謝と別刷50部を贈呈する。それ以上の別刷は実費を申し受ける。

学会抄録は800字以内、短報は1600字以内とし費用は学会で負担する。

5) 原著には日本語の表紙及び本文の他に、外国語の抄録(表題、著者名、所属、200語以下の抄録)をタイプライタ用紙に double space で明瞭に打って一枚つける。挿図及び表の説明も同一の外国語で記載する。

6) 綜説、原著又は速報の原稿には表紙をつけ、その下半部に表題、著者名、所属、その所在地ならびになるべく国際十進法番号(日本生理誌第5巻巻末所載1940年)を附し、上半の余白に原稿の種類、図表の数、別刷必要部数、その他編集委員会への注意書、要望等をそれぞれ括弧に入れて記入する。

[例]

原著・綜説・速報等

(原著) (図 3, 表 2)

(別刷 150 部)

(網目版はアート紙)

GSR に関する研究 612.797

鈴木 正 康

(名古屋大学医学部第一生理学教室)

欧文抄録

On the galvanic skin response by potential method

Masayasu Suzuki (First Department of Physiology, Nagoya University School of Medicine)

GSRs were recorded by the potential method with various size of.....

学短
会報
抄録

人体発汗中枢に関する考案

久 野 寧 (京大生理)

人体の発汗は.....

抄録、短報等の原稿は、原稿紙の第1行から表題、著者名（所属略名）の順に書き、次の行から本文を始める。

7) 原稿の項目分けは第1章、第1項、第1節というようにせず、I, A, 1, aというような段階とする。〔例〕I. 前書……, II. 方法……, III. 実験結果……, IV. 考察……, V. 結論……というように大別、その各々の中を、A. ……, B. ……, C. ……と分け、更にA, B等の中を、1. ……, 2. ……とし、その中を更に、a. ……, b. ……というように細分する。

8) 挿図及び表の原稿は必ず Fig. 何, Table 何等の番号を附して別紙に書き、それらは欧文抄録と同じ国語で理解出来る如くする。図中の文字は製版の際の縮小率を考慮して充分大き目に書く、凸版原稿は充分鮮明なものに限る。写真版の原稿は製版技術及び用紙を考慮して特に明瞭なものに限る。その印刷を特殊印刷にすることを希望する時は、その由原稿表紙の上欄に記入すること。

本文中に図又は表を組み込むべき箇所を欄外に罫み線で明かに指定し、その中に Fig. 何, Table 何と書く。

9) 本文中に言及、引用する文献は必ず著者名を記し、巻末の文献表と対照して番号を附する。〔例〕Hodgkin & Huxley (3) によれば……, または、……である (Hodgkin & Huxley, 3)。3人以上の連名は (Hofmann, et al. 8) というように書く。文献表の順序は本文中に最初現れた順、又は綜説の如きでは著者名のABC順に整理し、本文中の番号と良く対照する。孫引きまたは全書、教科書の一部である場合は、その頁数までを明らかにする。文献表は番号、著者名（年号）、論文表題、掲載雑誌巻（号）頁；単行本の場合には他に発行所、第何版、その所在地等を委しく記入する。雑誌名の省略は各雑誌で決めている略称、又はそのようなものがない場合は Suggestion to Authors (J. Physiol. 150, No. 1, 1-33 (1960)) 及び日本医学図書館協会編（日本医学雑誌略名表1950）中の記載例に従って省略する。

〔例〕文献

- 1) 鈴木 清 (1958) 組織の鍍銀法 (6) 外分泌腺の神経終末 実験治療 315, 1-2
- 2) Bishop, P. O. & McLeod, J. G. (1954) Nature of potentials associated with synaptic transmission in lateral geniculate of cat. J. Neurophysiol. 17, 384-414
- 3) 船越正也・河村洋二郎 (1964) 唾液腺よりの求心性神経活動に関する研究 日本生理誌 26, 16-26
- 4) Hermann, L. (1879) Handb. Physiol. Bd. 2, Tl. 1, 171, Vogel, Leipzig
- 5) Sasybin, N. (1933) Zur Frage der Innervation der Speicheldrüse. Zsch Zellforsch. 19, 681-688
[Stöhr, P. (1957) Handb. mikrosk. Anat. Menschen, Möllendorff u. Bergman Bd. 4, Tl. 5, 297, Springer, Berlin] より引用
- 6) Chang, H. T. (1959) The evoked potentials. [Handb. of Physiol. Sect. I. Vol. 1, 299-313, Amer. Physiol. Soc., Washington DC] より引用
- 7) Tabary, J. C. et al. (1965) Le tremblement postural chez le sujet normal. Étude du maintien de la position. J. Physiol. Paris, 57, 313-324

人名や表題等の書き方、それらの順序、句読点のつけ方、引用の方法等の様式は上記の例にならって記すこと。

以上

(昭和40年12月4日制定)

生物物理学講座

全10巻

● 日本生物物理学会 編集

★第6回配本★ 12月15日発売

量子生物学II

—内 容—

核酸の電子構造……………永田親義
 蛋白質の電子構造……………右衛門佐重雄
 生体物質の電子スペクトル……………田仲二郎
 ポリフィリンの電子スペクトル
 と電子構造……………小林 宏
 ATPの電子状態とその生体内に
 おける役割……………今村 詮
 ヘムの電子論……………小谷正雄
 非等方的溶液の旋光性と円二色性…郷 信広
 薬理作用と酵素反応の電子状態の

井上 章
 理論—量子薬理学序説……………品川嘉也
 品川泰子

〈400頁・予価2,000円〉

発売元 東京 丸 善

—全 巻 内 容—

1. 遺 伝 情 報 I ￥ 1,800円
2. 遺 伝 情 報 II ￥ 2,000円
3. 遺 伝 情 報 III 第8回配本
4. 生 体 高 分 子 I ￥ 1,800円
5. 生 体 高 分 子 II 次回配本
6. 生 体 機 能 の 分 子 論 ￥ 2,400円
7. 量 子 生 物 学 I ￥ 1,400円
8. 量 子 生 物 学 II 予価2,000円
9. 膜 の 生 物 物 理 第9回配本
10. 神 經 の 生 物 物 理 第10回配本

A5判/特製クロス・ケース入/
 各巻300~470頁/¥1,400~2,400

京都市左京区田中門前町

振替京都4624

株式
会社

吉岡書店

各科領域における

耐性

ブドウ球菌感染症に

健保適用

37.10.1より



医薬は萬有

内服用・注射用・新合成ペニシリン

スタフシリン-V

STAPHICILLIN-V (メチルフェニルイソキサゾリルペニシリンナトリウム)

内服用 (錠剤・カプセル)・筋注用

製造発売元 萬有製薬株式会社 東京都中央区日本橋本町2-1-7

■核酸の迅速分析に威力を発揮する

柳本核酸自動分析装置

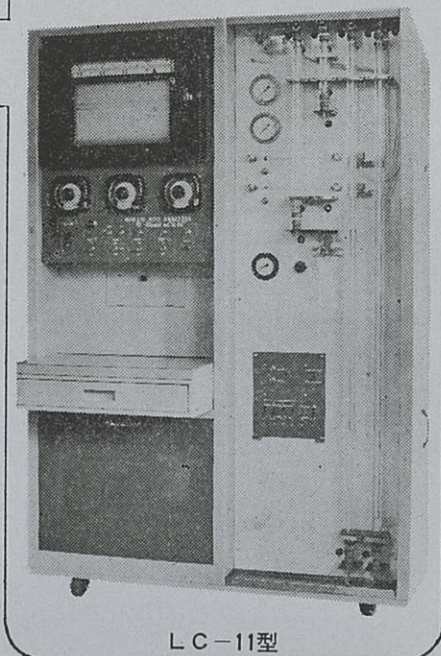
LC-11型

■本装置は、イオン交換クロマトグラフ法の原理に基づいて核酸を分離し、その溶離液について紫外外部吸収の連続測定を行なうもので、比色計には複光速光学零位法を使用した紫外外部連続比色計を用いているのできわめて高安定であります。

■ダブルカラム（溶離用および塩濃度補正用）複光速光学零位法に基づく比色計を用いているので、塩濃度変化によるベースラインの変動を補正することができます。

■複光速光学零位法を用いているので、電源電圧の変動大きい場所でも安定して測定できる。

■フラクションコレクター（特別付属品）を内蔵することにより展開溶出液を分取することができます。



LC-11型

■詳細資料進呈■



株式会社 柳本製作所 柳本商事株式会社 本社 支店 本社 支店 京都市中京区木屋町通三条下ル 東京・大阪・名古屋・福岡・広島・藤沢・札幌

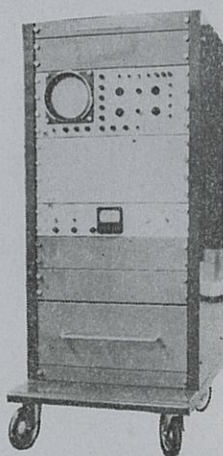
専門メーカーが誇る医用電子装置 ＊

当社は医用電子機器総合メーカーとしてエレクトロニクスを用いた各種診断装置を製作販売しております。
 医用電子機器のことならなんでも当社にお問い合わせください。

データ処理用電子計算機

ATAC-401型

- デジタル型ON-LINE処理方式
- 4現象の平均値化解析
- アナログデジタル両出力方式
- 諸アクセサリーの完備
- 入力アダプタ
- リセット装置
- プリセット・カウンタ
- 振幅一時間変換装置
- トリガパルス発生器
- パルスディスクリミネータ
- 振幅ディスクリミネータ
- 付属装置用ケース



日本光電工業株式会社



札幌営業所 札幌市豊平三条3-12 美好ビル(81) 5706 大阪営業所 大阪市北区南森町11 第1ビル(351) 2531-7
 仙台営業所 仙台市二日町1 新産業ビル(25) 1395 広島営業所 広島市中町9番3-301 新川場ビル(21) 2506
 東京営業所 東京都新宿区角筈2-84 スタンダードビル(342) 0231-8 福岡営業所 福岡市浜小路26 浜小路ビル(29) 7931-4
 名古屋営業所 名古屋市中区栄王山通り7-1 田代ビル(751) 7176-9 出張所 弘前/新潟/金沢/岡山/熊本/鹿児島